

第三期飯山市子ども・子育て支援事業計画
策定に係るニーズ調査結果報告書

令和 6 年 10 月

飯 山 市

目次

1)	調査の概要	1
2)	集計方法	2
3)	就学前児童調査結果	3
1	お住まいの地域について	3
2	お子さんとお家族の状況について	4
3	子どもの育ちをめぐる環境について	8
4	宛名のお子さんの保護者の就労状況について	13
5	お子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について	24
6	お子さんの地域の子育て支援事業の利用状況について	36
7	土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について	42
8	病気の際の対応について（平日の教育・保育を利用する方のみ）	48
9	不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について	56
10	小学校就学後の放課後の過ごし方について	65
11	育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について	73

1) 調査の概要

(1) 調査の目的

この調査は、幼稚園・保育所・放課後児童クラブなどの教育・保育・子育て支援を計画的に整備するために、市民の利用状況や利用希望を把握することを目的としています。

※ この調査の回答（施設や事業の利用希望等）により、施設や事業の利用の可否を決定するものではありません。

(2) 調査の種類、対象者及び実施概要

この調査の種類と対象者及び実施概要は下表のとおりです。

●調査の種類と対象者

種類	対象世帯	対象世帯数
就学前児童のいる世帯	令和5年12月31日現在、住民基本台帳に掲載されている就学前の児童がいる全世帯（就学前児童が2人以上いる場合は年齢が上の児童について）	457世帯

●実施概要

種類	対象地域	調査形式	配布・回収方法	調査時期
就学前児童	飯山市全域	アンケート調査	郵送配布 郵送回収	令和6年2月20日～ 令和6年3月8日

(3) 回収結果

この調査の回収結果は下表のとおりです。

●回収結果

区 分	調査票配布数	有効回収数	有効回収率
就学前児童	457	310	67.83%

2) 集計方法

(1) 報告書の見方

- 本報告書では、回答すべきところが回答されていないものは「無回答」として扱う。
- 本報告書では、回答する必要のないところ及び回答すべきでないところを回答している場合は「非該当」として扱う。
- 設問の構成比は、回答者数（該当設問での該当者数）を基数として百分率（％）で示している。したがって、非該当者数は、構成比に含まれない。
- 比率は全て百分率（％）で表し、小数点以下第 2 位を四捨五入し算出しているため合計が 100％にならない場合がある。
- 複数回答については、回答者数を基数として百分率（％）で示している。したがって、合計値は 100％にならない場合がある。

（用語の定義）

本調査における用語の定義は以下のとおりです

- ・ 幼 稚 園：学校教育法に定める、3～5 歳児に対して学校教育を行う施設（学校教育法第 22 条）
- ・ 保 育 所：児童福祉法に定める、保育を必要とする 0～5 歳児に対して保育を行う施設（児童福祉法第 39 条）
- ・ 認定こども園：幼稚園と保育所の機能を併せ持つ施設（就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第 2 条第 6 項）
- ・ 子 育 て：教育・保育その他の子どもの健やかな成長のために行われる支援
- ・ 教 育：問 14 までにおいては家庭での教育を含めた広い意味、問 15 以降においては幼児期の学校における教育（幼稚園）の意味で用いています

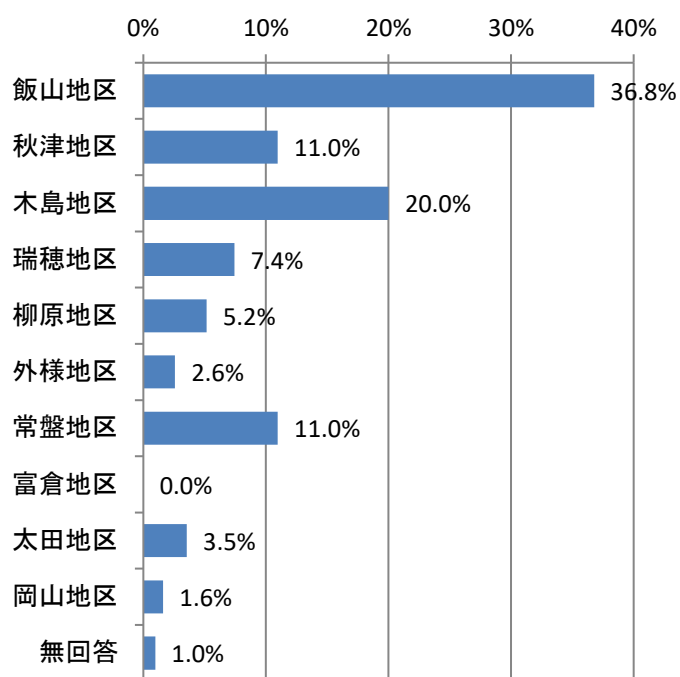
3) 就学前児童調査結果

1 お住まいの地域について

問1 お住まいの地区をお答えください。

居住地区は、「飯山地区」の割合が36.8%と最も高く、次いで「木島地区」が20.0%、「秋津地区」と「常盤地区」が11.0%となっています。

項目	度数	構成比
飯山地区	114	36.8%
秋津地区	34	11.0%
木島地区	62	20.0%
瑞穂地区	23	7.4%
柳原地区	16	5.2%
外様地区	8	2.6%
常盤地区	34	11.0%
富倉地区	0	0.0%
太田地区	11	3.5%
岡山地区	5	1.6%
無回答	3	1.0%



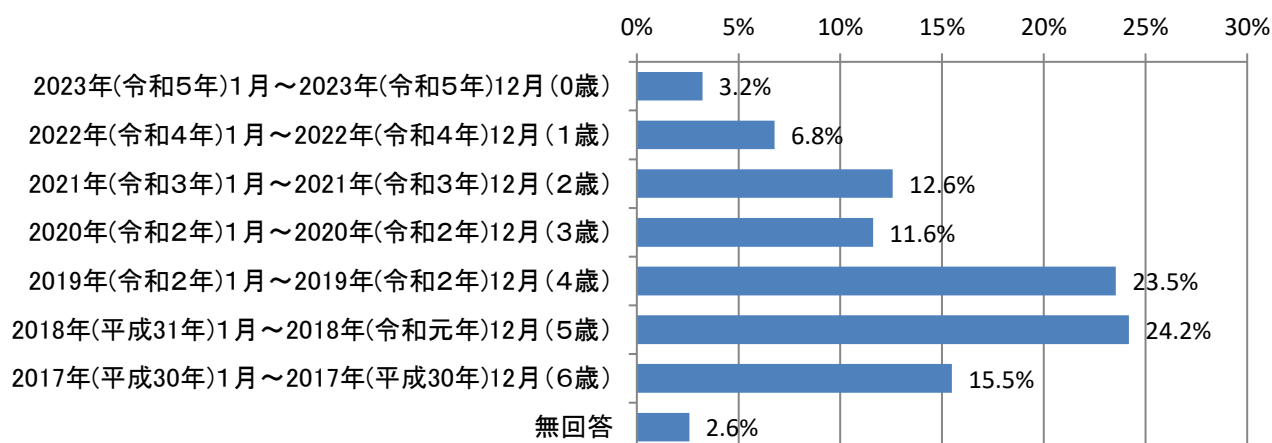
2 お子さんご家族の状況について

問2 宛名のお子さんの生年月をご記入ください。

子どもの年齢は、「5歳」の割合が24.2%、「4歳」の割合が23.5%、「6歳」の割合が15.5%となっています。

生年月日(年齢)	度数	構成比
2023年(令和5年)1月～2023年(令和5年)12月(0歳)	10	3.2%
2022年(令和4年)1月～2022年(令和4年)12月(1歳)	21	6.8%
2021年(令和3年)1月～2021年(令和3年)12月(2歳)	39	12.6%
2020年(令和2年)1月～2020年(令和2年)12月(3歳)	36	11.6%
2019年(令和2年)1月～2019年(令和2年)12月(4歳)	73	23.5%
2018年(平成31年)1月～2018年(令和元年)12月(5歳)	75	24.2%
2017年(平成30年)1月～2017年(平成30年)12月(6歳)	48	15.5%
無回答	8	2.6%
回答者数	310	100.0%

年齢算出基準日:2023年(令和5年)12月31日



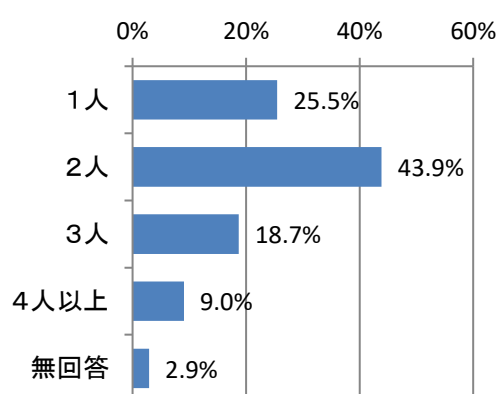
問3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数をご記入ください。お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月をご記入ください。

1世帯当たりの子どもの人数は、「2人」の割合が43.9%と最も高く、次いで「1人」が25.5%、「3人」が18.7%となっています。

また、2人以上のきょうだいがいる世帯の末子の年齢は、「2歳」の割合が16.9%と最も高くなっています。

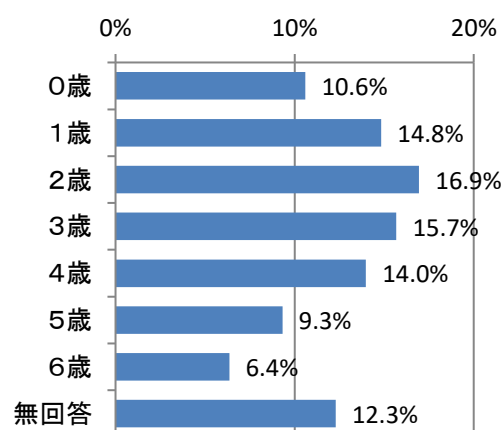
■ きょうだい数

項目	度数	構成比
1人	79	25.5%
2人	136	43.9%
3人	58	18.7%
4人以上	28	9.0%
無回答	9	2.9%
回答者数	310	100.0%



■ 末子の生年月

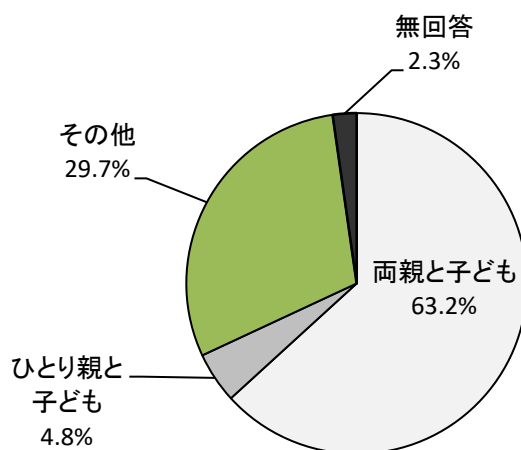
項目	度数	構成比
0歳	25	10.6%
1歳	35	14.8%
2歳	40	16.9%
3歳	37	15.7%
4歳	33	14.0%
5歳	22	9.3%
6歳	15	6.4%
無回答	29	12.3%
回答者数	236	100.0%
非該当	74	-



問4 宛名のお子さんを含む家族構成をお答えください。

「両親と子ども」のみの世帯が63.2%と最も高く、次いで「その他の世帯（3世代世帯など）」が29.7%となっています。

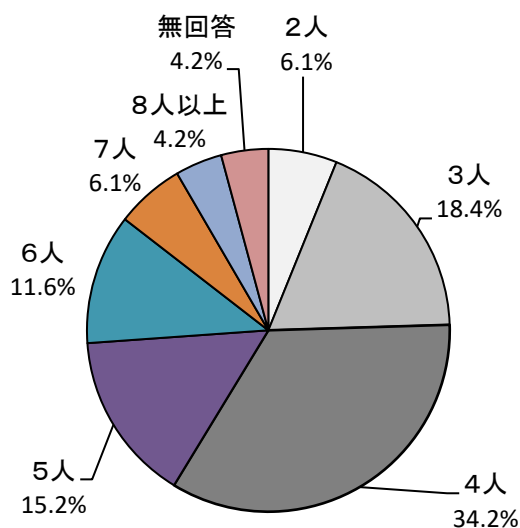
項目	度数	構成比
両親と子ども	196	63.2%
ひとり親と子ども	15	4.8%
その他	92	29.7%
無回答	7	2.3%
回答者数	310	100.0%



問5 一緒にお住まいで、生計を共にしているご家族は、あなたを含めて何人ですか

調査票の回答者の家族の人数は、「4人」が34.2%と最も高く、次いで「3人」の18.4%、「5人」の15.2%と続いています。

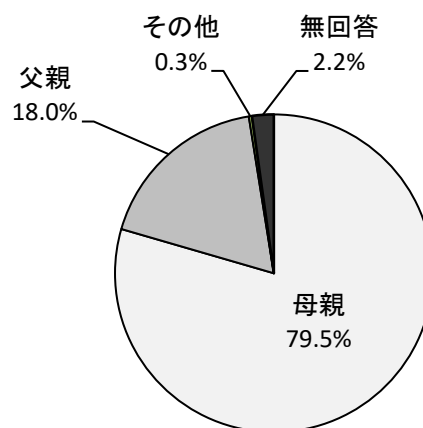
項目	度数	構成比
2人	19	6.1%
3人	57	18.4%
4人	106	34.2%
5人	47	15.2%
6人	36	11.6%
7人	19	6.1%
8人以上	13	4.2%
無回答	13	4.2%
回答者数	310	100.0%



問6 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。

調査票の回答者は、「母親」が79.5%に対し、「父親」が18.0%となっており、「母親」の割合が高くなっています。

項目	度数	構成比
母親	252	79.5%
父親	57	18.0%
その他	1	0.3%
無回答	7	2.2%
回答者数	317	100.0%

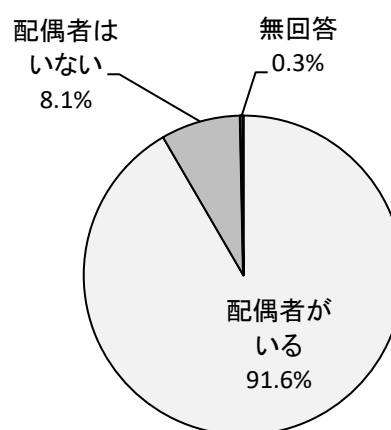


問7 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。

※ 配偶者は、現在結婚している相手方を指します。

調査票の回答者の配偶関係は、「配偶者がいる」が91.6%に対し、「配偶者はいない」が8.1%となっています。

項目	度数	構成比
配偶者がいる	284	91.6%
配偶者はいない	25	8.1%
無回答	1	0.3%
回答者数	310	100.0%

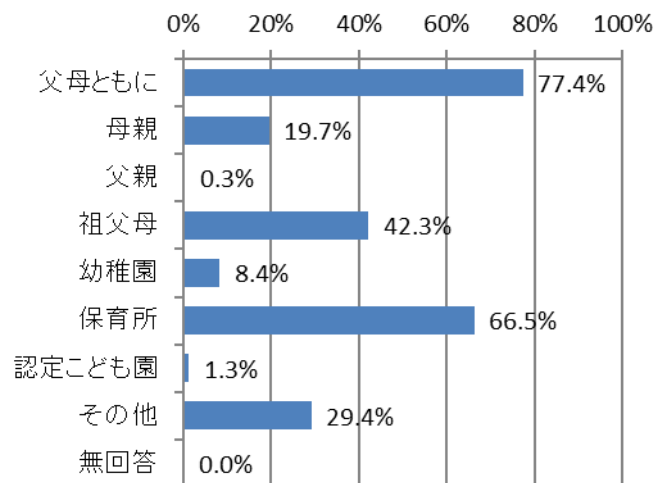


3 子どもの育ちをめぐる環境について

問8 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。
お子さんからみた関係でお答えください。

子どもの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方は、「父母ともに」の割合が77.4%と最も高く、次いで「保育所（66.5%）」、「祖父母」が42.3%となっています。

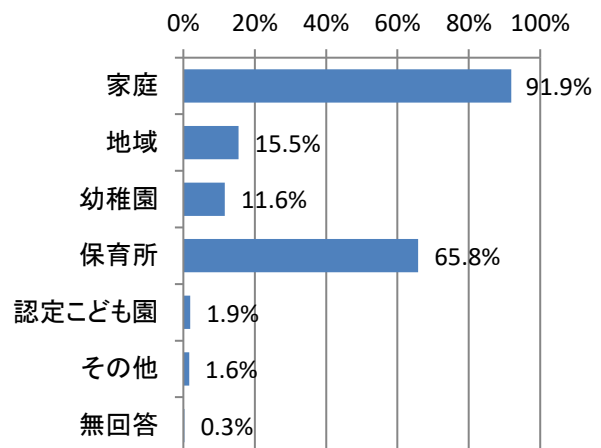
項目	度数	構成比
父母ともに	240	77.4%
母親	61	19.7%
父親	1	0.3%
祖父母	131	42.3%
幼稚園	26	8.4%
保育所	206	66.5%
認定こども園	4	1.3%
その他	91	29.4%
無回答	0	0.0%
回答者数	310	-



問9 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に、もっとも影響すると思われる環境をお答えください。

子どもの子育て（教育を含む）に、もっとも影響すると思われる環境は、「家庭」の割合が91.9%と最も高く、次いで「保育所」が65.8%、「地域」が15.5%と続いています。

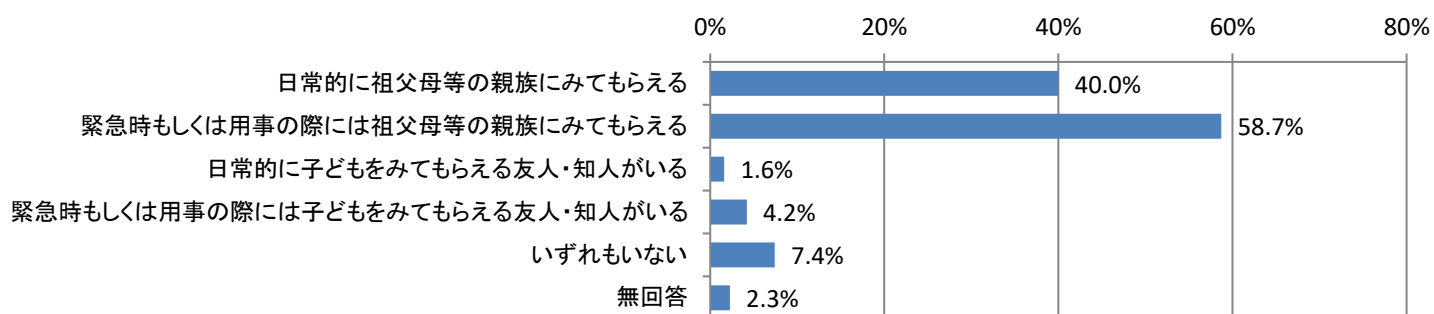
項目	度数	構成比
家庭	285	91.9%
地域	48	15.5%
幼稚園	36	11.6%
保育所	204	65.8%
認定こども園	6	1.9%
その他	5	1.6%
無回答	1	0.3%
回答者数	310	-



問10 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。

日頃、子どもをみてもらえる親族・知人の有無は、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が58.7%と最も高く、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が40.0%と続いています。

項目	度数	構成比
日常的に祖父母等の親族にみてもらえる	124	40.0%
緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる	182	58.7%
日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	5	1.6%
緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	13	4.2%
いずれもない	23	7.4%
無回答	7	2.3%
回答者数	310	－



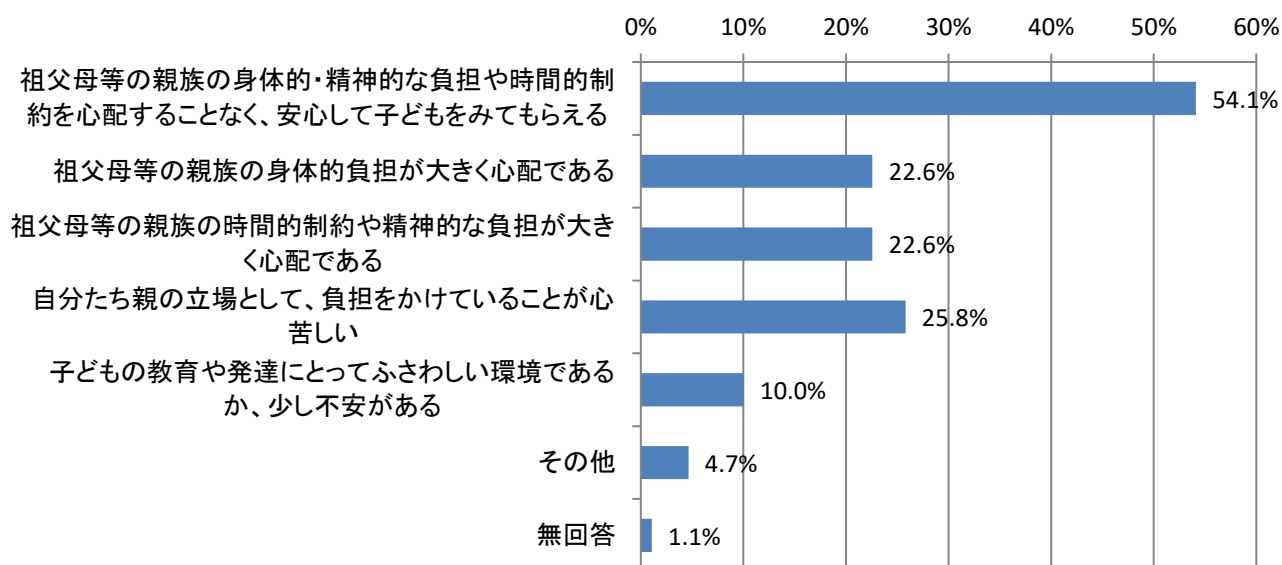
問 10-1 《問 10 で「1」または「2」に○をつけた方にうかがいます》

祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。

祖父母等の親族に子どもをみてもらっている状況は、「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」の割合が 54.1%と最も高くなっています。

また、心配や不安を感じる項目では、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい (25.8%)」が最も高くなっています。

項目	度数	構成比
祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる	151	54.1%
祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である	63	22.6%
祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である	63	22.6%
自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい	72	25.8%
子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある	28	10.0%
その他	13	4.7%
無回答	3	1.1%
回答者数	279	—
非該当	31	—



問 10-2 《問 10 で「3」または「4」に○をつけた方にうかがいます》

友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。

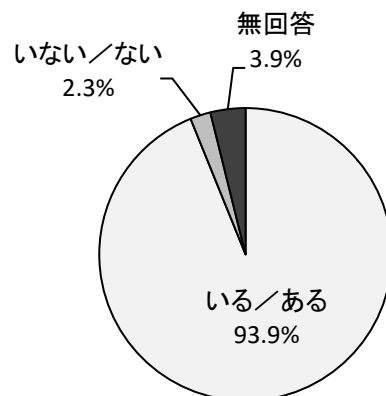
友人・知人にお子さんをみてもらっている状況は、「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が5件で最も多く、心配や不安を感じる項目では、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が3件となっています。

項目	度数	構成比
友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる	5	33.3%
友人・知人の身体的負担が大きく心配である	1	6.7%
友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である	2	13.3%
自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい	3	20.0%
子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある	0	0.0%
その他	2	13.3%
無回答	4	26.7%
回答者数	15	－
非該当	295	－

問 11 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。

子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人及び場所の有無は、「いる／ある」が93.9%に対し、「いない／ない」が2.3%と、「いる／ある」の割合が大きく上回っています。

項目	度数	構成比
いる／ある	291	93.9%
いない／ない	7	2.3%
無回答	12	3.9%
回答者数	310	100.0%

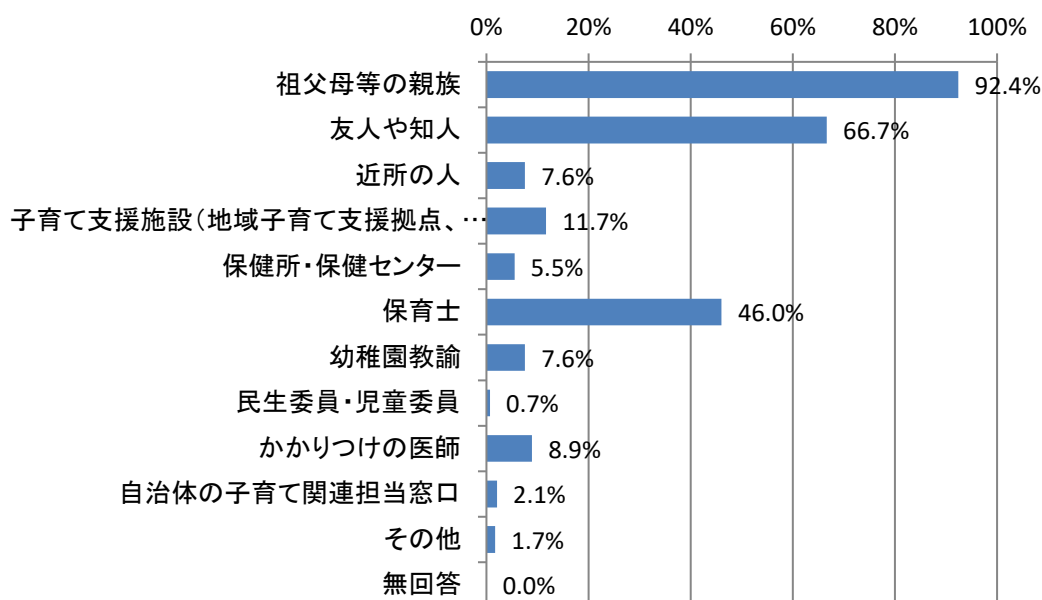


問 11-1 《問 11 で「1」 に○をつけた方にうかがいます》

お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。

子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、「祖父母等の親族（92.4%）」や「友人や知人（66.7%）」、「保育士（46.0）」の割合高くなっています。

項目	度数	構成比
祖父母等の親族	269	92.4%
友人や知人	194	66.7%
近所の人	22	7.6%
子育て支援施設(地域子育て支援拠点、児童館等)・NPO	34	11.7%
保健所・保健センター	16	5.5%
保育士	134	46.0%
幼稚園教諭	22	7.6%
民生委員・児童委員	2	0.7%
かかりつけの医師	26	8.9%
自治体の子育て関連担当窓口	6	2.1%
その他	5	1.7%
無回答	0	0.0%
回答者数	291	－
非該当	19	－



問 11 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

※ 別冊掲載

4 宛名のお子さんの保護者の就労状況について

問 13 母親の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

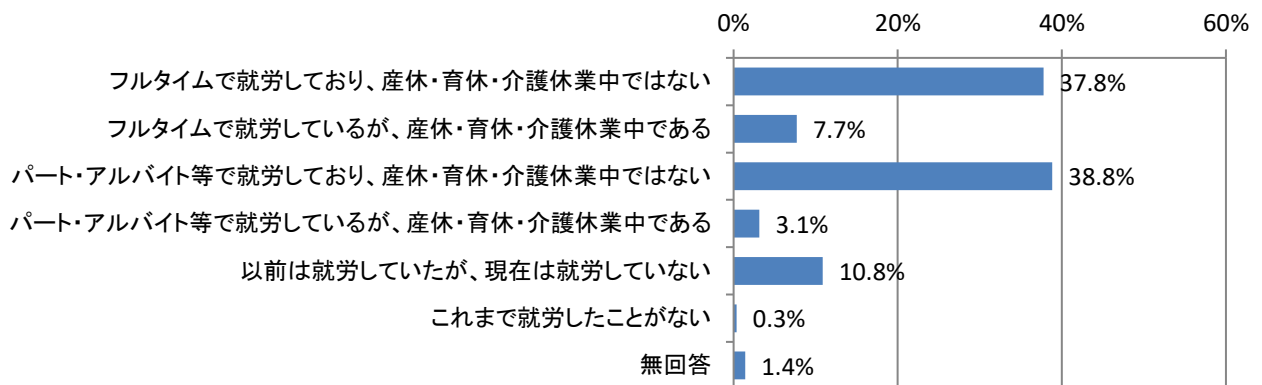
「母親」の就労状況は、「パート・アルバイト等※1で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が38.8%と最も高く、次いで「フルタイム※2で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない（37.8%）」の割合が高くなっています。

また、産休・育休・介護休業中の割合は、フルタイムとパート・アルバイト等を合わせて10.8%で、「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合も10.8%となっています。

※1 パート・アルバイト等…「フルタイム」以外の就労

※2 フルタイム…1週5日程度・1日8時間程度の就労

項目	度数	構成比
フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	108	37.8%
フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	22	7.7%
パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	111	38.8%
パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	9	3.1%
以前は就労していたが、現在は就労していない	31	10.8%
これまで就労したことがない	1	0.3%
無回答	4	1.4%
回答者数	286	—
非該当	24	—



問 13-1 《問 13 で「1～4」（就労している）に○をつけた方にうかがいます》

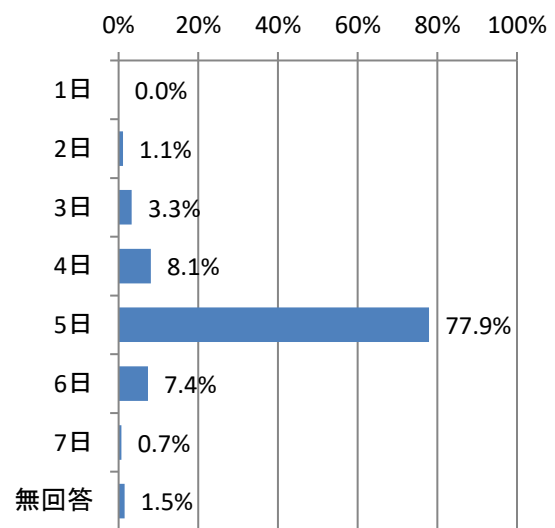
「1 週当たりの就労日数」、「1 日当たりの就労時間（残業時間を含む）」及び「家を出る時刻」と「帰宅時刻」をお答えください。

現在就労している母親の 1 週当たり就労日数は、「5 日」の割合が 77.9%、1 日当たり就労時間（残業を含む）は「8 時間」の割合が 33.8%とそれぞれ最も高くなっています。

また、家を出る時刻は、「8 時」の割合が 57.0%、帰宅時刻は、「18 時」の割合が 30.9%とそれぞれ最も高くなっています。

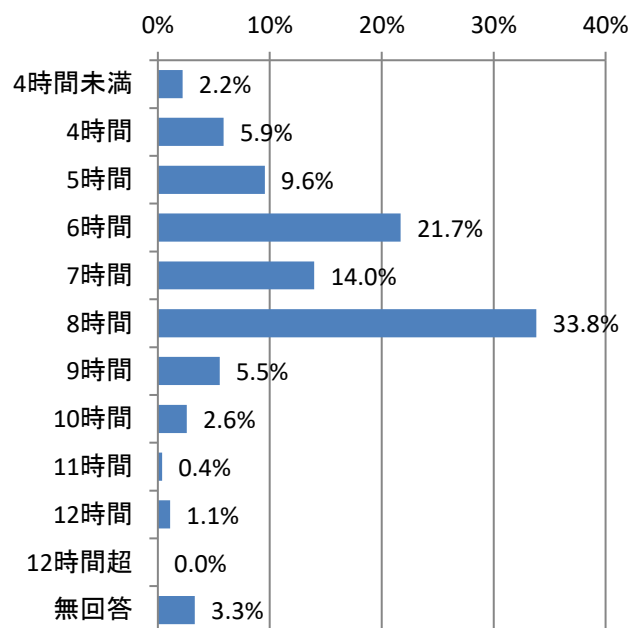
■ 1 週当たり就労日数

項目	度数	構成比
1 日	0	0.0%
2 日	3	1.1%
3 日	9	3.3%
4 日	22	8.1%
5 日	212	77.9%
6 日	20	7.4%
7 日	2	0.7%
無回答	4	1.5%
回答者数	272	100.0%
非該当	38	—



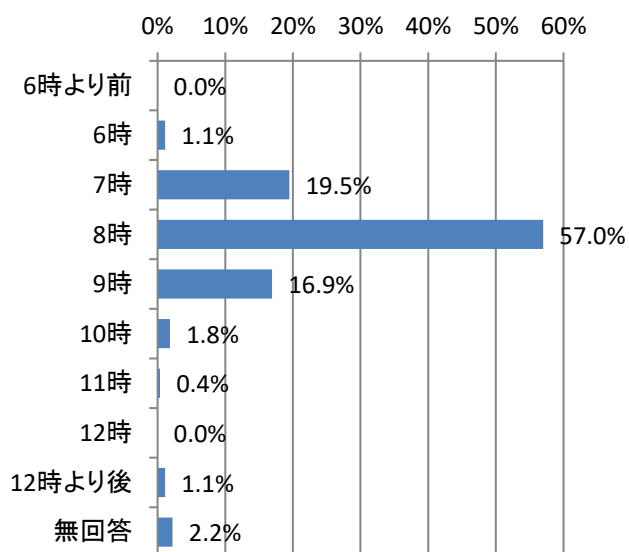
■ 1 日当たり就労時間（残業を含む）

項目	度数	構成比
4 時間未満	6	2.2%
4 時間	16	5.9%
5 時間	26	9.6%
6 時間	59	21.7%
7 時間	38	14.0%
8 時間	92	33.8%
9 時間	15	5.5%
10 時間	7	2.6%
11 時間	1	0.4%
12 時間	3	1.1%
12 時間超	0	0.0%
無回答	9	3.3%
回答者数	272	100.0%
非該当	38	—



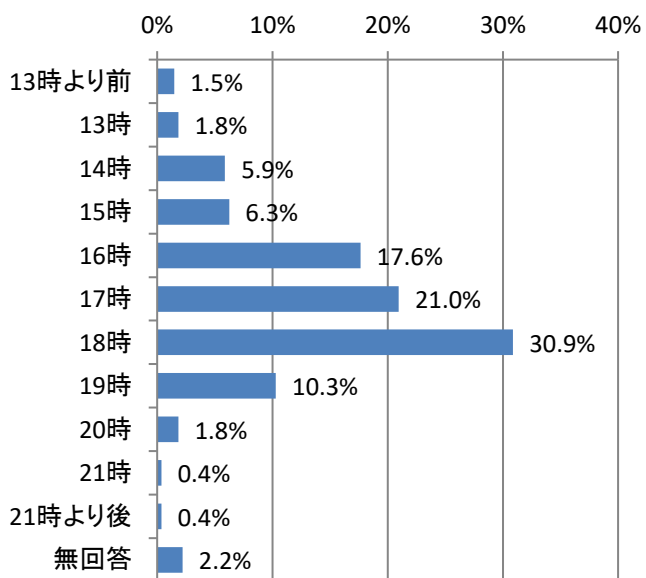
■家を出る時刻

項目	度数	構成比
6 時より前	0	0.0%
6 時	3	1.1%
7 時	53	19.5%
8 時	155	57.0%
9 時	46	16.9%
10 時	5	1.8%
11 時	1	0.4%
12 時	0	0.0%
12 時より後	3	1.1%
無回答	6	2.2%
回答者数	272	100.0%
非該当	38	—



■帰宅時刻

項目	度数	構成比
13 時より前	4	1.5%
13 時	5	1.8%
14 時	16	5.9%
15 時	17	6.3%
16 時	48	17.6%
17 時	57	21.0%
18 時	84	30.9%
19 時	28	10.3%
20 時	5	1.8%
21 時	1	0.4%
21 時より後	1	0.4%
無回答	6	2.2%
回答者数	272	100.0%
非該当	38	—

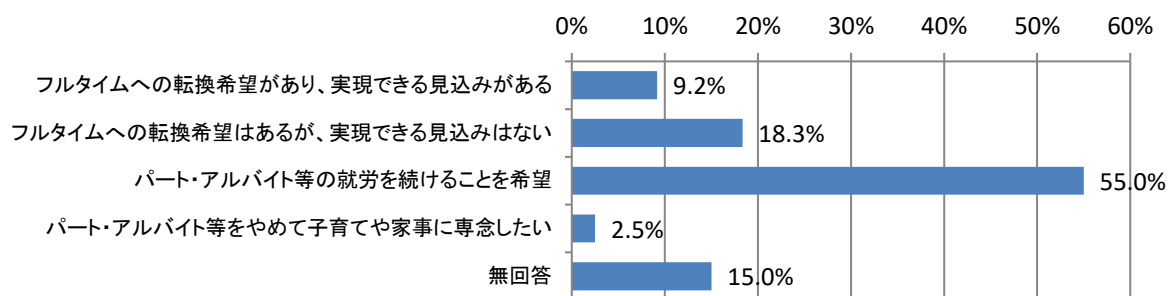


問 13-2 《問 13 で「3」または「4」（就労している）に○をつけた方にうかがいます》

フルタイムへの転換希望はありますか。

パート・アルバイト等で就労している「母親」のフルタイムへの転換希望は、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」する割合が 55.0%と最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望があるが、実現できる見込みはない」の割合が 18.3%となっています。

項目	度数	構成比
フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある	11	9.2%
フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない	22	18.3%
パート・アルバイト等の就労を続けることを希望	66	55.0%
パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい	3	2.5%
無回答	18	15.0%
回答者数	120	100.0%
非該当	190	－



問 13-3 《問 13 で「5～6」（就労していない）に○をつけた方にうかがいます》

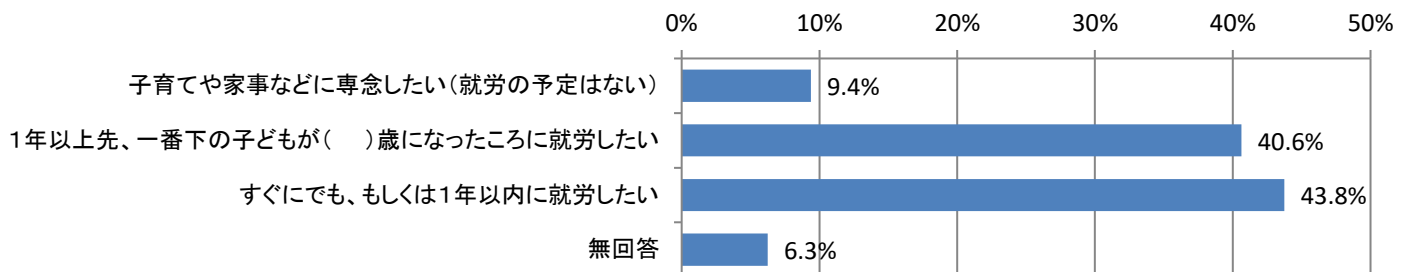
就労したいという希望はありますか。

現在就労していないと回答した母親の就労希望は、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」の割合が43.8%と最も高くなっています。

また、就労を希望する時期（一番下の子どもの年齢）は、「3歳」の割合が76.9%と最も高くなっています。

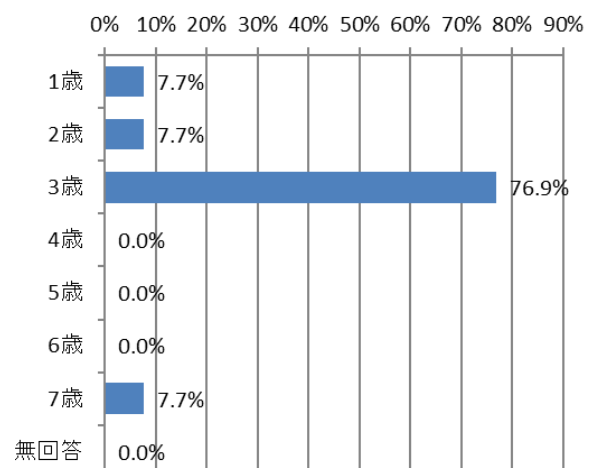
さらに、今後希望する就労形態は、「パートタイム、アルバイト等」の割合が46.4%となっており、1週当たりの勤務日数は「5日（35.8%）」、1日当たりの勤務時間は、「3～5時間（69.2%）」が最も多くなっています。

項目	度数	構成比
子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)	3	9.4%
1年以上先、一番下の子どもが()歳になったころに就労したい	13	40.6%
すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい	14	43.8%
無回答	2	6.3%
回答者数	32	100.0%
非該当	278	—



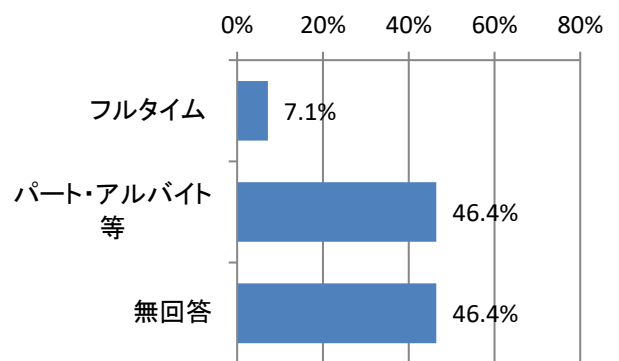
■ 就労を希望する時期(子どもの年齢)

項目	度数	構成比
1歳	1	7.7%
2歳	1	7.7%
3歳	10	76.9%
4歳	0	0.0%
5歳	0	0.0%
6歳	0	0.0%
7歳	1	7.7%
無回答	0	0.0%
回答者数	13	100.0%
非該当	297	—



■ 希望する就労形態

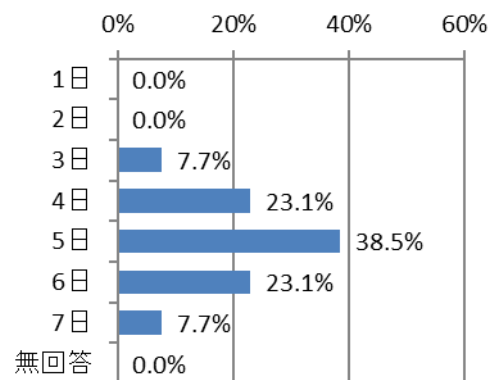
項目	度数	構成比
フルタイム	2	7.1%
パート・アルバイト等(「ア」以外)	13	46.4%
無回答	13	46.4%
回答者数	28	100.0%
非該当	282	-



■ 希望する就労形態がパート・アルバイト等を希望する場合の希望する勤務日数・時間

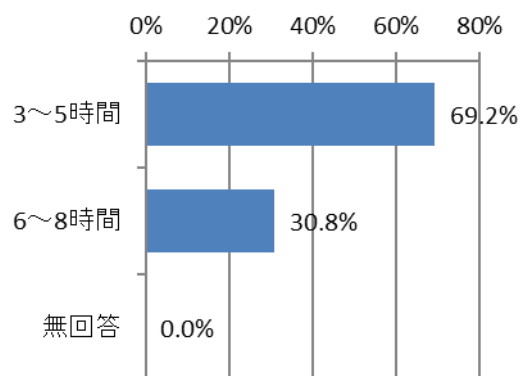
1週当たり勤務日数

項目	度数	構成比
1日	0	0.0%
2日	0	0.0%
3日	1	7.7%
4日	3	23.1%
5日	5	38.5%
6日	3	23.1%
7日	1	7.7%
無回答	0	0.0%
回答者数	13	100.0%
非該当	297	-



1日当たり勤務時間

項目	度数	構成比
3～5時間	9	69.2%
6～8時間	4	30.8%
無回答	0	0.0%
回答者数	13	100.0%
非該当	297	-

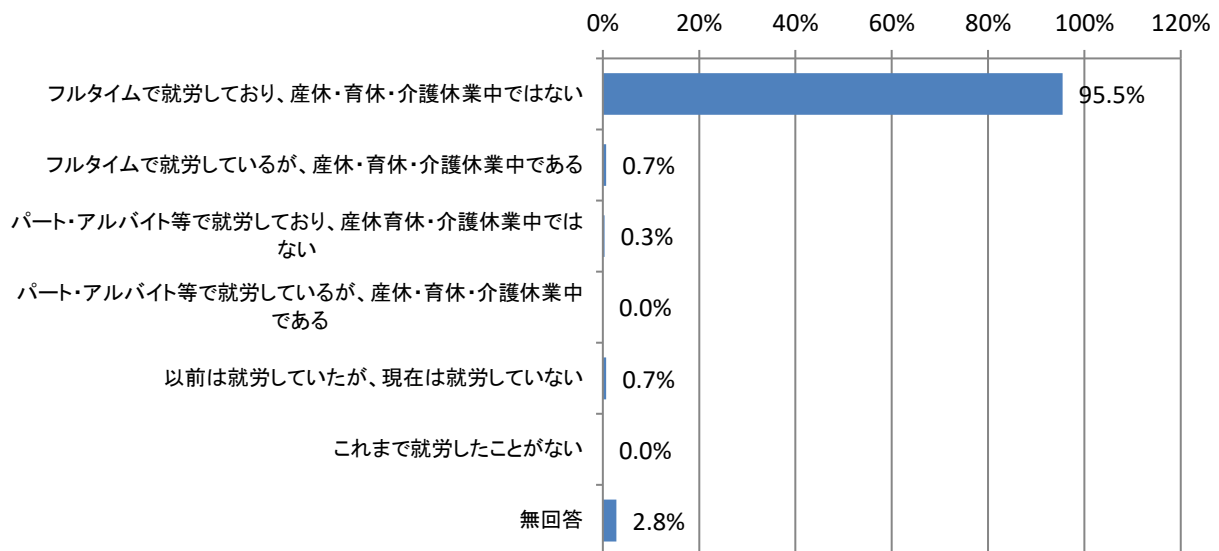


問 14 父親の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

父親の就労状況は、「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」の割合が 95.5%と最も高くなっています。

また、産休・育休・介護休業中の割合は、フルタイムとパート・アルバイト等を合わせて 1 %で、「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合も 0.7%となっています。

項目	度数	構成比
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	274	95.5%
フルタイムで就労しているが、産休育休・介護休業中である	2	0.7%
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	1	0.3%
パート・アルバイト等で就労しているが、育休・介護休業中である	0	0.0%
以前は就労していたが、現在は就労していない	2	0.7%
これまで就労したことがない	0	0.0%
無回答	8	2.8%
回答者数	287	100.0%
非該当	24	—



問 14-1 《問 14 で「1～4」（就労している）に○をつけた方にうかがいます》

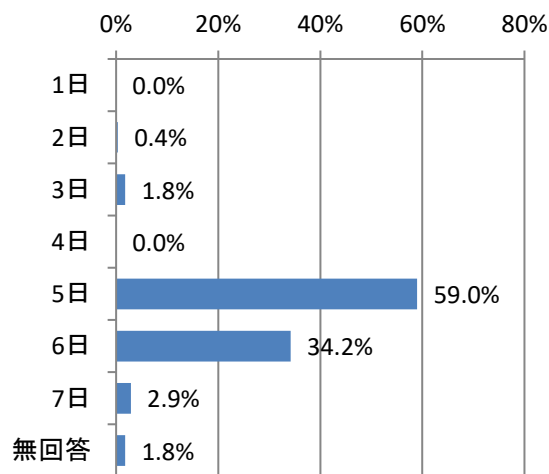
「1週当たりの就労日数」、「1日当たりの就労時間（残業時間を含む）」及び「家を出る時刻」と「帰宅時刻」をお答えください。

現在就労している父親の1週当たり就労日数は、「5日」の割合が59.0%、1日当たり就労時間（残業を含む）は「8時間」の割合が49.3%とそれぞれ最も高くなっています。

また、家を出る時刻は、「7時」の割合が40.3%、帰宅時刻は、「18時（32.0%）」「19時（31.7%）」とそれぞれ高くなっています。

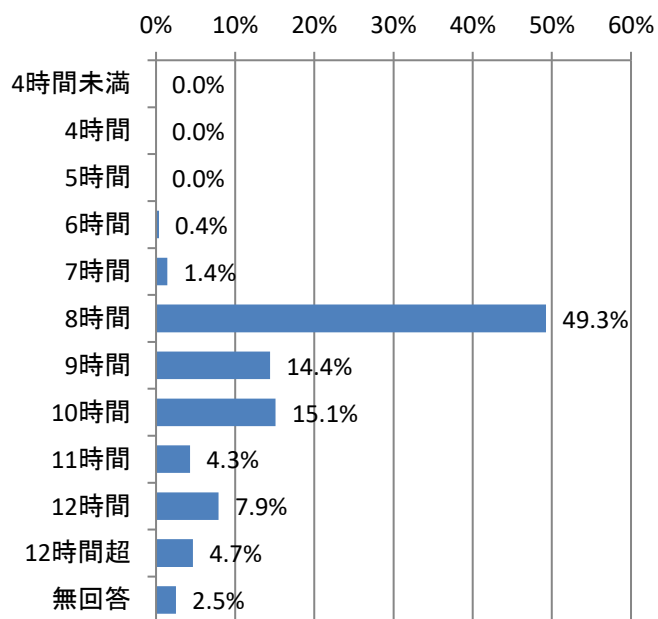
■ 1週当たり就労日数

項目	度数	構成比
1日	0	0.0%
2日	1	0.4%
3日	5	1.8%
4日	0	0.0%
5日	164	59.0%
6日	95	34.2%
7日	8	2.9%
無回答	5	1.8%
回答者数	278	100.0%
非該当	32	—



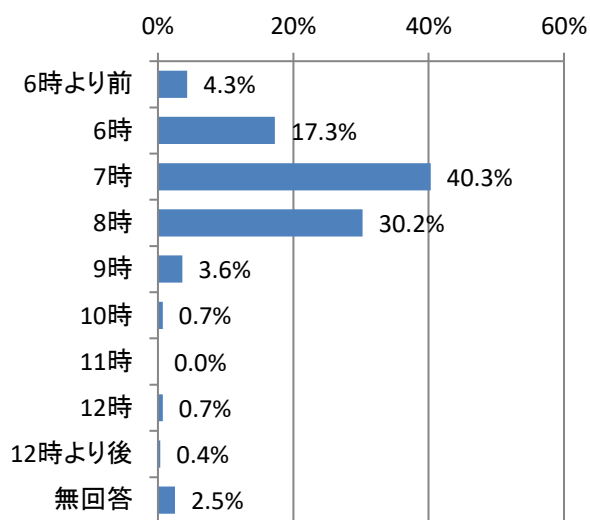
■ 1日当たり就労時間（残業を含む）

項目	度数	構成比
4時間未満	0	0.0%
4時間	0	0.0%
5時間	0	0.0%
6時間	1	0.4%
7時間	4	1.4%
8時間	137	49.3%
9時間	40	14.4%
10時間	42	15.1%
11時間	12	4.3%
12時間	22	7.9%
12時間超	13	4.7%
無回答	7	2.5%
回答者数	278	100.0%
非該当	32	—



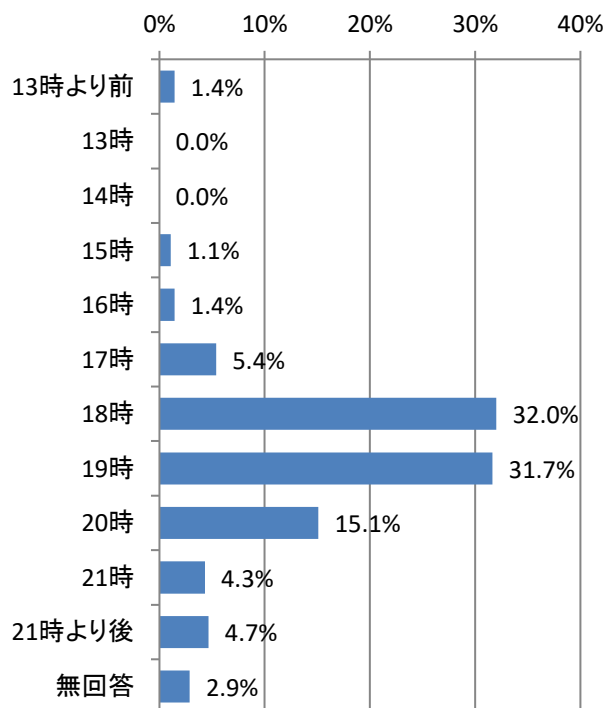
■ 家を出る時刻

項目	度数	構成比
6 時より前	12	4.3%
6 時	48	17.3%
7 時	112	40.3%
8 時	84	30.2%
9 時	10	3.6%
10 時	2	0.7%
11 時	0	0.0%
12 時	2	0.7%
12 時より後	1	0.4%
無回答	7	2.5%
回答者数	278	100.0%
非該当	32	—



■ 帰宅時刻

項目	度数	構成比
13 時より前	4	1.4%
13 時	0	0.0%
14 時	0	0.0%
15 時	3	1.1%
16 時	4	1.4%
17 時	15	5.4%
18 時	89	32.0%
19 時	88	31.7%
20 時	42	15.1%
21 時	12	4.3%
21 時より後	13	4.7%
無回答	8	2.9%
回答者数	278	100.0%
非該当	32	—



問 14-2 《問 14 で「3」または「4」（就労している）に○をつけた方にうかがいます》

フルタイムへの転換希望はありますか。

パート・アルバイト等で就労している父親のフルタイムへの転換希望は、無回答でした

項目	度数	構成比
フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある	0	0.0%
フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない	0	0.0%
パート・アルバイト等の就労を続けることを希望	0	0.0%
パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい	0	0.0%
無回答	1	100.0%
回答者数	1	100.0%
非該当	309	—

問 14-3 《問 14 で「5～6」（就労していない）に○をつけた方にうかがいます》

就労したいという希望はありますか。

現在就労していないと回答した父親の就労希望は、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が1件となっています。

また、就労を希望する時期（一番下の子どもの年齢）は、無回答でした。

さらに、現在就労していない父親の今後希望する就労形態は、「フルタイム」が1件となっています。

項目	度数	構成比
子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)	0	0.0%
1年より先、一番下の子どもが()歳になったところに就労したい	0	0.0%
すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい	1	100.0%
無回答	0	0.0%
回答者数	1	100.0%
非該当	309	—

■就労を希望する時期（子どもの年齢）

「1年より先、一番下の子どもが()歳になったところに就労したい」の回答なし

■希望する就労形態

項目	度数	構成比
フルタイム	1	100.0%
パート・アルバイト等(「ア」以外)	0	0.0%
無回答	0	0.0%
回答者数	1	100.0%
非該当	309	－

■希望する就労形態がパートタイム・アルバイト等の場合の希望する勤務日数・時間
(1週当たり勤務日数)

回答なし

(1日当たり勤務時間)

回答なし

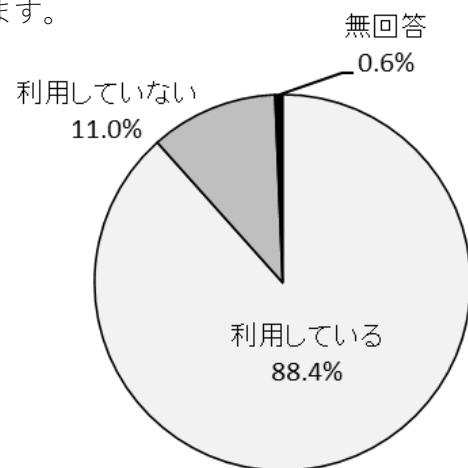
5 お子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

※ ここでいう「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的に利用している事業を指します。具体的には、幼稚園や保育所など、問 15-1 に示した事業が含まれます。

問 15 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。

定期的な教育・保育の事業の利用状況は、「利用している」の割合が 88.4%に対し、「利用していない」が 11.0%と、「利用している」割合が上回っています。

項目	度数	構成比
利用している	274	88.4%
利用していない	34	11.0%
無回答	2	0.6%
回答者数	310	100.0%

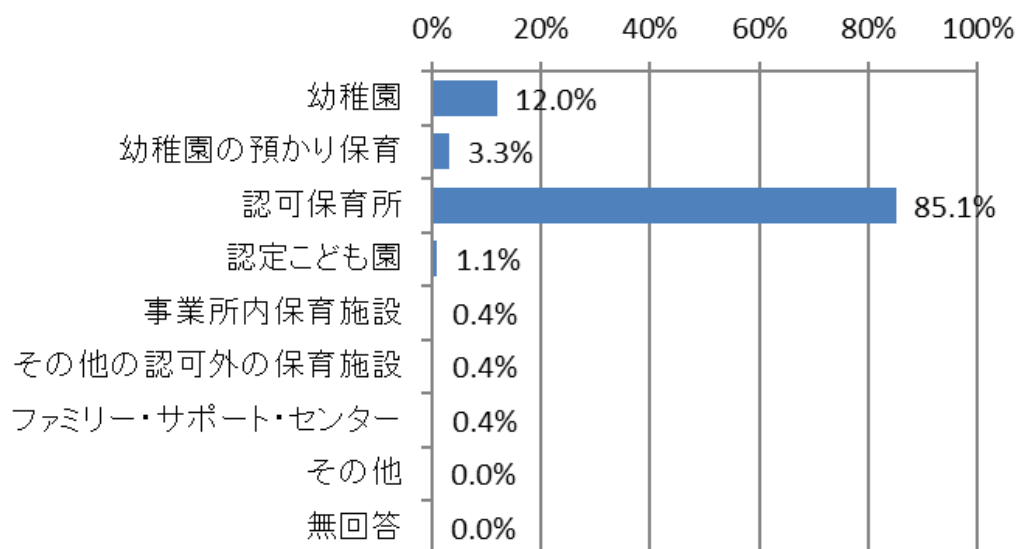


問 15-1 《問 15-1～問 15-4 は、問 15 で「1.利用している」に○をつけた方にうかがいます。》

宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。

平日の教育・保育の事業の利用種別は、「認可保育所（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けたもの）」の割合が 85.1%と最も高く、次いで「幼稚園（通常の就園時間の利用）」が 12.0%、「幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ）」が 3.3%となっています。

項目	度数	構成比
幼稚園（通常の就園時間の利用）	33	12.0%
幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ）	9	3.3%
認可保育所（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けたもの）	235	85.1%
認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）	3	1.1%
事業所内保育施設（企業が主に従業員用に運営する施設）	1	0.4%
その他の認可外の保育施設	1	0.4%
ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）	1	0.4%
その他	0	0.0%
無回答	0	0.0%
回答者数	276	—
非該当	34	—



問 15-2 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、現在どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか（問 15-1 で複数選択をした方は、その合計を記載してください）。1週当たり何日、1日当たり何時間（何時から何時まで）かをご記入ください。

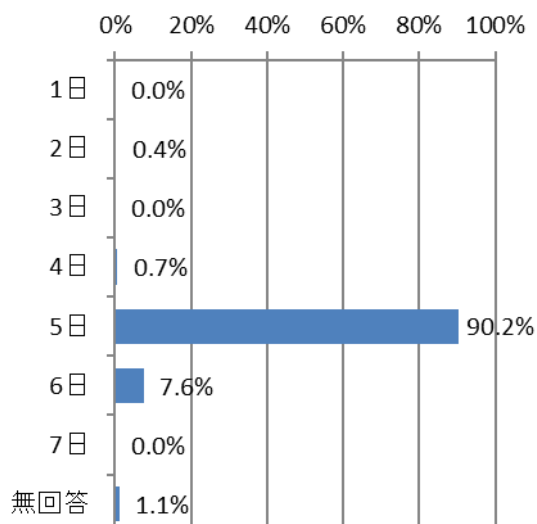
（1）現在

平日の教育・保育の事業の日数などの利用状況は、1週当たりの日数については、「5日」の割合が90.2%、1日当たりの時間については、「7時間」～「9時間」の割合が79.5%と、それぞれ最も高くなっています。

また、利用時間帯は、登園時刻については、「8時（33.2%）」「9時（29.3%）」、帰園時刻については、「16時（52.6%）」と高くなっています。

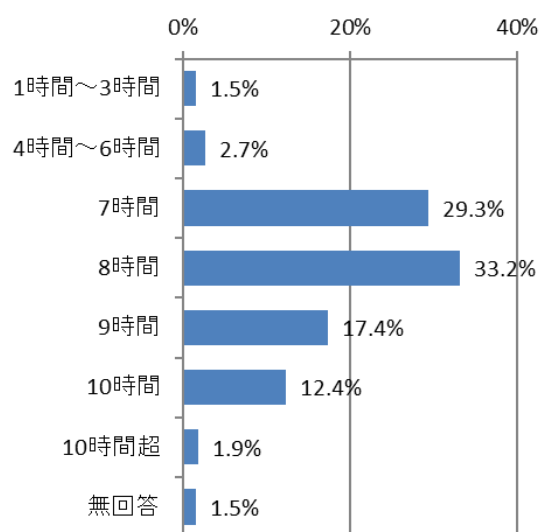
■ 1週当たり日数

項目	度数	構成比
1日	0	0.0%
2日	1	0.4%
3日	0	0.0%
4日	2	0.7%
5日	249	90.2%
6日	21	7.6%
7日	0	0.0%
無回答	3	1.1%
回答者数	276	100.0%
非該当	34	-



■ 1日当たり時間

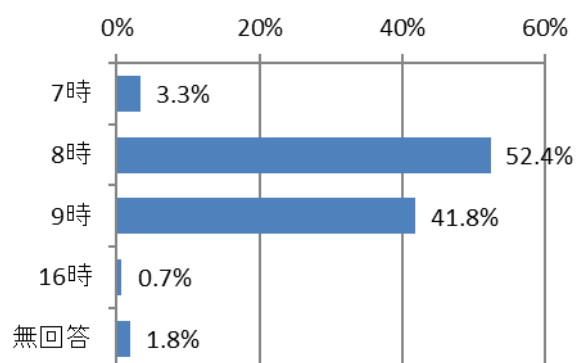
項目	度数	構成比
1時間～3時間	4	1.5%
4時間～6時間	7	2.7%
7時間	76	29.3%
8時間	86	33.2%
9時間	45	17.4%
10時間	32	12.4%
10時間超	5	1.9%
無回答	4	1.5%
回答者数	259	100.0%
非該当	33	－



■ 利用時間帯

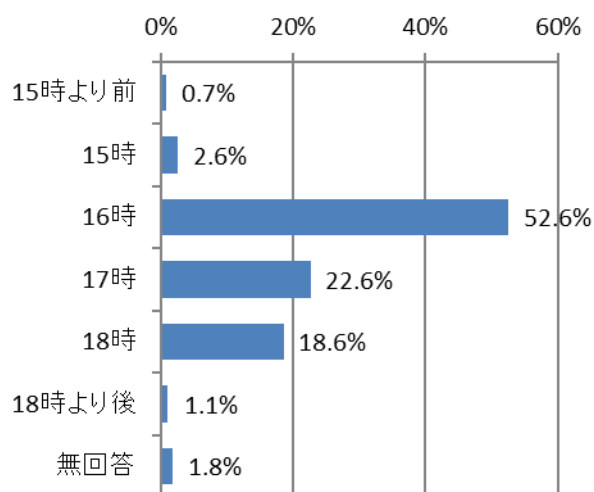
(登園時刻)

項目	度数	構成比
7時	9	3.3%
8時	144	52.4%
9時	115	41.8%
16時	2	0.7%
無回答	5	1.8%
回答者数	275	100.0%
非該当	34	－



(帰園時刻)

項目	度数	構成比
15時より前	2	0.7%
15時	7	2.6%
16時	144	52.6%
17時	62	22.6%
18時	51	18.6%
18時より後	3	1.1%
無回答	5	1.8%
回答者数	274	100.0%
非該当	34	－



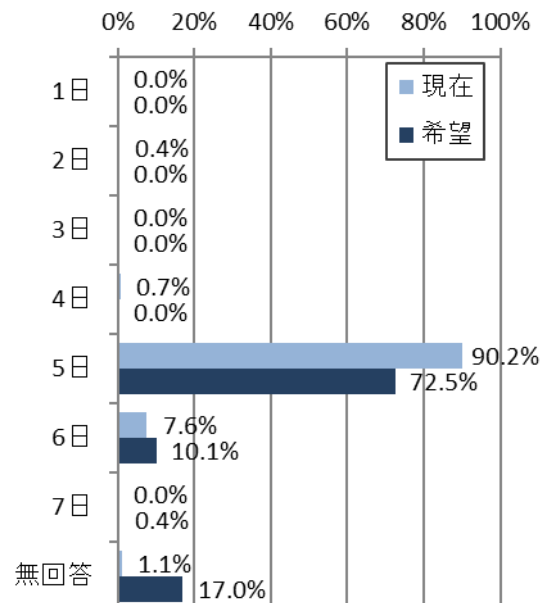
(2) 希望

平日の教育・保育の事業の日数などの利用希望は、1週当たりの日数については、「5日」の割合が72.5%、1日当たりの時間については、「8時間」の割合が27.2%と最も高くなっています。

また、利用希望時間帯は、登園時刻については、「8時（44.2%）」、帰園時刻については、「15時（29.0%）」の割合が比較的高くなっています。

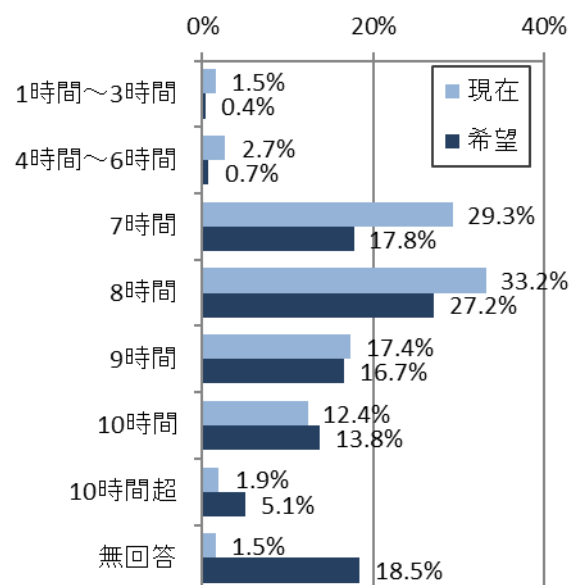
■ 1週当たり日数

項目	度数	構成比
1日	0	0.0%
2日	0	0.0%
3日	0	0.0%
4日	0	0.0%
5日	200	72.5%
6日	28	10.1%
7日	1	0.4%
無回答	47	17.0%
回答者数	276	100.0%
非該当	34	-



■ 1日当たり時間

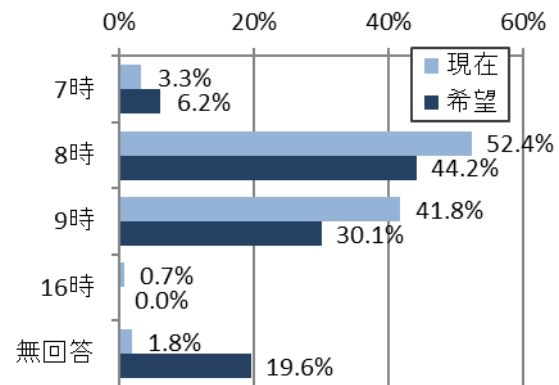
項目	度数	構成比
1時間～3時間	1	0.4%
4時間～6時間	2	0.7%
7時間	49	17.8%
8時間	75	27.2%
9時間	46	16.7%
10時間	38	13.8%
10時間超	14	5.1%
無回答	51	18.5%
回答者数	276	100.0%
非該当	74	-



■ 利用時間帯

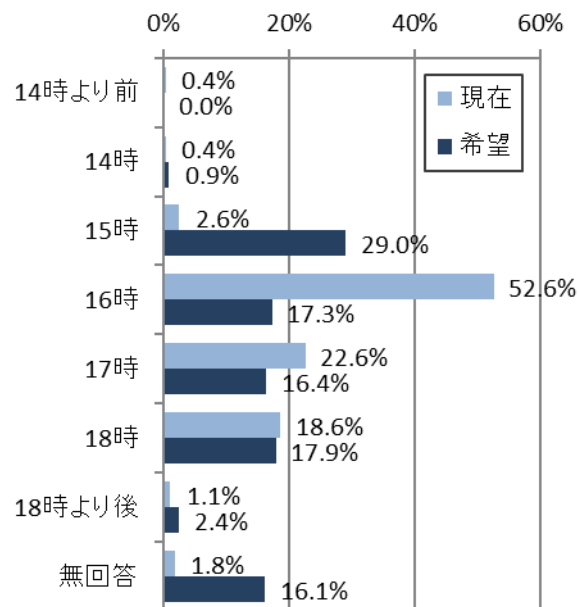
(登園時刻)

項目	度数	構成比
7時	17	6.2%
8時	122	44.2%
9時	83	30.1%
16時	0	0.0%
無回答	54	19.6%
回答者数	276	100.0%
非該当	34	-



(帰園時刻)

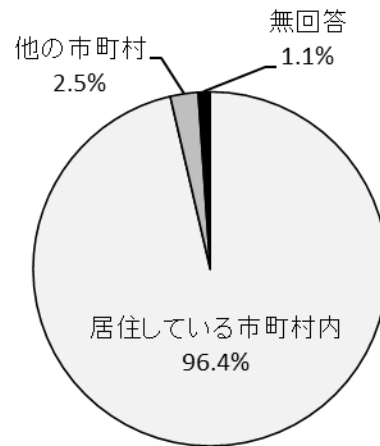
項目	度数	構成比
14時より前	0	0.0%
14時	3	0.9%
15時	97	29.0%
16時	58	17.3%
17時	55	16.4%
18時	60	17.9%
18時より後	8	2.4%
無回答	54	16.1%
回答者数	335	100.0%
非該当	34	-



問 15-3 現在、利用している教育・保育事業の実施場所についてうかがいます。当てはまる番号1つに○をつけてください。

現在、利用している教育・保育事業の実施場所については、「居住している市町村内」の割合が96.4%と最も高くなっています。

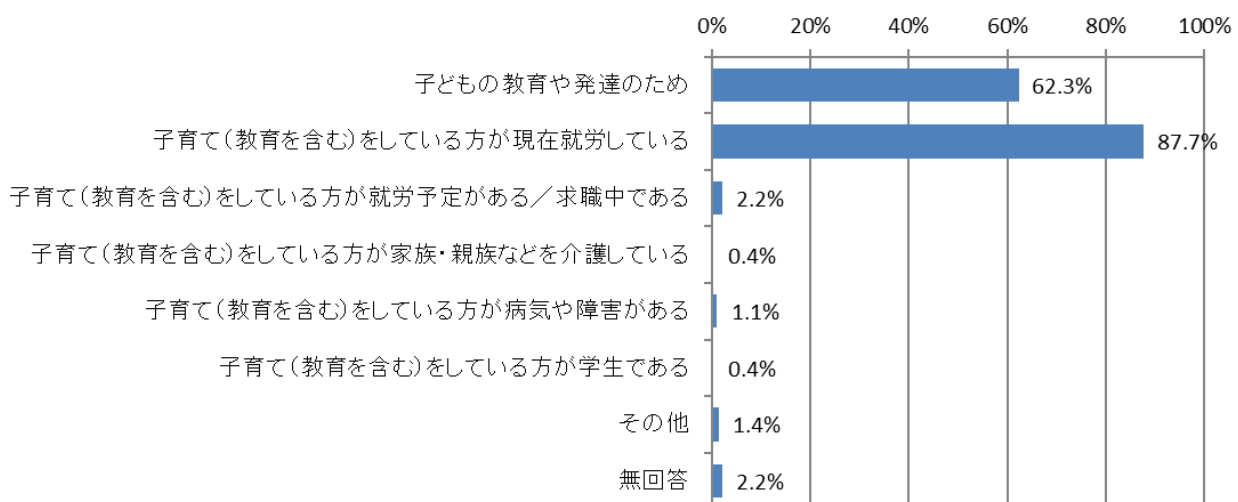
項目	度数	構成比
居住している市町村内	266	96.4%
他の市町村	7	2.5%
無回答	3	1.1%
回答者数	276	100.0%
非該当	34	－



問 15-4 平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由についてうかがいます。主な理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

平日に定期的に教育・保育の事業を利用している理由は、「子育て（教育を含む）をしている方が現在就労している（87.7%）」、「子どもの教育や発達のため（62.3%）」の割合がいずれも高くなっています。

項目	度数	構成比
子どもの教育や発達のため	172	62.3%
子育て（教育を含む）をしている方が現在就労している	242	87.7%
子育て（教育を含む）をしている方が就労予定がある／求職中である	6	2.2%
子育て（教育を含む）をしている方が家族・親族などを介護している	1	0.4%
子育て（教育を含む）をしている方が病気や障害がある	3	1.1%
子育て（教育を含む）をしている方が学生である	1	0.4%
その他	4	1.4%
無回答	6	2.2%
回答者数	276	－
非該当	34	－



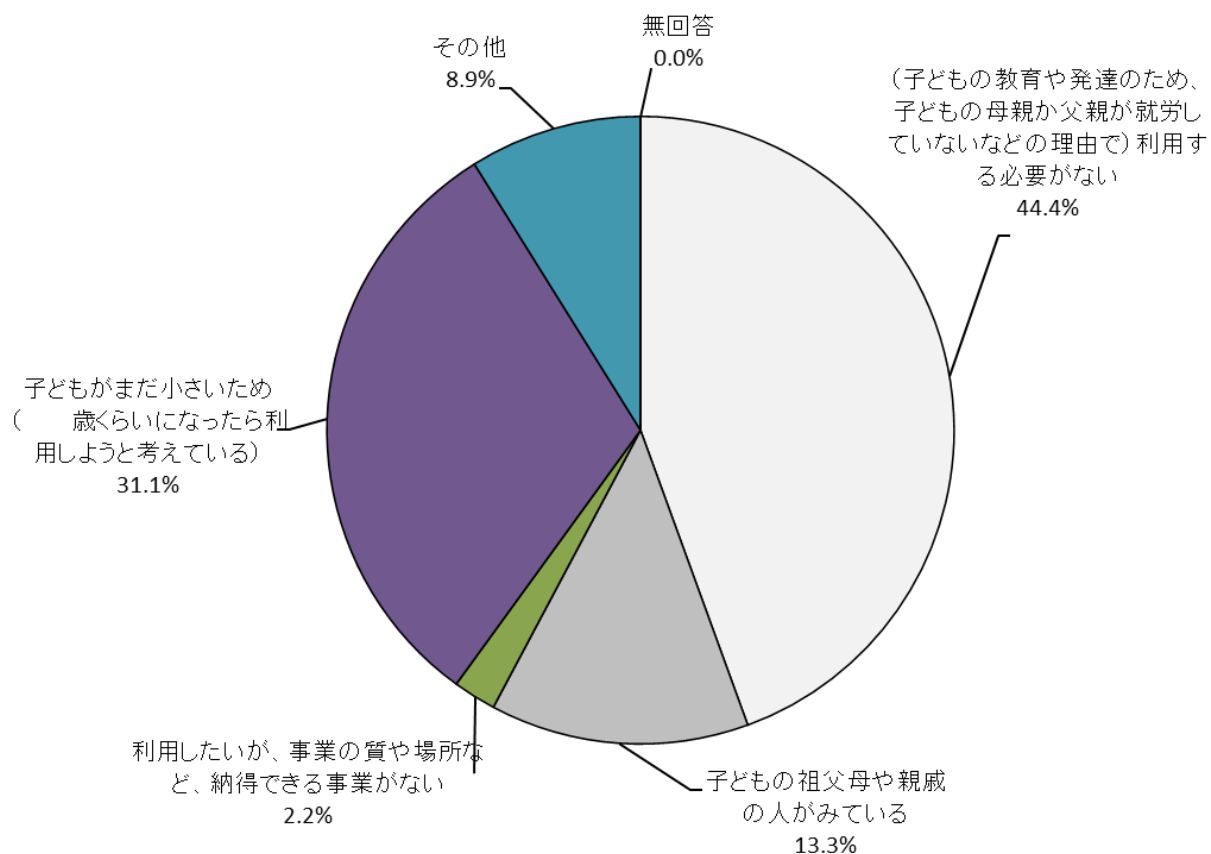
問 15-5 問 15 で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。

(幼稚園や保育所などを) 利用していない理由は何ですか。

定期的な教育・保育事業を利用していない理由は、「(子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で) 利用する必要がない」の割合が 44.4%と最も高くなっています。また、「子どもがまだ小さいため(歳くらいになったら利用しようと考えている)」の割合も 31.1%と比較的高くなっています。

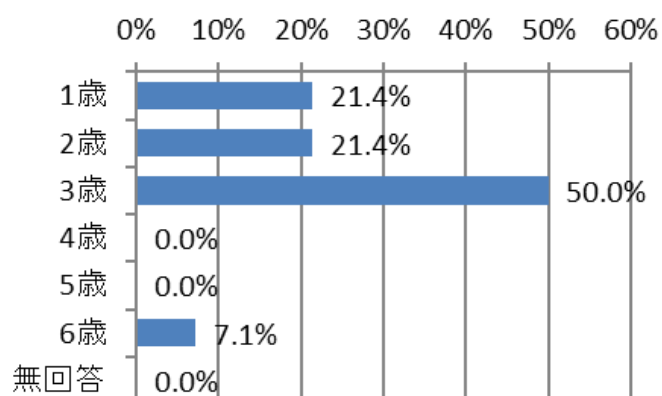
また、教育・保育事業の利用開始年齢は、「3 歳」の割合が 50.0%と最も高くなっています。

項目	度数	構成比
(子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で) 利用する必要がない	20	44.4%
子どもの祖父母や親戚の人がみている	6	13.3%
近所の人や父母の友人・知人がみている	0	0.0%
利用したいが、保育・教育の事業に空きがない	0	0.0%
利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない	0	0.0%
利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない	0	0.0%
利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない	1	2.2%
子どもがまだ小さいため(歳くらいになったら利用しようと考えている)	14	31.1%
その他	4	8.9%
無回答	0	0.0%
回答者数	45	100.0%



■ 教育・保育事業の利用開始年齢

項目	度数	構成比
1歳	3	21.4%
2歳	3	21.4%
3歳	7	50.0%
4歳	0	0.0%
5歳	0	0.0%
6歳	1	7.1%
無回答	0	0.0%
回答者数	14	100.0%
非該当	296	-



問 17 すべての方にうかがいます。国が検討している「こども誰でも通園制度(仮称)」※が創設された場合、週に何日程度利用したいと思いますか。「1.利用したい」の場合は日数、時間数及び時間帯を記入してください。

※ 「こども誰でも通園制度（仮称）」：普段保育所や幼稚園等を利用していない未就園児を、月一定時間の利用枠の中で、就労要件を問わず、保育所等で定期的に預かることで、時間単位等で柔軟に利用できる新たな制度

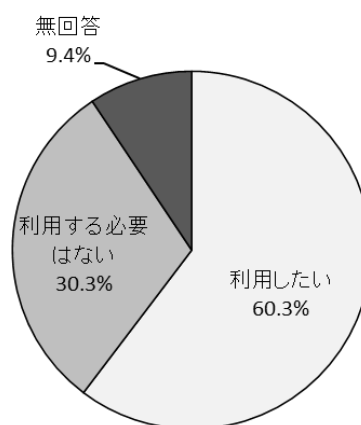
国が検討している「こども誰でも通園制度」については、「利用したい」の割合が 60.3%、「利用する必要はない」の割合が 30.3%となっています。

また、一週間当たりの利用日数としては、「5 日」を希望する割合が 54.0%と最も高くなっています。

さらに、1 回当たりの利用時間は「7～9 時間」の割合が 49.2%、登園時刻は「9 時」の割合が 46.0%、降園時刻は「16 時」の割合が 36.2%とそれぞれ高くなっています。

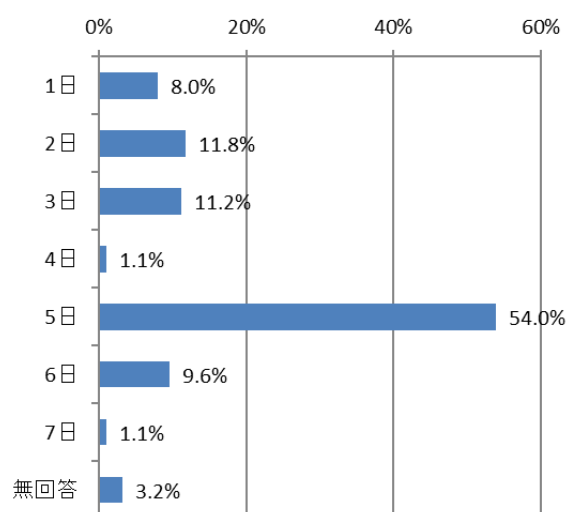
■ 利用意向

項目	度数	構成比
利用したい	187	60.3%
利用する必要はない	94	30.3%
無回答	29	9.4%
回答者数	310	100.0%



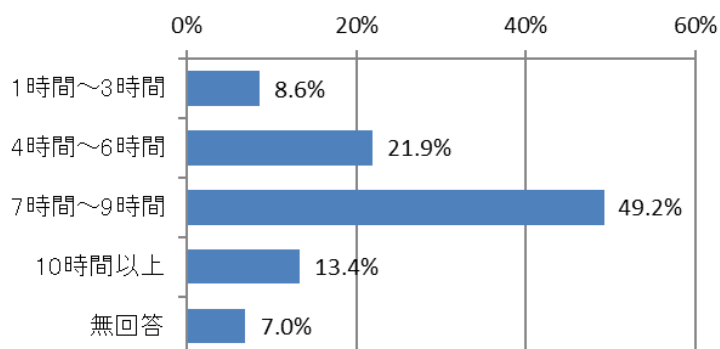
■ 一週間当たり利用日数

項目	度数	構成比
1日	15	8.0%
2日	22	11.8%
3日	21	11.2%
4日	2	1.1%
5日	101	54.0%
6日	18	9.6%
7日	2	1.1%
無回答	6	3.2%
回答者数	187	-
非該当	123	-



■ 一回当たり時間

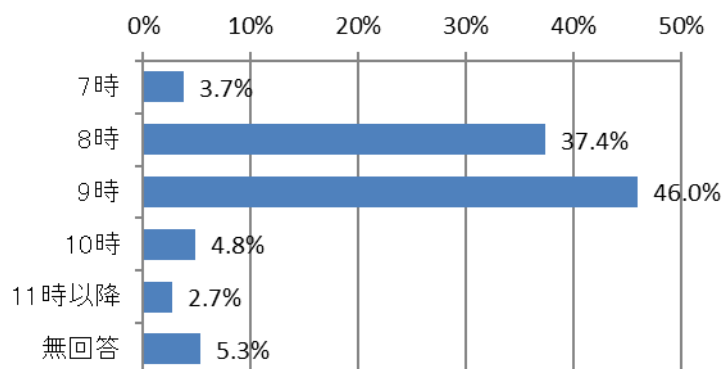
項目	度数	構成比
1時間～3時間	16	8.6%
4時間～6時間	41	21.9%
7時間～9時間	92	49.2%
10時間以上	25	13.4%
無回答	13	7.0%
回答者数	187	—
非該当	123	—



■ 利用時間帯

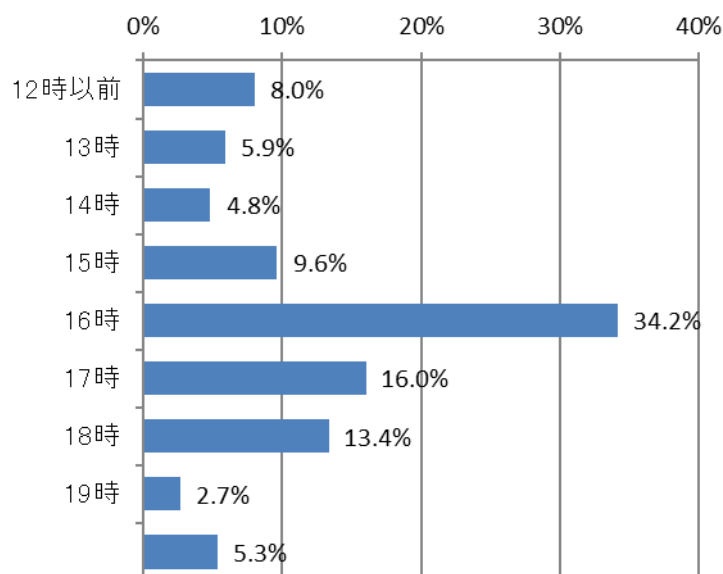
(登園時刻)

項目	度数	構成比
7時	7	3.7%
8時	70	37.4%
9時	86	46.0%
10時	9	4.8%
11時以降	5	2.7%
無回答	10	5.3%
回答者数	187	—
非該当	123	—



(降園時刻)

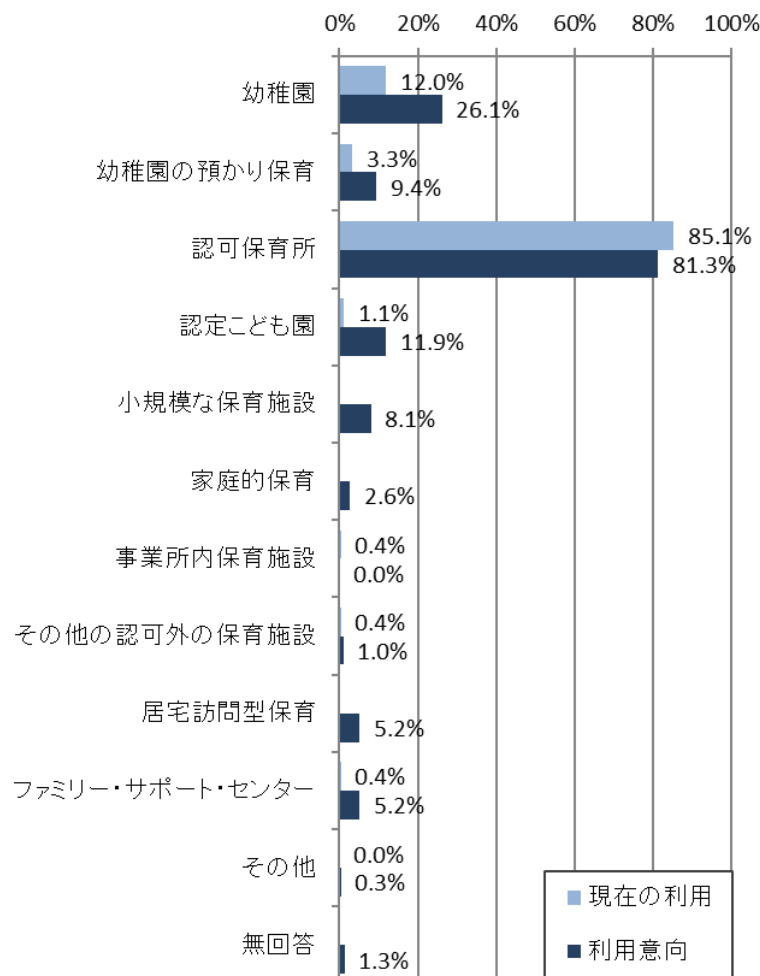
項目	度数	構成比
12時以前	15	8.0%
13時	11	5.9%
14時	9	4.8%
15時	18	9.6%
16時	64	34.2%
17時	30	16.0%
18時	25	13.4%
19時	5	2.7%
無回答	10	5.3%
回答者数	187	—
非該当	123	—



問17 すべての方にうかがいます。現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。

平日の教育・保育の事業の利用意向は、「認可保育所」が81.3%と最も高く、次いで「幼稚園」の割合が26.1%、「認定こども園」が11.9%となっています。

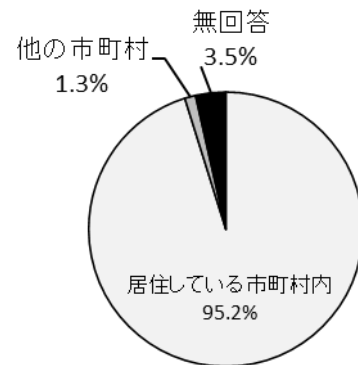
項目	度数	構成比
幼稚園(通常の就園時間の利用)	81	26.1%
幼稚園の預かり保育(通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)	29	9.4%
認可保育所(国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの)	252	81.3%
認定こども園(幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設)	37	11.9%
小規模な保育施設(国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員概ね6～19人のもの)	25	8.1%
家庭的保育(保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業)	8	2.6%
事業所内保育施設(企業が主に従業員用に運営する施設)	0	0.0%
その他の認可外の保育施設	3	1.0%
居宅訪問型保育(保育者が子どもの家庭で保育する事業)	16	5.2%
ファミリー・サポート・センター(地域住民が子どもを預かる事業)	16	5.2%
その他	1	0.3%
無回答	4	1.3%
回答者数	310	—



問 17-1 定期的に教育・保育事業を利用したい場所についてうかがいます。

利用したい教育・保育事業の場所については、「居住している市町村内」の割合が 95.2%と最も高くなっています。

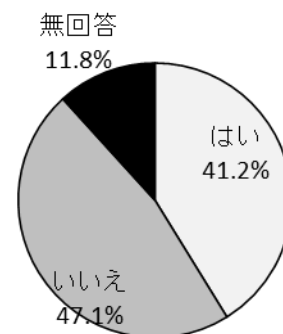
項目	度数	構成比
居住している市町村内	295	95.2%
他の市町村	4	1.3%
無回答	11	3.5%
回答者数	310	100.0%



問 17-2 《問 17 で「1.幼稚園（通常の就園時間の利用）」または「2.幼稚園の預かり保育」に○をつけ、かつ 3.~12.にも○をつけた方にうかがいます。》

特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。
「はい」割合が、41.2%、「いいえ」の割合が 47.1%となっています。

項目	度数	構成比
はい	21	41.2%
いいえ	24	47.1%
無回答	6	11.8%
回答者数	51	100.0%
非該当	259	-



6 お子さんの地域の子育て支援事業の利用状況について

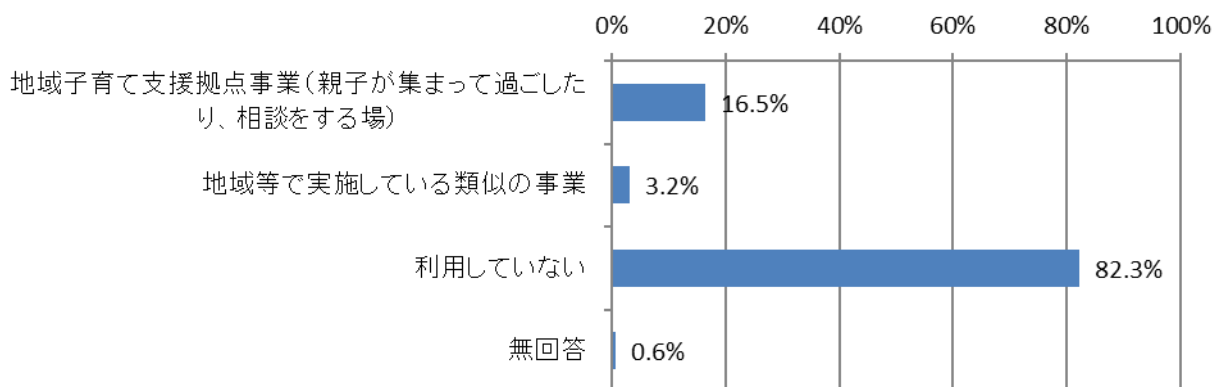
問 18 宛名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「子育て支援センター」等と呼ばれています）を利用していますか。また、おおよその利用回数（頻度）もご記入ください。

地域子育て支援拠点事業の利用状況は、「地域子育て支援拠点事業」を利用している割合が 19.7% に対し、「利用していない」が 82.3%となっています。

地域子育て支援拠点事業の利用回数は、1 週当たりでは「1 回（8 件）」、1 ヶ月当たりでは「1 回（25 件）」がと多くなっています。

また、地域等で実施している類似の事業の利用は 3.2%となっています。

項目	度数	構成比
地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をする場）	51	16.5%
地域等で実施している類似の事業	10	3.2%
利用していない	255	82.3%
無回答	2	0.6%
回答者数	310	—



■ 地域子育て支援拠点事業の利用（1 週当たり回数または 1 ヶ月当たり回数）

（1 週当たり回数）

1 週当たりの回数	度数	構成比
1 回	8	15.7%
2 回	2	3.9%
3 回	3	5.9%
4 回	3	5.9%
5 回	1	2.0%
無回答	34	66.7%
回答者数	51	100.0%
非該当	259	—

（1 ヶ月当たり回数）

1 ヶ月当たりの回数	度数	構成比
1 回	25	49.0%
2 回	8	15.7%
3 回	2	3.9%
4 回	2	3.9%
5 回以上	1	2.0%
無回答	13	25.5%
回答者数	51	100.0%
非該当	259	—

■その他当該自治体で実施している類似の事業の利用（1週当たり回数または1ヶ月当たり回数）
（1週当たり回数）（1ヶ月当たり回数）

1週当たりの回数	度数	構成比
無回答	10	100.0%
回答者数	10	100.0%
非該当	300	-

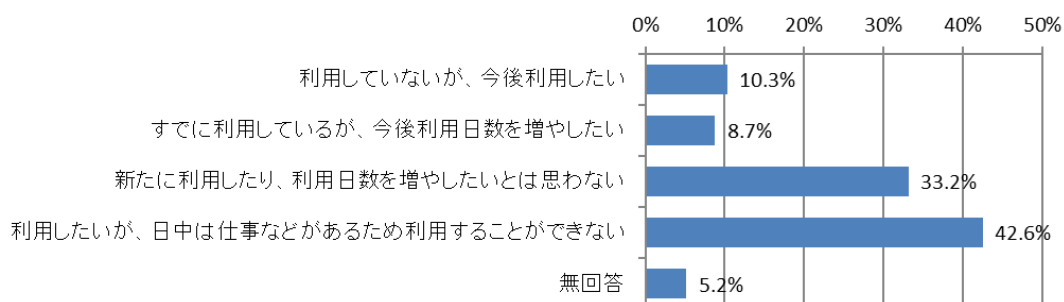
1ヶ月当たりの回数	度数	構成比
1回	6	60.0%
2回	0	0.0%
3回	1	10.0%
無回答	3	30.0%
回答者数	10	100.0%
非該当	300	-

問19 問18のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。また、おおよその利用回数（頻度）をご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。

地域子育て支援拠点事業の新規の利用及び利用拡大の意向は、「利用していないが、今後利用したい(10.3%)」と「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい(8.7%)」の合計割合が19.0%に対し、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が33.2%、「利用したいが、日中は仕事などがあるため利用することができない」が42.6%となっています。

地域子育て支援拠点事業の利用回数は、1週当たりでは「1回」の割合が、1ヶ月当たりでは「1回」～「2回」の割合が高くなっています。

項目	度数	構成比
利用していないが、今後利用したい	32	10.3%
すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい	27	8.7%
新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない	103	33.2%
利用したいが、日中は仕事などがあるため利用することができない	132	42.6%
無回答	16	5.2%
回答者数	310	100.0%



■ 利用していないが今後利用したい（1週当たり回数または1ヶ月当たり回数）

（1週当たり回数）

1週当たりの回数	度数	構成比
1回	11	35.5%
2回	3	9.7%
3回	0	0.0%
4回	0	0.0%
5回	1	3.2%
無回答	16	51.6%
回答者数	31	100.0%
非該当	279	-

（1ヶ月当たり回数）

1ヶ月当たりの回数	度数	構成比
1回	8	26.7%
2回	3	10.0%
3回	5	16.7%
4回	1	3.3%
5回以上	0	0.0%
無回答	13	43.3%
回答者数	30	100.0%
非該当	280	-

■ 利用回数を更に増やしたい（1週当たり回数または1ヶ月当たり回数）

（1週当たり回数）

1週当たりの回数	度数	構成比
1回	9	24.3%
2回	6	16.2%
3回	2	5.4%
4回	1	2.7%
5回	0	0.0%
無回答	19	51.4%
回答者数	37	100.0%
非該当	341	-

（1ヶ月当たり回数）

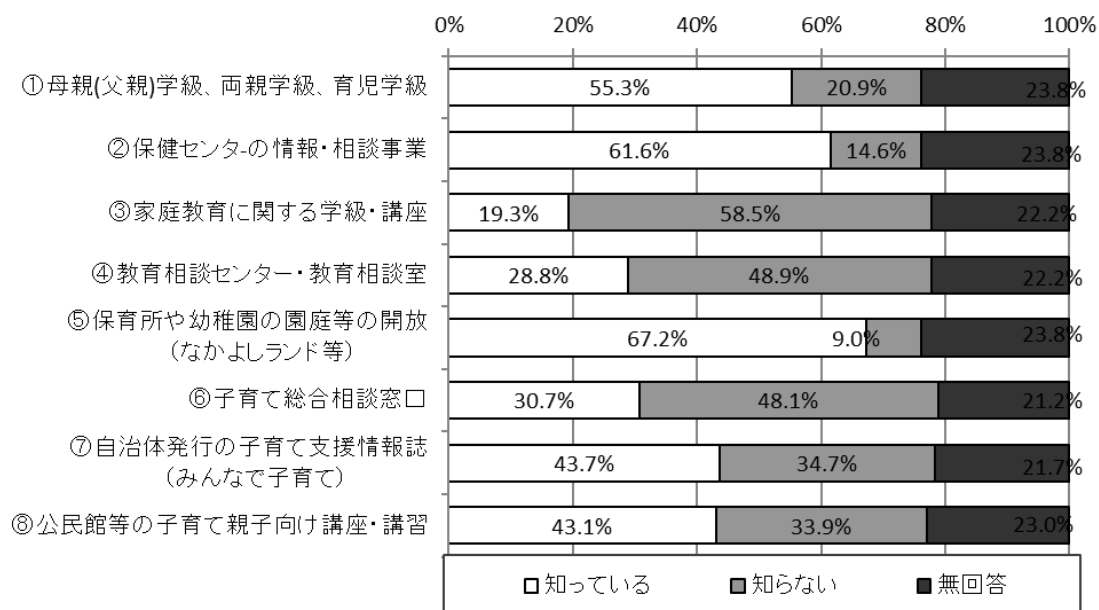
1ヶ月当たりの回数	度数	構成比
1回	5	13.5%
2回	8	21.6%
3回	1	2.7%
4回	0	0.0%
5回以上	2	5.4%
無回答	21	56.8%
回答者数	37	100.0%
非該当	341	-

問 20 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。①～⑧の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。なお、事業によっては、お住まいの地域で実施されていないものもあります。

認知度は、「保育所や幼稚園等の開放（67.2%）」が最も高く、「保健センターの情報・相談事業（61.6%）」、「母親(父親)学級、両親学級、育児学級（55.3%）」の割合がいずれも5割を越えています。

■ 認知度

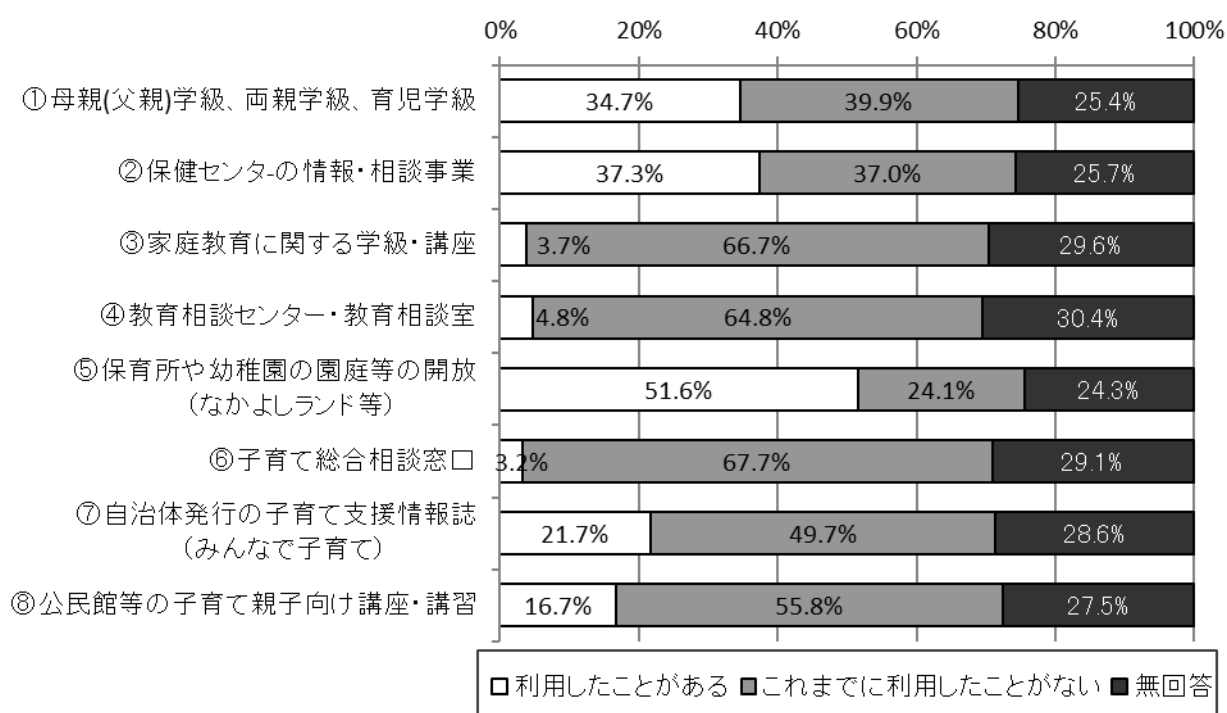
項目	知っている	知らない	無回答	回答者数
①母親(父親)学級、両親学級、育児学級	209	79	90	378
	55.3%	20.9%	23.8%	100.0%
②保健センターの情報・相談事業	233	55	90	378
	61.6%	14.6%	23.8%	100.0%
③家庭教育に関する学級・講座	73	221	84	378
	19.3%	58.5%	22.2%	100.0%
④教育相談センター・教育相談室	109	185	84	378
	28.8%	48.9%	22.2%	100.0%
⑤保育所や幼稚園の園庭等の開放 (なかよしランド等)	254	34	90	378
	67.2%	9.0%	23.8%	100.0%
⑥子育て総合相談窓口	116	182	80	378
	30.7%	48.1%	21.2%	100.0%
⑦自治体発行の子育て支援情報誌 (みんなで子育て)	165	131	82	378
	43.7%	34.7%	21.7%	100.0%
⑧公民館等の子育て親子向け講座・講習	163	128	87	378
	43.1%	33.9%	23.0%	100.0%



利用度は、「保育所や幼稚園の園庭等の開放（51.6%）」が最も高く、次いで「保健センターの情報・相談事業(34.7%)」、「母親(父親)学級（37.3%）」の割合が比較的高くなっています。

■ 利用度

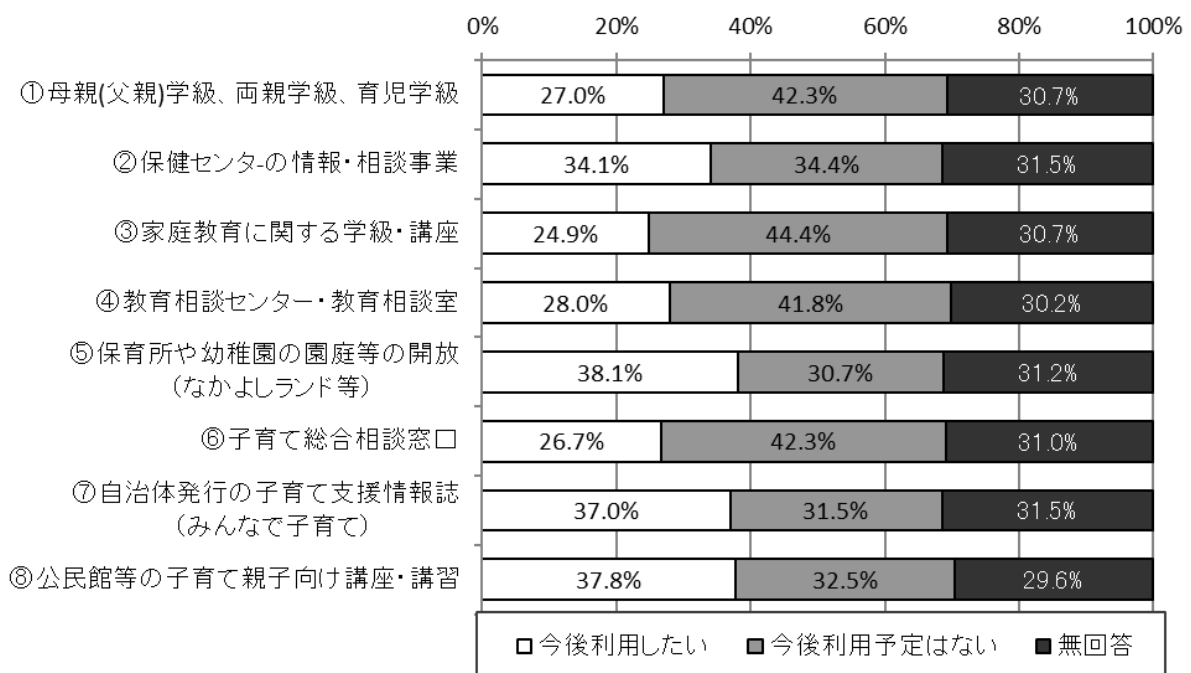
項目	利用したことがある	これまでに利用したことがない	無回答	回答者数
①母親(父親)学級、両親学級、育児学級	131	151	96	378
	34.7%	39.9%	25.4%	100.0%
②保健センターの情報・相談事業	141	140	97	378
	37.3%	37.0%	25.7%	100.0%
③家庭教育に関する学級・講座	14	252	112	378
	3.7%	66.7%	29.6%	100.0%
④教育相談センター・教育相談室	18	245	115	378
	4.8%	64.8%	30.4%	100.0%
⑤保育所や幼稚園の園庭等の開放 (なかよしランド等)	195	91	92	378
	51.6%	24.1%	24.3%	100.0%
⑥子育て総合相談窓口	12	256	110	378
	3.2%	67.7%	29.1%	100.0%
⑦自治体発行の子育て支援情報誌 (みんなで子育て)	82	188	108	378
	21.7%	49.7%	28.6%	100.0%
⑧公民館等の子育て親子向け講座・講習	63	211	104	378
	16.7%	55.8%	27.5%	100.0%



利用意向は、「保育所や幼稚園の園庭等の開放（38.1%）」、「公民館等の子育て親子向け講座・講習（37.8）」「自治体発行の子育て情報誌（37.0%）」となっています。

■ 利用意向

項目	今後利用 したい	今後利用予定は ない	無回答	回答者数
①母親(父親)学級、両親学級、育児学級	102	160	116	378
	27.0%	42.3%	30.7%	100.0%
②保健センターの情報・相談事業	129	130	119	378
	34.1%	34.4%	31.5%	100.0%
③家庭教育に関する学級・講座	94	168	116	378
	24.9%	44.4%	30.7%	100.0%
④教育相談センター・教育相談室	106	158	114	378
	28.0%	41.8%	30.2%	100.0%
⑤保育所や幼稚園の園庭等の開放 (なかよしランド等)	144	116	118	378
	38.1%	30.7%	31.2%	100.0%
⑥子育て総合相談窓口	101	160	117	378
	26.7%	42.3%	31.0%	100.0%
⑦自治体発行の子育て支援情報誌 (みんなで子育て)	140	119	119	378
	37.0%	31.5%	31.5%	100.0%
⑧公民館等の子育て親子向け講座・講習	143	123	112	378
	37.8%	32.5%	29.6%	100.0%



7 土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について

問 21 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業※の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。希望がある場合は、利用したい時間帯を、24時間制で記入ください。

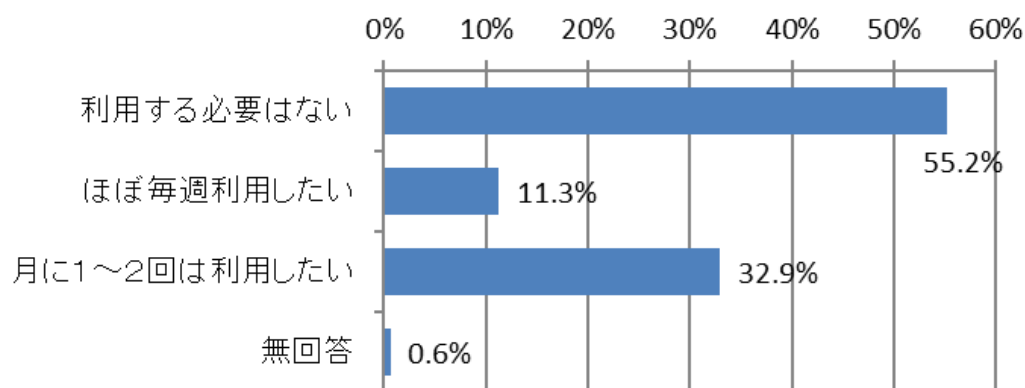
※ 保育・教育事業とは、幼稚園、保育所、認可外保育施設などの事業を指しますので、親族・知人による預かりは含みません。

（1）土曜日

土曜日の定期的な教育・保育の事業の利用希望は、「利用する必要はない」の割合が 55.2%に対し、「ほぼ毎週利用したい（11.3%）」と「月に1～2回は利用したい（32.9%）」の合計割合は 64.2%となっています。

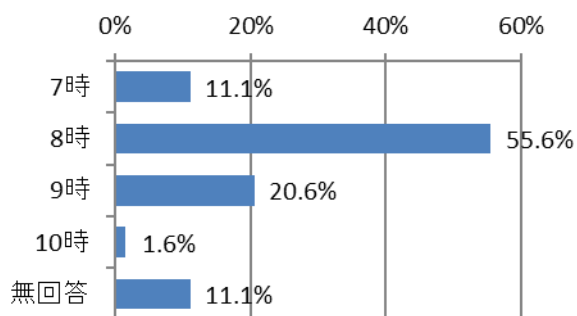
また、利用したい時間帯は、登園時刻については、「8 時（55.6%）」、帰園時刻については、「17 時（28.1%）」「18 時（28.1%）」の割合が比較的高くなっています。

項目	度数	構成比
利用する必要はない	171	55.2%
ほぼ毎週利用したい	35	11.3%
月に1～2回は利用したい	102	32.9%
無回答	2	0.6%
回答者数	310	100.0%



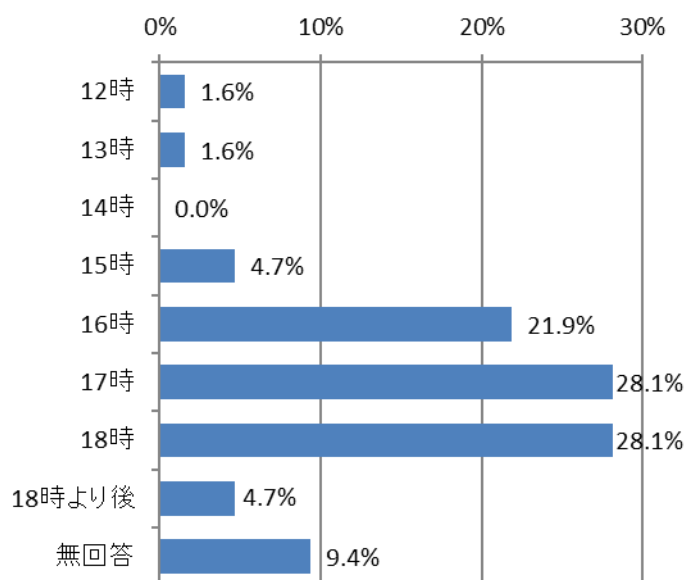
■ 利用時間帯
(登園時刻)

項目	度数	構成比
7時	7	11.1%
8時	35	55.6%
9時	13	20.6%
10時	1	1.6%
無回答	7	11.1%
回答者数	63	100.0%
非該当	246	-



(帰園時刻)

項目	度数	構成比
12時	1	1.6%
13時	1	1.6%
14時	0	0.0%
15時	3	4.7%
16時	14	21.9%
17時	18	28.1%
18時	18	28.1%
18時より後	3	4.7%
無回答	6	9.4%
回答者数	64	100.0%
非該当	246	-

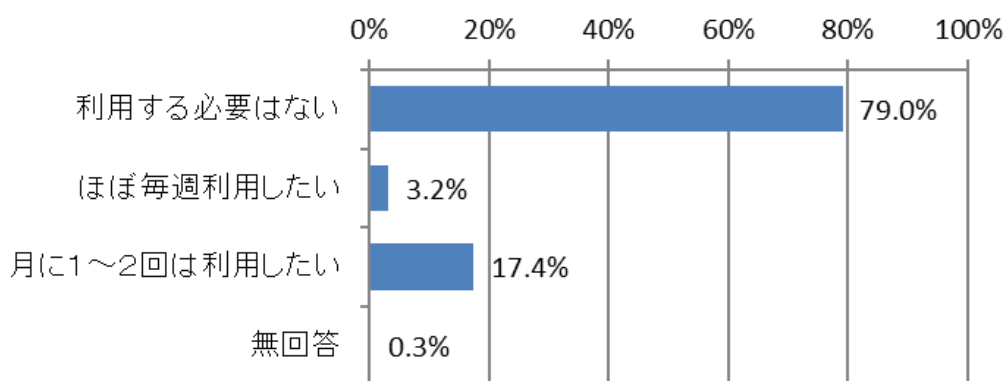


(2) 日曜・祝日

日曜・祝日の定期的な教育・保育の事業の利用希望は、「利用する必要はない」の割合が79.0%に対し、「ほぼ毎週利用したい(3.2%)」と「月に1～2回は利用したい(17.4%)」の合計割合は20.6%となっています。

また、利用したい時間帯は、登園時刻については、「8時(55.7%)」、帰園時刻については、「18時(34.2%)」の割合が比較的高くなっています。

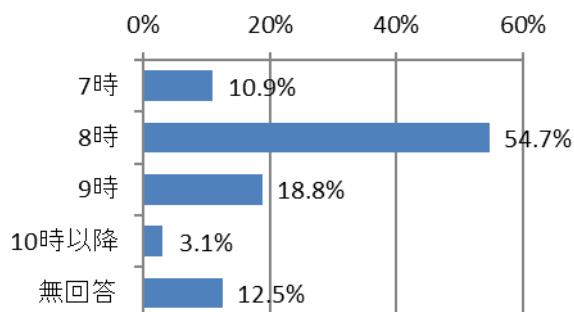
項目	度数	構成比
利用する必要はない	245	79.0%
ほぼ毎週利用したい	10	3.2%
月に1～2回は利用したい	54	17.4%
無回答	1	0.3%
回答者数	310	100.0%



■ 利用時間帯

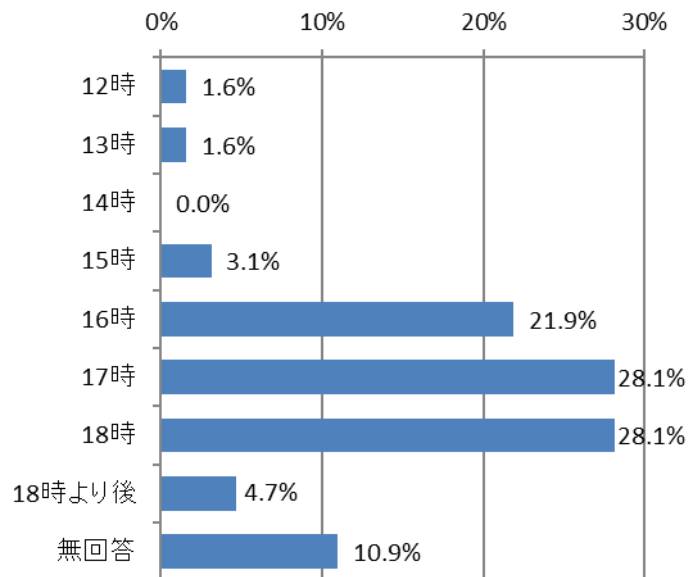
(登園時刻)

項目	度数	構成比
7時	7	10.9%
8時	35	54.7%
9時	12	18.8%
10時以降	2	3.1%
無回答	8	12.5%
回答者数	64	100.0%
非該当	246	-



(帰園時刻)

項目	度数	構成比
12時	1	1.6%
13時	1	1.6%
14時	0	0.0%
15時	2	3.1%
16時	14	21.9%
17時	18	28.1%
18時	18	28.1%
18時より後	3	4.7%
無回答	7	10.9%
回答者数	64	100.0%
非該当	246	-

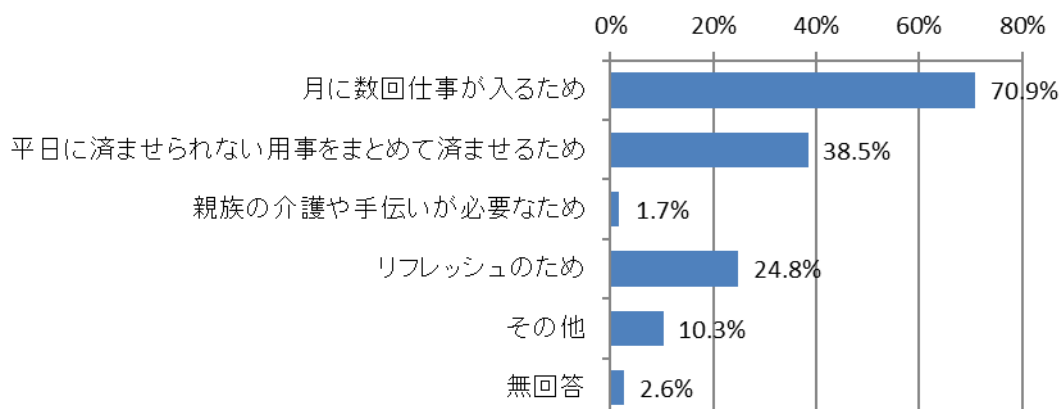


問 21-1 《問 21 の (1) もしくは (2) で、「3.月に 1～2 回は利用したい」に○をつけた方にうかがいます。》

毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。

土曜日や日曜・祝日の教育・保育の事業を毎週ではなく、たまに利用したい理由は、「月に数回仕事が入るため」の割合が 70.9%と最も高く、「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」が 38.5%と続いています。

項目	度数	構成比
月に数回仕事が入るため	83	70.9%
平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため	45	38.5%
親族の介護や手伝いが必要なため	2	1.7%
リフレッシュのため	29	24.8%
その他	12	10.3%
無回答	3	2.6%
回答者数	117	-
非該当	193	-



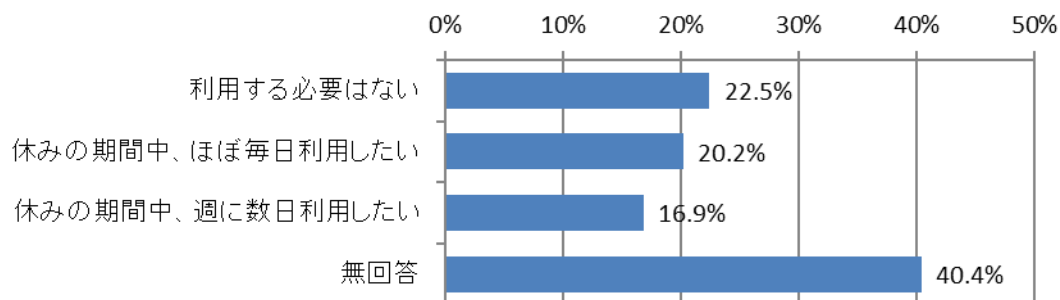
問 22 《「幼稚園」を利用されている方（問 15-1 で「1.幼稚園（通常の就園時間の利用）」に○をつけた方）にうかがいます》

宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を、24時間制でご記入ください。

幼稚園利用者の夏休み・冬休みなどの長期の休暇中の定期的な教育・保育の事業の利用希望は、「利用する必要はない」の割合が22.5%に対し、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい（20.2%）」と「休みの期間中、週に数日利用したい（16.9%）」の合計割合は37.1%となっています。

また、利用したい時間帯は、登園時刻については、「8時（45.5%）」、帰園時刻については、「16時（33.3%）」の割合が最も高くなっています。

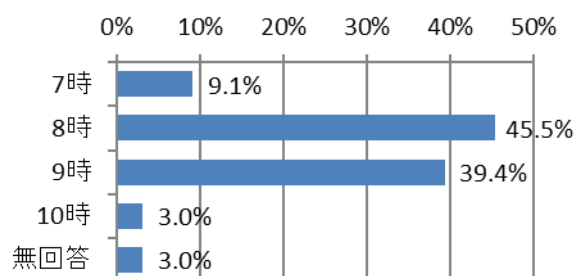
項目	度数	構成比
利用する必要はない	20	22.5%
休みの期間中、ほぼ毎日利用したい	18	20.2%
休みの期間中、週に数日利用したい	15	16.9%
無回答	36	40.4%
回答者数	89	100.0%
非該当	221	—



■ 利用時間帯

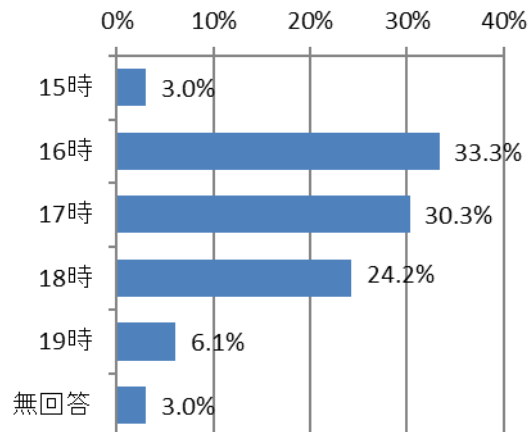
（登園時刻）

項目	度数	構成比
7時	3	9.1%
8時	15	45.5%
9時	13	39.4%
10時	1	3.0%
無回答	1	3.0%
回答者数	33	90.9%
非該当	277	—



(帰園時刻)

項目	度数	構成比
15時	1	3.0%
16時	11	33.3%
17時	10	30.3%
18時	8	24.2%
19時	2	6.1%
無回答	1	3.0%
回答者数	33	100.0%
非該当	277	-

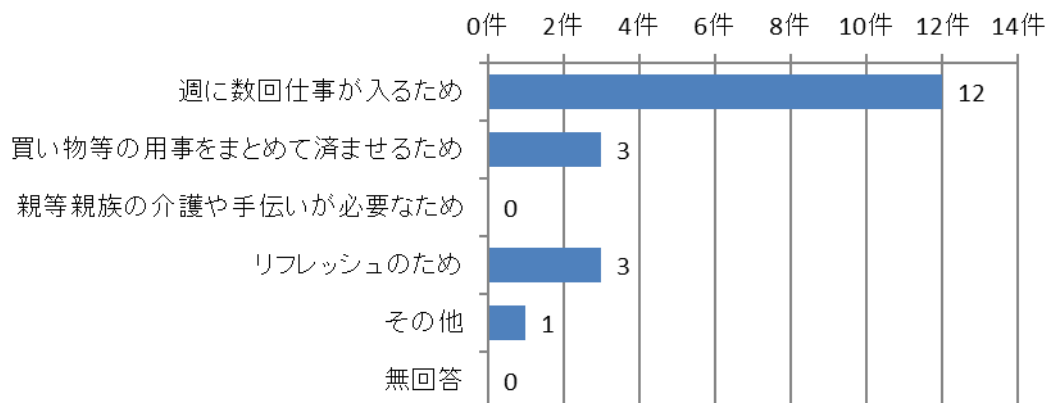


問 22-1 《問 22 で、「3.週に数日利用したい」に○をつけた方にうかがいます》

毎日ではなく、たまに利用したい理由何ですか。

幼稚園利用者の夏休み・冬休みなどの長期の休暇中の定期的な教育・保育の事業を毎週ではなく、たまに利用したい理由は、「週に数回仕事が入るため (12 件)」、「リフレッシュのため (3 件)」が多くなっています。

項目	度数	構成比
週に数回仕事が入るため	12	80.0%
買い物等の用事をまとめて済ませるため	3	20.0%
親等親族の介護や手伝いが必要なため	0	0.0%
リフレッシュのため	3	20.0%
その他	1	6.7%
無回答	0	0.0%
回答者数	15	-
非該当	295	-



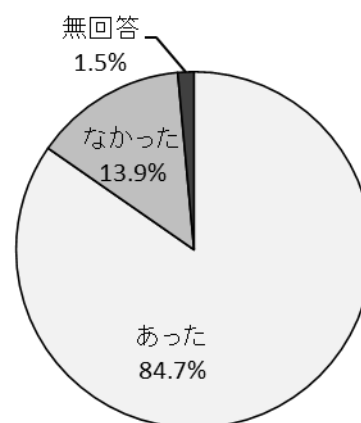
8 病気の際の対応について（平日の教育・保育を利用する方のみ）

問 23 《平日の定期的な教育・保育の事業を利用していると答えた保護者の方（問 15 で「1.利用している」に○をつけた方）にうかがいます。利用していらっしゃらない方は、問 24 にお進みください。》

この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで普段利用している教育・保育事業が利用できなかったことはありますか。

平日の定期的な教育・保育の事業の利用者のうち、子どもの病気やケガで通常の事業が利用できなかった経験は、「なかった」の割合が 13.9%に対し、「あった」の割合は 84.7%であり、「なかった」の割合を大きく上回っています。

項目	度数	構成比
あった	232	84.7%
なかった	38	13.9%
無回答	4	1.5%
回答者数	274	100.0%
非該当	36	—

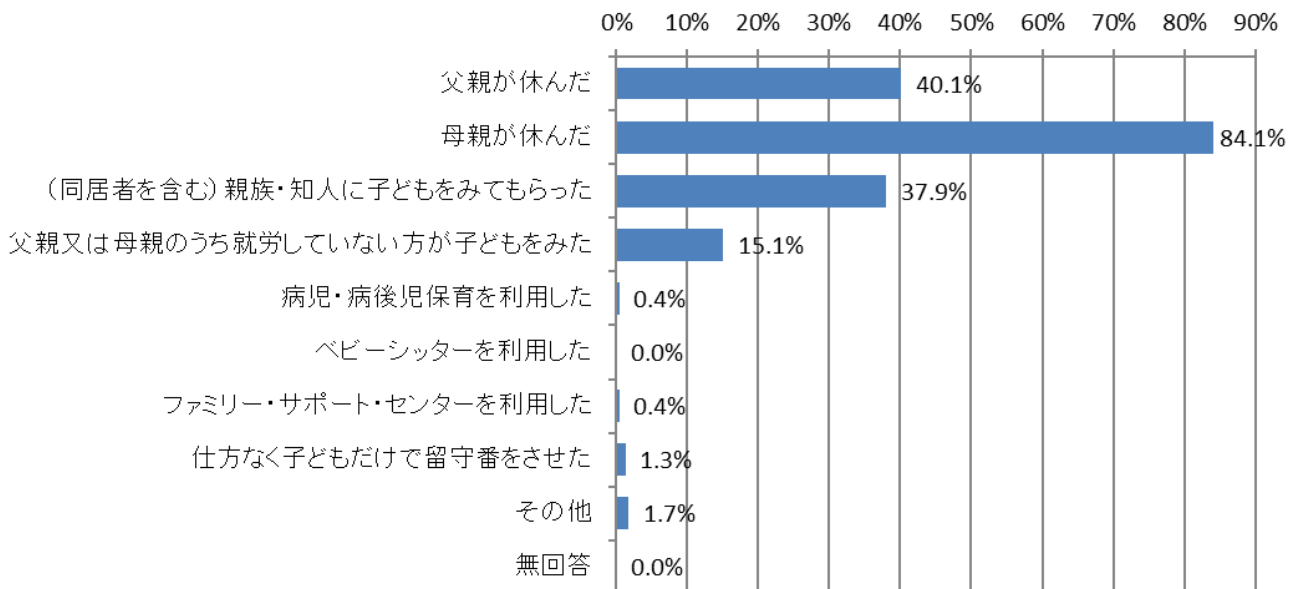


問 23-1 《問 23 で、「1.あった」に○をつけた方にうかがいます》

宛名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法をお答えください。また、それぞれの日数もご記入ください（半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください）。

子どもの病気やケガで通常の事業が利用できなかった場合の、この1年間に行った対処方法は、「母親が休んだ」の割合が84.1%と最も高く、次いで「父親が休んだ」が40.1%、「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」が37.9%となっています。

項目	度数	構成比
父親が休んだ	93	40.1%
母親が休んだ	195	84.1%
(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった	88	37.9%
父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	35	15.1%
病児・病後児保育を利用した	1	0.4%
ベビーシッターを利用した	0	0.0%
ファミリー・サポート・センターを利用した	1	0.4%
仕方なく子どもだけで留守番をさせた	3	1.3%
その他	4	1.7%
無回答	0	0.0%
回答者数	232	—
非該当	78	—



■ 年間対処日数

(父親)

日数	度数	構成比
1日～3日	32	16.4%
4日～7日	57	29.2%
8日～10日	40	20.5%
11日～20日	38	19.5%
21日以上	18	9.2%
無回答	10	5.1%
回答者数	195	100.0%
非該当	115	－

(母親)

日数	度数	構成比
1日～3日	47	50.5%
4日～7日	27	29.0%
8日～10日	15	16.1%
11日～20日	2	2.2%
21日以上	0	0.0%
無回答	2	2.2%
回答者数	93	100.0%
非該当	217	－

(親族・知人)

日数	度数	構成比
1日～3日	22	25.0%
4日～7日	25	28.4%
8日～10日	22	25.0%
11日～20日	4	4.5%
21日以上	5	5.7%
無回答	10	11.4%
回答者数	88	100.0%
非該当	222	－

(就労していない保護者)

日数	度数	構成比
1日～3日	4	11.4%
4日～7日	13	37.1%
8日～10日	8	22.9%
11日～20日	6	17.1%
21日以上	2	5.7%
無回答	2	5.7%
回答者数	35	100.0%
非該当	275	－

(病児・病後児保育)

日数	度数	構成比
1日～3日	1	33.3%
4日～7日	1	33.3%
11日～20日	1	33.3%
無回答	0	0.0%
回答者数	3	100.0%
非該当	307	－

(ファミリー・サポート・センター)

日数	度数	構成比
1日～3日	1	100.0%
無回答	0	0.0%
回答者数	1	0.0%
非該当	309	－

(子どもだけで留守番)

日数	度数	構成比
1日～3日	2	66.7%
4日～7日	1	33.3%
無回答	0	0.0%
回答者数	3	100.0%
非該当	307	－

(その他)

日数	度数	構成比
1日～3日	1	25.0%
4日～7日	1	25.0%
21日～30日	1	25.0%
無回答	1	25.0%
回答者数	4	100.0%
非該当	306	－

※ ベビーシッターの回答はなし

問 22-2 《問 23-1 で「ア」「イ」のいずれかに回答した方にうかがいます。》

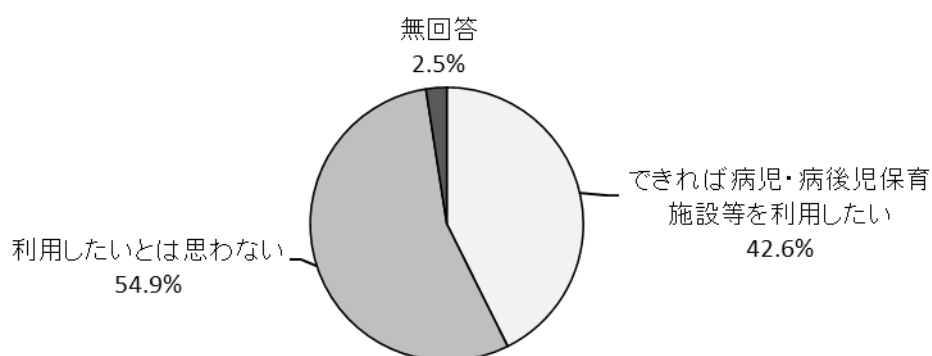
その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。また、利用したいと思われる場合、日数についてもご記入ください。

なお、病児・病後児のための事業等の利用には、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

子どもの病気やケガで通常の事業が利用できなかった場合の、病児・病後児保育施設の利用希望は、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」の割合が 42.6%に対し、「利用したいとは思わない」が 54.9%となっています。

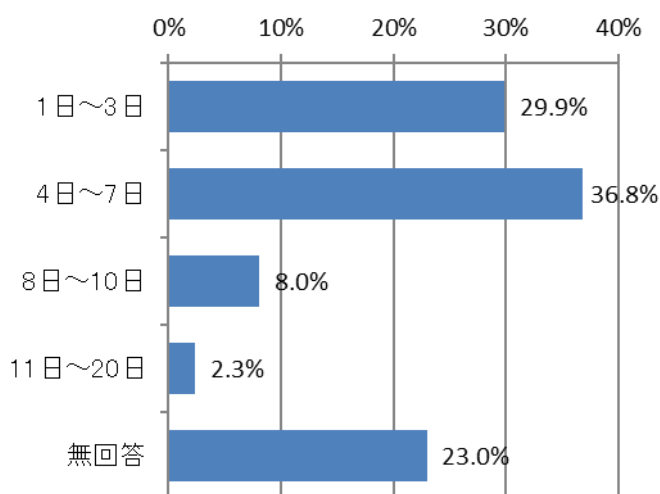
また、利用希望日数は、年間で「4 日～7 日（36.8%）」の割合が高くなっています。

項目	度数	構成比
できれば病児・病後児保育施設等を利用したい	87	42.6%
利用したいとは思わない	112	54.9%
無回答	5	2.5%
回答者数	204	100.0%
非該当	106	—



■ 利用希望日数

日数	度数	構成比
1日～3日	26	29.9%
4日～7日	32	36.8%
8日～10日	7	8.0%
11日～20日	2	2.3%
無回答	20	23.0%
回答者数	87	100.0%
非該当	223	—

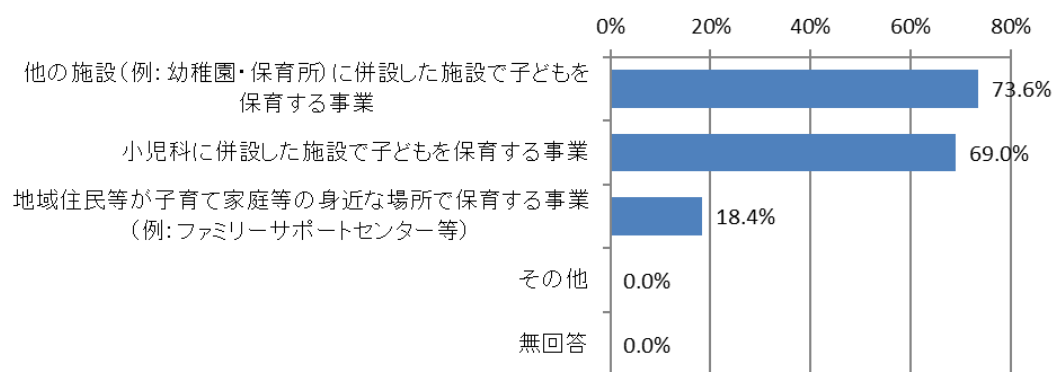


問 23-3 《問 23-2 で「1.できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。》

上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。

病児・病後児保育施設の望ましい事業形態は、「他の施設（例：幼稚園・保育所等）に併設した施設で子どもを保育する事業」の割合が 73.6%と最も高く、「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が 69.0%と続いています。

項目	度数	構成比
他の施設（例：幼稚園・保育所）に併設した施設で子どもを保育する事業	64	73.6%
小児科に併設した施設で子どもを保育する事業	60	69.0%
地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業（例：ファミリーサポートセンター等）	16	18.4%
その他	0	0.0%
無回答	0	0.0%
回答者数	87	－
非該当	223	－

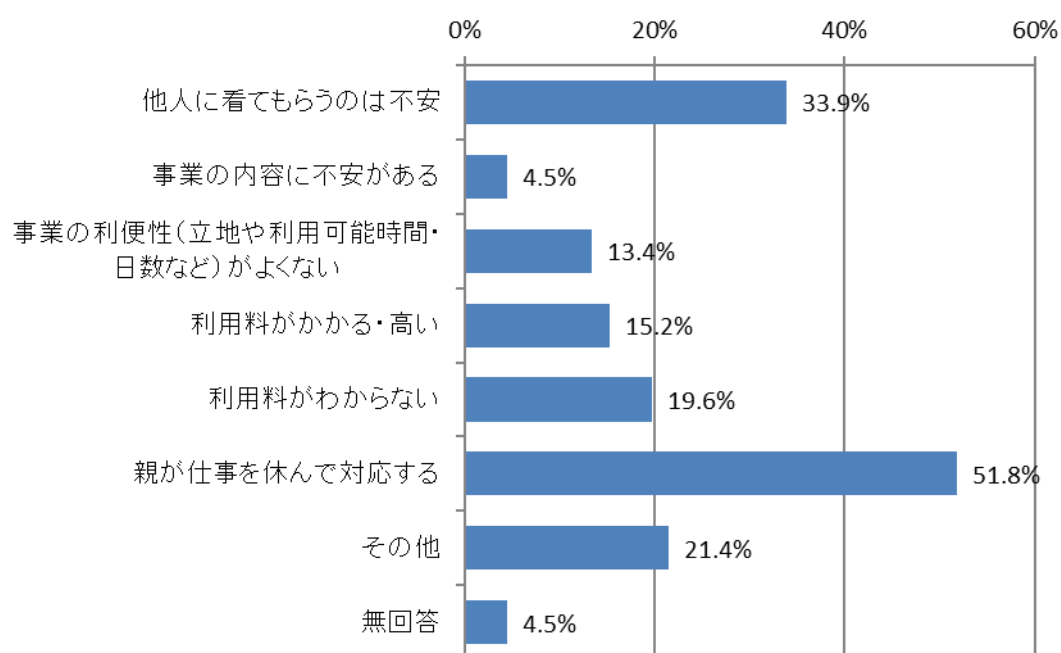


問 23-4 《問 23-2 で「2.利用したいと思わない」に○をつけた方にうかがいます。》

そう思われる理由についてお答えください。

子どもの病気やケガで通常の事業が利用できなかった場合に、病児・病後児保育施設を利用したいと思わない理由は、「親が仕事を休んで対応する(51.8%)」、「他人に看てもらうのは不安(33.9%)」の割合がいずれも高くなっています。

項目	度数	構成比
他人に看てもらうのは不安	38	33.9%
事業の内容に不安がある	5	4.5%
事業の利便性(立地や利用可能時間・日数など)がよくない	15	13.4%
利用料がかかる・高い	17	15.2%
利用料がわからない	22	19.6%
親が仕事を休んで対応する	58	51.8%
その他	24	21.4%
無回答	5	4.5%
回答者数	112	－
非該当	198	－



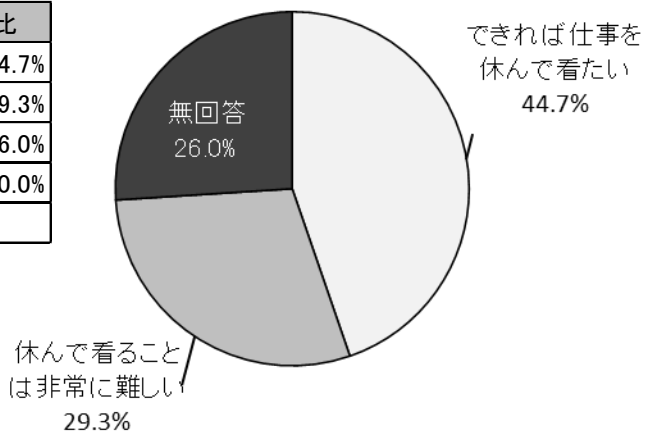
問 23-5 《問 23-1 で「ウ」 から「ケ」 のいずれかに回答した方にうかがいます。》

その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。休んで看たいと思われた場合、「ウ」 から「ケ」 の日数のうち仕事を休んで看たかった日数についてもお記入ください。

子どもの病気やケガで通常の事業が利用できなかったときの対処方法で、父親や母親が休んだ以外を回答した保護者のうち、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思ったかについては、「できれば仕事を休んで看たい」の割合が 44.7%に対し、「休んで看することは非常に難しい」が 29.3%と、「できれば仕事を休んで看たい」の割合が上回っています。

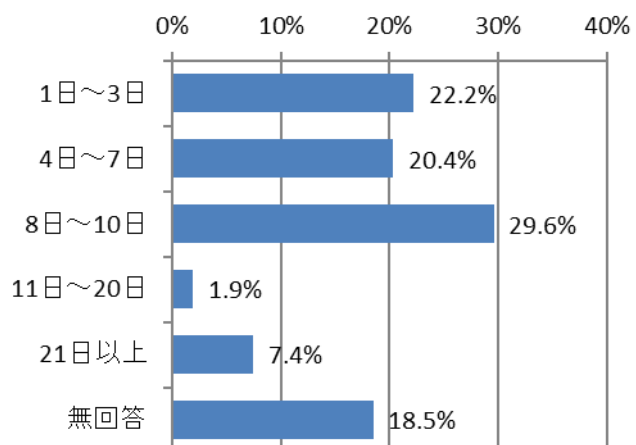
また、父親や母親が休んで子どもを看たい日数は、年間「8 日～10 日」の割合が 29.6%と最も高くなっています。

項目	度数	構成比
できれば仕事を休んで看たい	55	44.7%
休んで看することは非常に難しい	36	29.3%
無回答	32	26.0%
回答者数	123	100.0%
非該当	187	—



■ 休んで子どもを看たい日数

日数	度数	構成比
1日～3日	12	22.2%
4日～7日	11	20.4%
8日～10日	16	29.6%
11日～20日	1	1.9%
21日以上	4	7.4%
無回答	10	18.5%
回答者数	54	100.0%
非該当	256	—

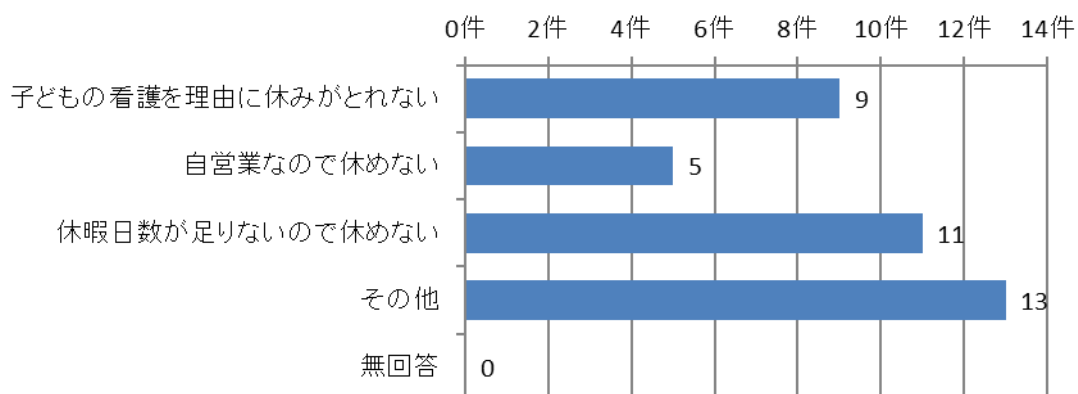


問 23-6 《問 23-5 で「2.休んで看することは非常に難しい」に○をつけた方にうかがいます。》

そう思われる理由についてお答えください。

子どもの病気やケガで通常の事業が利用できなかったとき、父親や母親が休んで看することは難しいと回答した理由は、「休暇日数が足りないので休めない」の割合が 28.9%、「子どもの看護を理由に休みがとれない」の割合が 23.7%と高くなっています。

項目	度数	構成比
子どもの看護を理由に休みがとれない	9	23.7%
自営業なので休めない	5	13.2%
休暇日数が足りないので休めない	11	28.9%
その他	13	34.2%
無回答	0	0.0%
回答者数	38	－
非該当	272	－

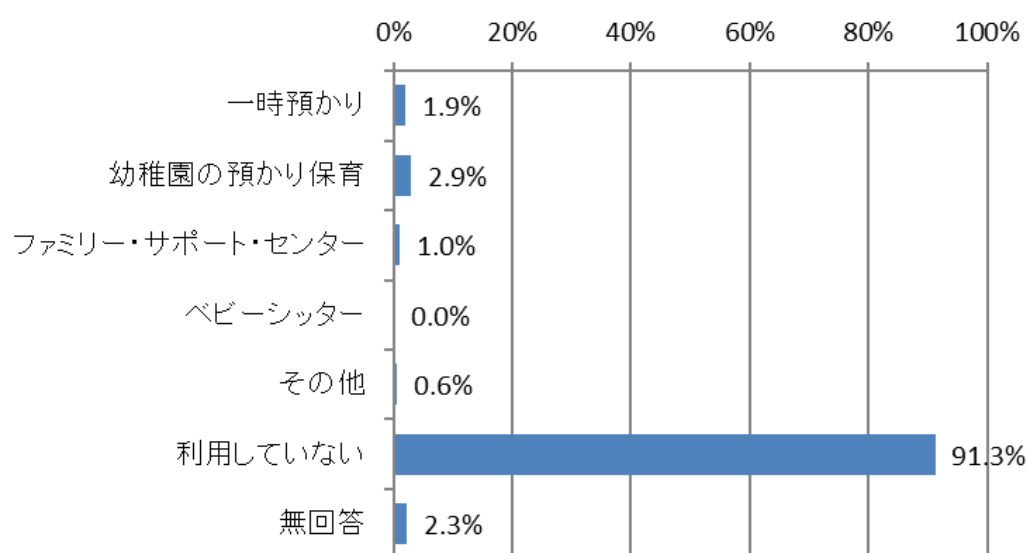


9 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

問 24 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。また、1年間の利用日数（おおよそ）もご記入ください。

日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業は、「幼稚園の預かり保育（2.9%）」「一時預かり（1.9%）」の割合がそれぞれ数パーセントとなっており、「利用していない」の割合が91.3%と高くなっています。

項目	度数	構成比
一時預かり（私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する事業）	6	1.9%
幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ）	9	2.9%
ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）	3	1.0%
ベビーシッター	0	0.0%
その他	2	0.6%
利用していない	283	91.3%
無回答	7	2.3%
回答者数	310	—



■ 年間利用日数

(一時預かり)

日数	度数	構成比
1日～3日	1	16.7%
4日～7日	2	33.3%
8日～10日	0	0.0%
11日～20日	1	16.7%
21日以上	2	33.3%
無回答	0	0.0%
回答者数	6	100.0%
非該当	304	－

(幼稚園の預かり保育)

日数	度数	構成比
1日～3日	1	11.1%
4日～7日	3	33.3%
8日～10日	0	0.0%
11日～20日	4	44.4%
31日以上	1	11.1%
無回答	0	0.0%
回答者数	9	100.0%
非該当	301	－

(ファミリー・サポート・センター)

日数	度数	構成比
1日～3日	2	66.7%
4日～7日	1	33.3%
無回答	0	0.0%
回答者数	3	0.0%
非該当	307	－

(その他)

日数	度数	構成比
4日～7日	1	50.0%
21日以上	1	50.0%
無回答	0	0.0%
回答者数	2	100.0%
非該当	308	－

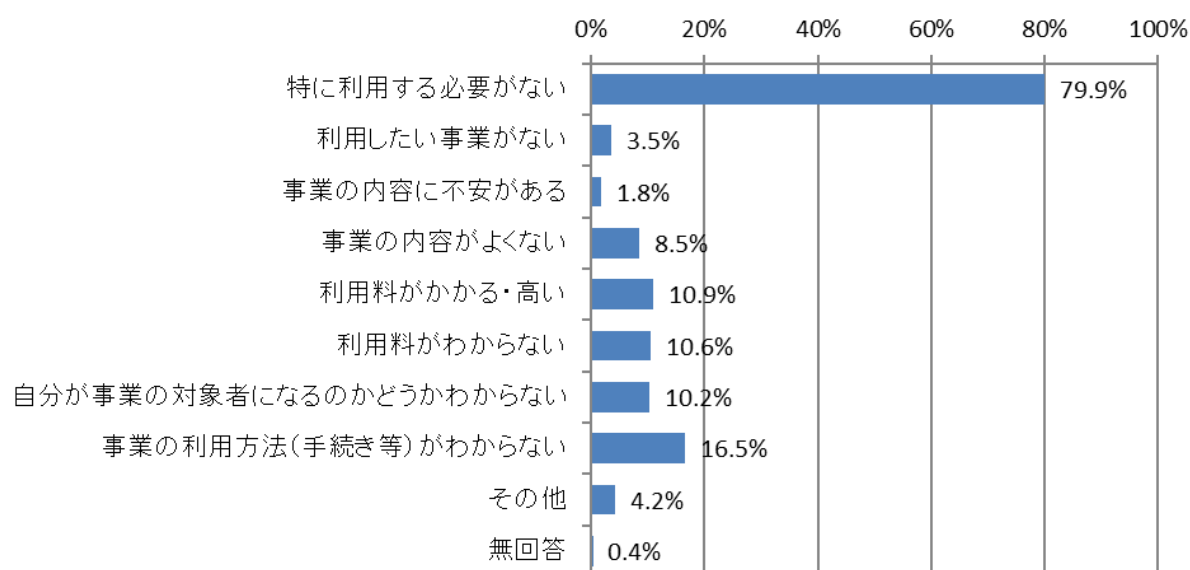
※ ベビーシッターの回答はなし

問 24-1 《問 24 で「7.利用していない」と回答した方にうかがいます。》

現在利用していない理由は何ですか。

私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期的に事業を利用していない理由は、「特に利用する必要がない」の割合が 79.9%と最も高くなっています。また、「事業の利用方法（手続き等）がわからない（16.5%）」などが理由で比較的高くなっています。

項目	度数	構成比
特に利用する必要がない	227	79.9%
利用したい事業がない	10	3.5%
事業の内容に不安がある	5	1.8%
事業の内容(立地や利用可能時間・日数など)がよくない	24	8.5%
利用料がかかる・高い	31	10.9%
利用料がわからない	30	10.6%
自分が事業の対象者になるのかわからない	29	10.2%
事業の利用方法(手続き等)がわからない	47	16.5%
その他	12	4.2%
無回答	1	0.4%
回答者数	284	－
非該当	26	－

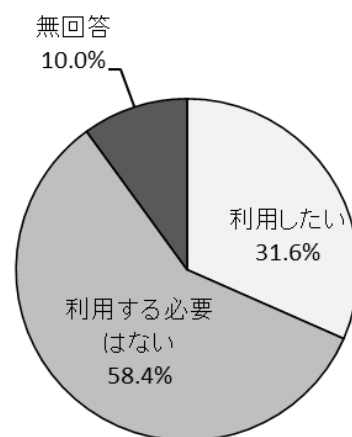


問 25 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用したいと思いますか。また、必要な日数をご記入ください（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数をご記入ください）。

私用、親の通院、不定期の就労等の目的での事業の利用希望は、「利用したい」の割合が 31.6%に対し、「利用する必要はない」が 58.4%となっています。

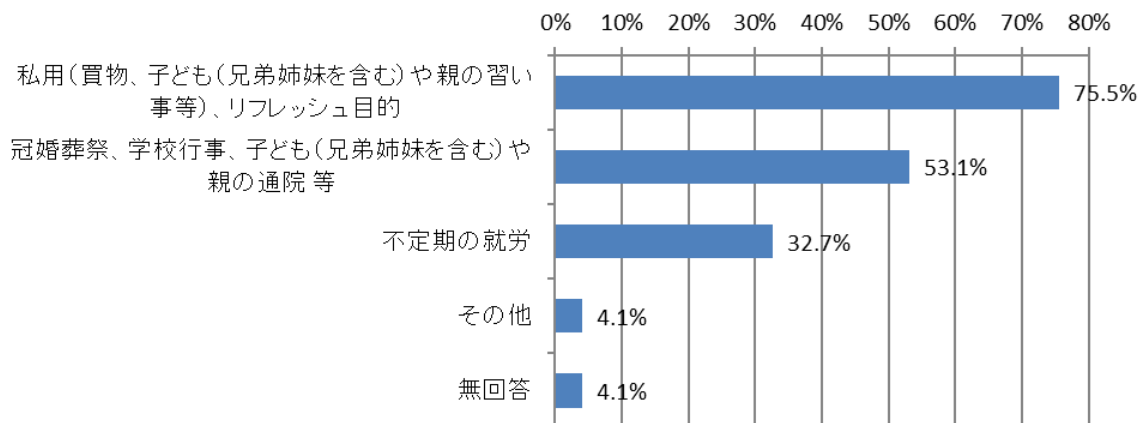
また、利用目的別では、「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的（75.5%）」、「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等（53.1%）」の割合が高く、年間利用日数の合計では、「11 日～20 日」の割合が 29.6%と最も高くなっています。

項目	度数	構成比
利用したい	98	31.6%
利用する必要はない	181	58.4%
無回答	31	10.0%
回答者数	310	100.0%



■ 利用目的

項目	度数	構成比
私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的	74	75.5%
冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院 等	52	53.1%
不定期の就労	32	32.7%
その他	4	4.1%
無回答	4	4.1%
回答者数	98	－
非該当	212	－



■ 年間利用日数

（年間合計）

日数	度数	構成比
1日～3日	2	2.0%
4日～7日	26	26.5%
8日～10日	22	22.4%
11日～20日	29	29.6%
21日～30日	12	12.2%
31日以上	7	7.1%
無回答	0	0.0%
回答者数	98	100.0%
非該当	212	－

（私用、リフレッシュ目的）

日数	度数	構成比
1日～3日	13	17.6%
4日～7日	21	28.4%
8日～10日	13	17.6%
11日～20日	18	24.3%
21日～30日	4	5.4%
31日以上	2	2.7%
無回答	3	4.1%
回答者数	74	100.0%
非該当	236	－

（冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等）

日数	度数	構成比
1日～3日	15	28.8%
4日～7日	21	40.4%
8日～10日	10	19.2%
11日～20日	4	7.7%
21日～30日	1	1.9%
31日以上	1	1.9%
無回答	0	0.0%
回答者数	52	100.0%
非該当	258	－

(不定期の就労)

日数	度数	構成比
1日～3日	3	9.4%
4日～7日	10	31.3%
8日～10日	7	21.9%
11日～20日	7	21.9%
21日～30日	1	3.1%
31日以上	2	6.3%
無回答	2	6.3%
回答者数	32	100.0%
非該当	278	－

(その他)

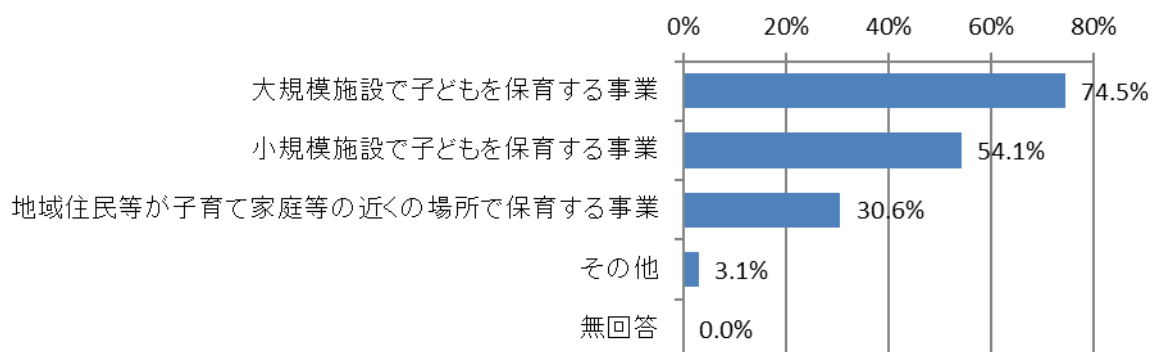
日数	度数	構成比
1日～3日	3	75.0%
4日～7日	1	25.0%
8日～10日	0	0.0%
11日～20日	0	0.0%
21日～30日	0	0.0%
31日以上	0	0.0%
無回答	0	0.0%
回答者数	4	100.0%
非該当	306	－

問 25-1 《問 25 で「1.利用したい」に○をつけた方にうかがいます。》

問 25 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。

私用、親の通院、不定期の就労等の目的で子どもを預ける場合の事業形態は、「大規模施設で子どもを保育する事業」の割合が 74.5%と最も高くなっています。

項目	度数	構成比
大規模施設で子どもを保育する事業	73	74.5%
小規模施設で子どもを保育する事業	53	54.1%
地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業	30	30.6%
その他	3	3.1%
無回答	0	0.0%
回答者数	98	－
非該当	212	－



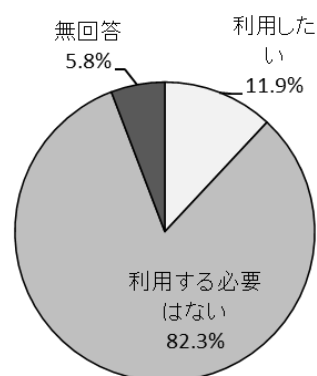
問 26 宛名のお子さんについて、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族(きょうだい含む)の育児疲れや育児不安、病気など)により、泊りがけで年間何日くらい家族以外に預ける必要があると思いますか。短期入所生活援助事業(ショートステイ)※の利用希望の有無について、当てはまる番号記号すべてに○をつけ、それぞれの日数もご記入ください。なお、事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

※ 短期入所生活援助事業(ショートステイ)：児童養護施設等で一定期間子どもを保護する事業
児童養護施設：保護者のいない児童や虐待されている児童などを自立まで擁護する施設

短期入所生活援助事業(ショートステイ)の利用希望について、「利用したい」の割合が11.9%に対し、「利用する必要はない」が82.3%となっています。

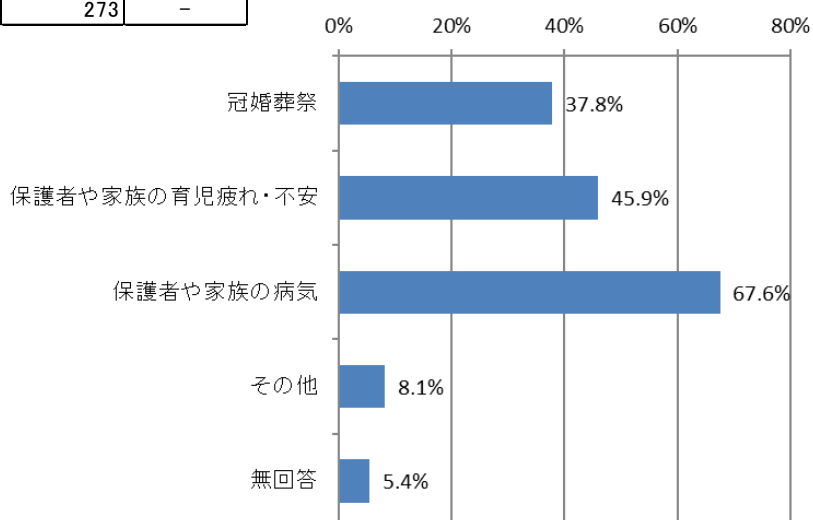
また、利用の目的別では、「保護者や家族の病気」が25件と最も高く、その年間利用希望日数は「4日～7日」が11件と最も高くなっています。

項目	度数	構成比
利用したい	37	11.9%
利用する必要はない	255	82.3%
無回答	18	5.8%
回答者数	310	100.0%



■ 利用目的

項目	度数	構成比
冠婚葬祭	14	37.8%
保護者や家族の育児疲れ・不安	17	45.9%
保護者や家族の病気	25	67.6%
その他	3	8.1%
無回答	2	5.4%
回答者数	37	-
非該当	273	-



■ 年間利用希望日数

(年間合計)

日数	度数	構成比
1日～3日	6	16.2%
4日～7日	12	32.4%
8日～10日	8	21.6%
11日～20日	3	8.1%
21日～30日	1	2.7%
31日以上	4	10.8%
無回答	3	8.1%
回答者数	37	100.0%
非該当	273	－

(冠婚葬祭)

日数	度数	構成比
1日～3日	8	47.1%
4日～7日	4	23.5%
8日～10日	1	5.9%
11日～20日	1	5.9%
21日～30日	0	0.0%
31日以上	0	0.0%
無回答	3	17.6%
回答者数	17	100.0%
非該当	273	－

(保護者や家族の病気)

日数	度数	構成比
1日～3日	6	24.0%
4日～7日	11	44.0%
8日～10日	4	16.0%
11日～20日	0	0.0%
21日～30日	2	8.0%
31日以上	1	4.0%
無回答	1	4.0%
回答者数	25	100.0%
非該当	285	－

(保護者や家族の育児疲れ・不安)

日数	度数	構成比
1日～3日	6	35.3%
4日～7日	3	17.6%
8日～10日	4	23.5%
11日～20日	1	5.9%
21日～30日	2	11.8%
31日以上	1	5.9%
無回答	0	0.0%
回答者数	17	100.0%
非該当	293	－

(その他)

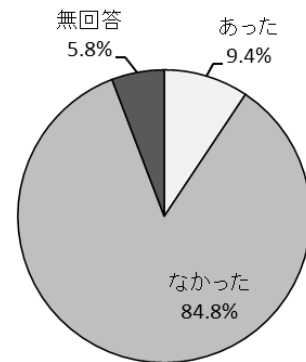
日数	度数	構成比
1日～3日	1	33.3%
4日～7日	1	33.3%
8日～10日	0	0.0%
11日～20日	0	0.0%
21日～30日	0	0.0%
31日以上	0	0.0%
無回答	1	33.3%
回答者数	3	100.0%
非該当	307	－

問 27 この１年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この１年間の対処方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数もご記入ください。

この１年間に、保護者の用事により子どもを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことがあった経験は、「あった」の割合が9.4%に対し、「なかった」が84.8%となっています。

また、そのときの対処方法は、「（同居者を含む）親族・知人にみてもらった」が25件と最も多く、その年間対処日数は「1日～3日」が18件と最も多くなっています。

項目	度数	構成比
あった	29	9.4%
なかった	263	84.8%
無回答	18	5.8%
回答者数	310	100.0%



■ 対処方法

項目	度数	構成比
（同居者を含む）親族・知人にみてもらった	25	86.2%
短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した（児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）	0	0.0%
ショートステイ以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用した	0	0.0%
仕方なく子どもを同行させた	6	20.7%
仕方なく子どもだけで留守番をさせた	0	0.0%
その他	1	3.4%
無回答	0	0.0%
回答者数	29	－
非該当	281	－

■ 年間対処日数

（親族・知人）

日数	度数	構成比
1日～3日	18	72.0%
4日～7日	5	20.0%
8日～10日	0	0.0%
11日～20日	2	8.0%
21日以上	0	0.0%
無回答	0	0.0%
回答者数	25	100.0%
非該当	285	－

（子どもを同行）

日数	度数	構成比
1日～3日	3	50.0%
4日～7日	1	16.7%
8日～10日	1	16.7%
無回答	1	16.7%
回答者数	6	100.0%
非該当	304	－

(その他)

日数	度数	構成比
無回答	1	100.0%
回答者数	1	100.0%
非該当	0	－

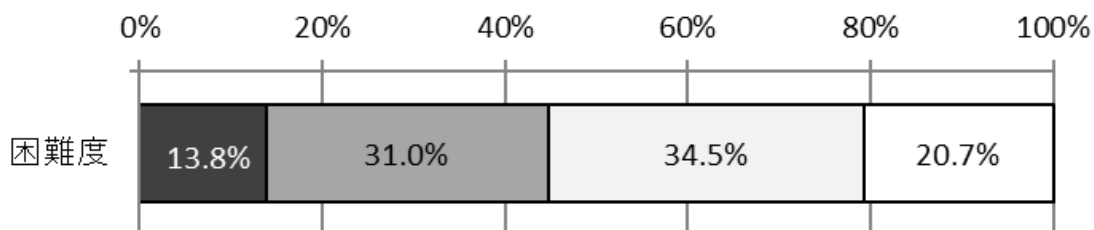
※ 短期入所生活援助事業、短期入所生活援助事業以外の保育事業、子どもだけで留守番の回答はなし

問 27-1 《問 25 で「1.あった ア.(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」と答えた方にうかがいます。》

その場合の困難度はどの程度でしたか。

子どもを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならなかった困難度は、「非常に困難(13.8%)」と「どちらかという困難 (31.0%)」の合計の割合が 44.8%に対し、「特に困難でない」が 34.5%と、困難と感じる割合が高くなっています。

項目	度数	構成比
非常に困難	4	13.8%
どちらかという困難	9	31.0%
特に困難ではない	10	34.5%
無回答	6	20.7%
回答者数	29	100.0%
非該当	281	－



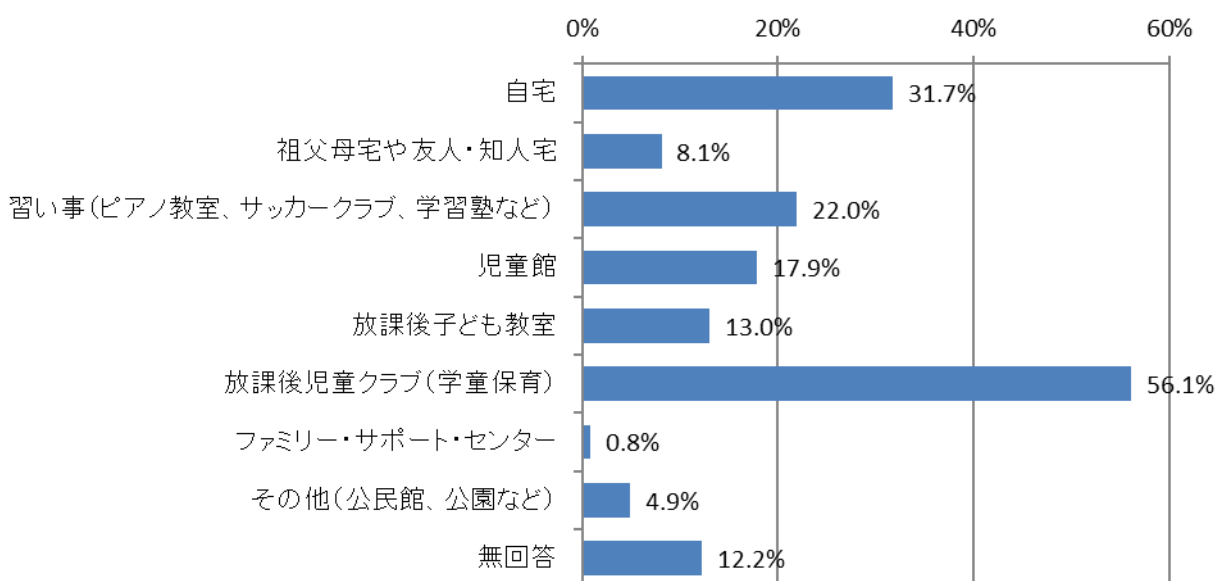
■ 非常に困難 ■ どちらかという困難 □ 特に困難ではない □ 無回答

10 小学校就学後の放課後の過ごし方について

問 28 宛名のお子さんについて、小学校低学年（１～３年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。また、それぞれ希望する週当たり日数をご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間をご記入ください。

小学校低学年のうちの希望する子どもの放課後の過ごし方は、「放課後児童クラブ（学童保育）」の割合が 56.1%と最も高く、ついで、「自宅」が 31.7%、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が 22.0%と、比較的高くなっています。

項目	度数	構成比
自宅	39	31.7%
祖父母宅や友人・知人宅	10	8.1%
習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	27	22.0%
児童館	22	17.9%
放課後子ども教室	16	13.0%
放課後児童クラブ(学童保育)	69	56.1%
ファミリー・サポート・センター	1	0.8%
その他(公民館、公園など)	6	4.9%
無回答	15	12.2%
回答者数	123	－
非該当	187	－



■ 1 週当たり利用希望日数等

(自宅)

日数	度数	構成比
1日	2	5.1%
2日	8	20.5%
3日	4	10.3%
4日	3	7.7%
5日	17	43.6%
6日	0	0.0%
7日	2	5.1%
無回答	3	7.7%
回答者数	39	100.0%
非該当	271	－

(祖父母宅や友人・知人宅)

日数	度数	構成比
1日	1	10.0%
2日	3	30.0%
3日	1	10.0%
4日	0	0.0%
5日	1	10.0%
6日	0	0.0%
7日	1	10.0%
無回答	3	30.0%
回答者数	10	100.0%
非該当	300	－

(習い事)

日数	度数	構成比
1日	14	51.9%
2日	10	37.0%
3日	2	7.4%
4日	0	0.0%
5日	0	0.0%
6日	0	0.0%
7日	0	0.0%
無回答	1	3.7%
回答者数	27	100.0%
非該当	283	－

(児童館)

日数	度数	構成比
1日	2	9.1%
2日	4	18.2%
3日	1	4.5%
4日	1	4.5%
5日	10	45.5%
6日	1	4.5%
7日	0	0.0%
無回答	3	13.6%
回答者数	22	100.0%
非該当	288	－

(放課後子ども教室)

日数	度数	構成比
1日	3	18.8%
2日	5	31.3%
3日	1	6.3%
4日	0	0.0%
5日	5	31.3%
6日	1	6.3%
7日	0	0.0%
無回答	1	6.3%
回答者数	16	100.0%
非該当	294	－

(放課後児童クラブ)

日数	度数	構成比
1日	1	1.4%
2日	1	1.4%
3日	4	5.8%
4日	4	5.8%
5日	51	73.9%
6日	4	5.8%
7日	0	0.0%
無回答	4	5.8%
回答者数	69	100.0%
非該当	241	－

(放課後児童クラブの利用希望時間 退所時間)

時間	度数	構成比
16時	7	10.1%
17時	15	21.7%
18時	38	55.1%
19時	7	10.1%
無回答	2	2.9%
回答者数	69	100.0%
非該当	241	－

(ファミリー・サポート・センター)

日数	度数	構成比
2日	1	100.0%
無回答	0	0.0%
回答者数	1	100.0%
非該当	309	－

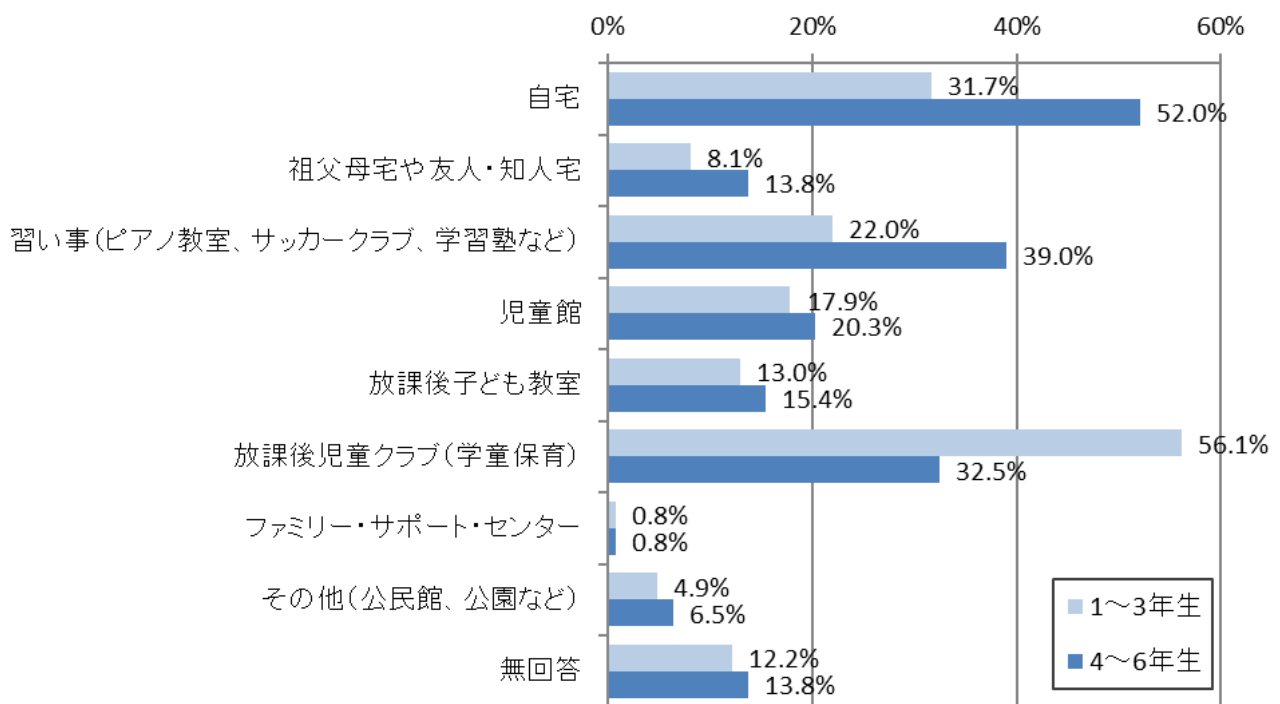
(その他(公民館・公園など))

日数	度数	構成比
1日	4	66.7%
2日	2	33.3%
無回答	0	0.0%
回答者数	6	100.0%
非該当	304	－

問 29 宛名のお子さんについて、小学校高学年(4～6年生)になったら、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。また、それぞれの週当たり日数をご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には利用を希望する時間をご記入ください。

小学校高学年(4～6年生)になったら希望する子どもの放課後の過ごし方は、「自宅」の割合が52.0%と最も高く、「習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」の割合が39.0%と続いています。また、「放課後児童クラブ」の割合は、1～3年生のときと比べ減少し、32.5%となっています。

項目	度数	構成比
自宅	64	52.0%
祖父母宅や友人・知人宅	17	13.8%
習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	48	39.0%
児童館	25	20.3%
放課後子ども教室	19	15.4%
放課後児童クラブ(学童保育)	40	32.5%
ファミリー・サポート・センター	1	0.8%
その他(公民館、公園など)	8	6.5%
無回答	17	13.8%
回答者数	123	－
非該当	187	－



■ 1 週当たり利用希望日数等

(自宅)

日数	度数	構成比
1日	6	9.4%
2日	6	9.4%
3日	4	6.3%
4日	5	7.8%
5日	34	53.1%
6日	1	1.6%
7日	1	1.6%
無回答	7	10.9%
回答者数	64	100.0%
非該当	246	-

(祖父母宅や友人・知人宅)

日数	度数	構成比
1日	8	47.1%
2日	2	11.8%
3日	0	0.0%
4日	0	0.0%
5日	3	17.6%
6日	0	0.0%
7日	1	5.9%
無回答	3	17.6%
回答者数	17	100.0%
非該当	293	-

(習い事)

日数	度数	構成比
1日	19	39.6%
2日	18	37.5%
3日	6	12.5%
4日	1	2.1%
5日	2	4.2%
6日	0	0.0%
7日	0	0.0%
無回答	2	4.2%
回答者数	48	100.0%
非該当	262	-

(児童館)

日数	度数	構成比
1日	3	12.0%
2日	5	20.0%
3日	4	16.0%
4日	2	8.0%
5日	8	32.0%
6日	0	0.0%
7日	0	0.0%
無回答	3	12.0%
回答者数	25	100.0%
非該当	285	-

(放課後子ども教室)

日数	度数	構成比
1日	5	26.3%
2日	5	26.3%
3日	0	0.0%
4日	0	0.0%
5日	6	31.6%
無回答	3	15.8%
回答者数	19	100.0%
非該当	291	－

(放課後児童クラブ)

日数	度数	構成比
1日	2	5.0%
2日	4	10.0%
3日	6	15.0%
4日	4	10.0%
5日	18	45.0%
6日	1	2.5%
7日	1	2.5%
無回答	4	10.0%
回答者数	40	100.0%
非該当	270	－

(放課後児童クラブの利用希望時間 退所時間)

時間	度数	構成比
16時	1	2.5%
17時	5	12.5%
18時	21	52.5%
19時	3	7.5%
無回答	10	25.0%
回答者数	40	100.0%
非該当	270	－

(ファミリー・サポート・センター)

日数	度数	構成比
2日	1	100.0%
無回答	0	0.0%
回答者数	1	100.0%
非該当	309	－

(その他 (公民館・公園など))

日数	度数	構成比
1日	3	37.5%
2日	2	25.0%
3日	2	25.0%
4日	0	0.0%
5日	1	12.5%
無回答	0	0.0%
回答者数	8	100.0%
非該当	302	－

問 28 《問 28 または問 29 で「6.放課後児童クラブ（学童保育）」に○をつけた方にうかがいます。》
宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか
（クラブの利用には、一定の利用料がかかります）。（1）（2）それぞれについてお答えください。
また、利用したい時間帯を口内に 2 4 時間制でご記入ください。

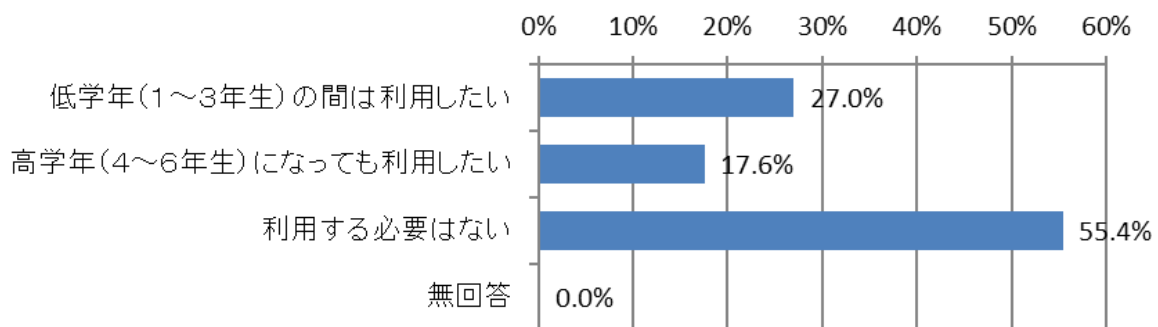
（1）土曜日

子どもの放課後の過ごし方で、放課後児童クラブを望んでいる保護者のうち、土曜日の利用希望は、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」の割合が 27.0%に対し、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が 17.6%となっています。

また、「利用する必要はない」の割合は 55.4%となっています。

さらに、希望する登所時刻については、「8 時（18 件）」が、帰所時刻については、「19 時（32 件）」の回答が多くなっています。

土曜日	度数	構成比
低学年（1～3年生）の間は利用したい	20	27.0%
高学年（4～6年生）になっても利用したい	13	17.6%
利用する必要はない	41	55.4%
無回答	0	0.0%
回答者数	74	100.0%
非該当	236	—



■ 利用時間帯

（登所時刻）

時間	度数	構成比
7時	7	21.2%
8時	18	54.5%
9時	6	18.2%
無回答	2	6.1%
回答者数	33	100.0%
非該当	277	—

（帰所時刻）

時間	度数	構成比
16時前	5	6.8%
16時	0	0.0%
17時	15	20.3%
18時	19	25.7%
19時	32	43.2%
無回答	3	4.1%
回答者数	74	100.0%
非該当	236	—

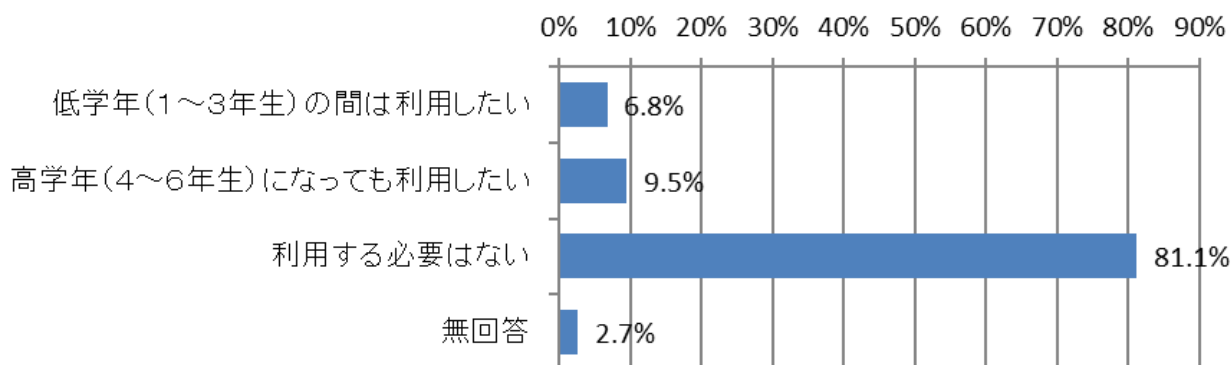
(2) 日曜・祝日

子どもの放課後の過ごし方で、放課後児童クラブを望んでいる保護者のうち、日曜・祝日の利用希望は、「低学年（１～３年生）の間は利用したい」の割合が 6.8%、「高学年（４～６年生）になっても利用したい」が 9.5%となっています。

また、「利用する必要はない」の割合は 81.1%となっています。

さらに、希望する登所時刻については、「８時（５件）」が、帰所時刻については、「１８時（４件）」の回答が多くなっています。

日曜・祝日	度数	構成比
低学年（１～３年生）の間は利用したい	5	6.8%
高学年（４～６年生）になっても利用したい	7	9.5%
利用する必要はない	60	81.1%
無回答	2	2.7%
回答者数	74	100.0%
非該当	236	－



■ 利用時間帯

（登所時刻）

時間	度数	構成比
7時	4	33.3%
8時	5	41.7%
9時	2	16.7%
無回答	1	8.3%
回答者数	12	100.0%
非該当	298	－

（帰所時刻）

時間	度数	構成比
16時前	1	8.3%
16時	1	8.3%
17時	2	16.7%
18時	4	33.3%
19時	2	16.7%
無回答	2	16.7%
回答者数	12	100.0%
非該当	298	－

問 31 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか（クラブの利用には、一定の利用料がかかります）。

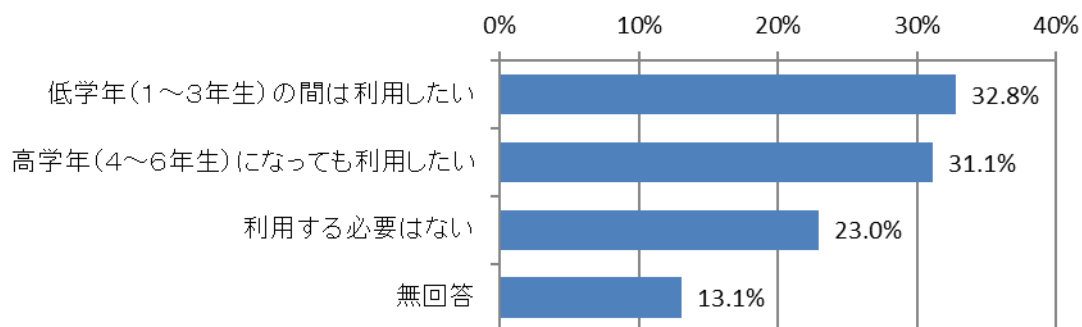
また利用したい時間帯を、□内に 24 時間制でご記入ください。

子どもの放課後の過ごし方で、放課後児童クラブを望んでいる保護者のうち、夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の利用希望は、「低学年（1～3 年生）の間は利用したい」の割合が 32.8%に対し、「高学年（4～6 年生）になっても利用したい」が 31.1%となっています。

また、「利用する必要はない」の割合は 23.0%となっています。

さらに、希望する登所時刻については、「8 時（50 件）」、帰所時刻については、「18 時（32 件）」の回答が多くなっています。

長期の休暇期間中	度数	構成比
低学年（1～3 年生）の間は利用したい	40	32.8%
高学年（4～6 年生）になっても利用したい	38	31.1%
利用する必要はない	28	23.0%
無回答	16	13.1%
回答者数	122	100.0%
非該当	188	－



■ 利用時間帯

（登所時刻）

時間	度数	構成比
6時	0	0.0%
7時	7	9.0%
8時	50	64.1%
9時	18	23.1%
無回答	3	3.8%
回答者数	78	100.0%
非該当	232	－

（帰所時刻）

時間	度数	構成比
15時前	5	6.5%
15時	0	0.0%
16時	15	19.5%
17時	19	24.7%
18時	32	41.6%
19時	3	3.9%
無回答	3	3.9%
回答者数	77	100.0%
非該当	233	－

11 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

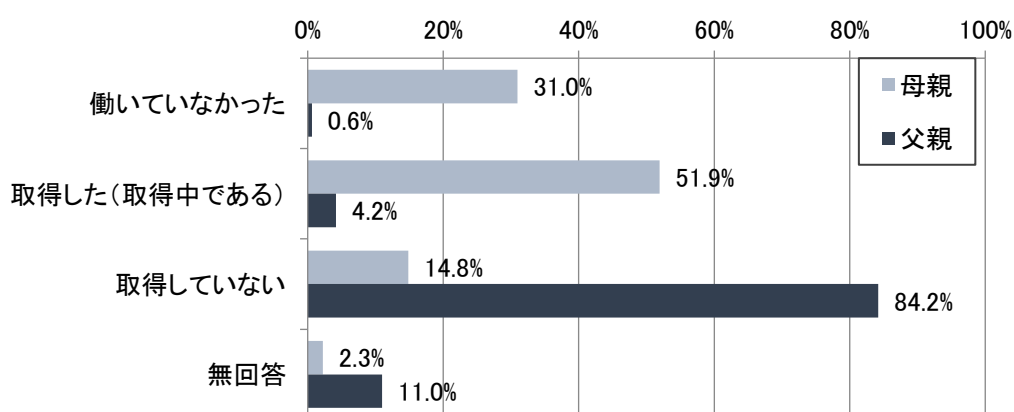
問 32 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについてお答えください。また、取得していない方は、①～⑮の中からその理由の番号をご記入ください。（ひとり親の場合、母親・父親いずれかにご記入ください。）

子どもが生まれたときの育児休業の取得状況は、「取得した（取得中である）」の割合は、母親が51.9%に対し、父親は4.2%と、父親の取得割合が低くなっています。

また、「働いていなかった」の割合は、母親が31.0%に対し、父親が0.6%となっています。

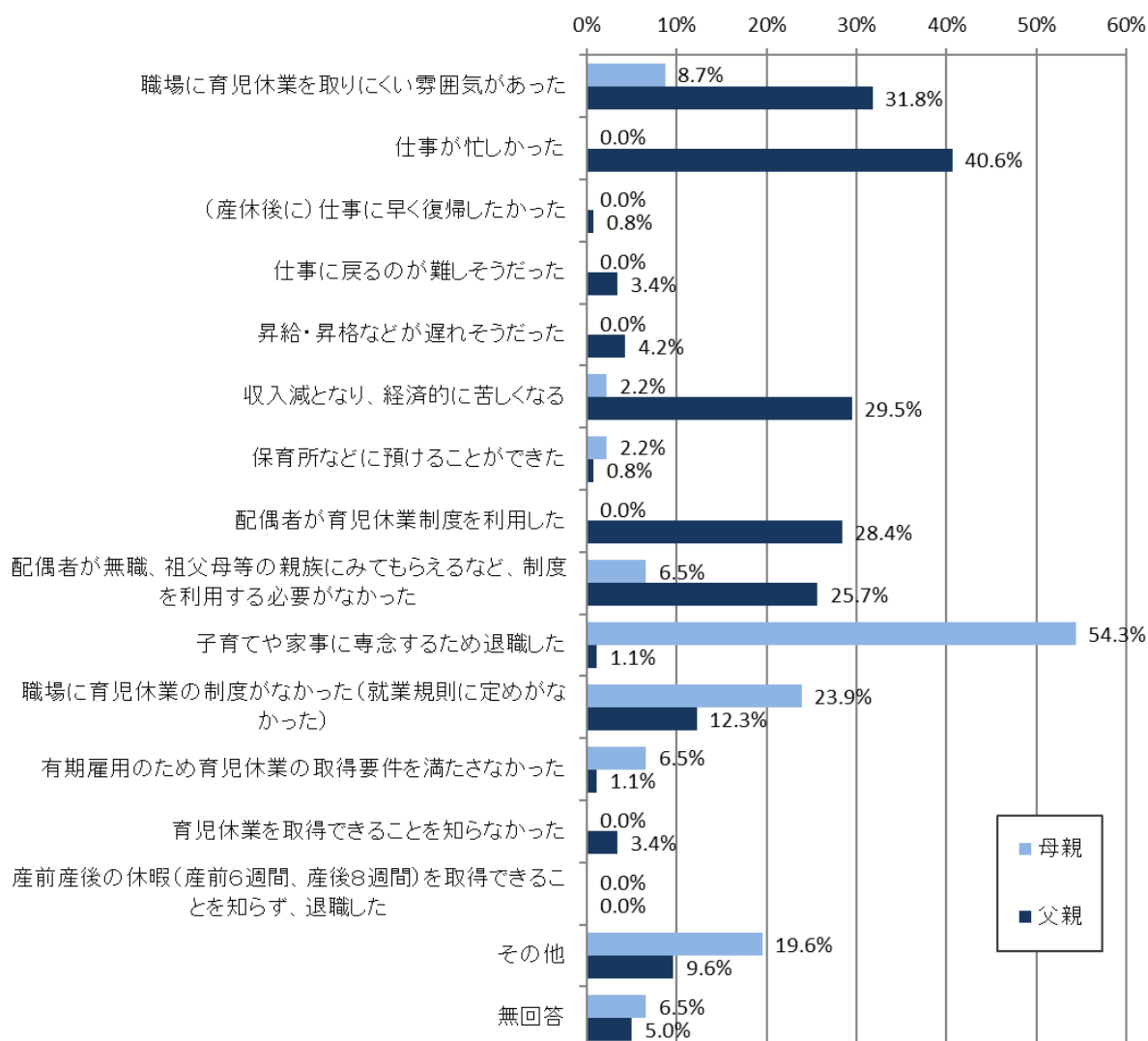
さらに、育児休業を取得していない理由は、母親は「子育てや家事に専念するため退職した」の割合が54.3%と高く、父親は「仕事が忙しかった（40.6%）」「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった（31.8%）」の割合がそれぞれ3割を超え比較的高くなっています。

項目	母親		父親	
	度数	構成比	度数	構成比
働いていなかった	96	31.0%	2	0.6%
取得した(取得中である)	161	51.9%	13	4.2%
取得していない	46	14.8%	261	84.2%
無回答	7	2.3%	34	11.0%
回答者数	310	100.0%	310	100.0%



■ 育児休業を取得していない理由

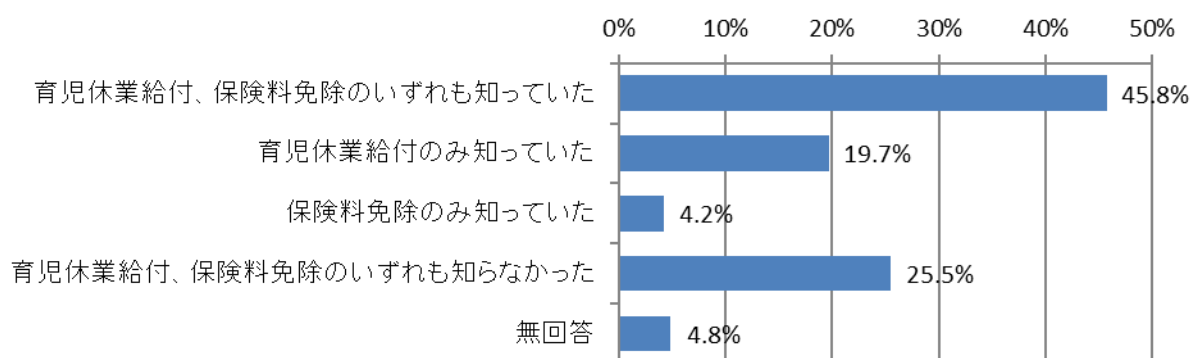
項目	母親		父親	
	度数	構成比	度数	構成比
職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった	4	8.7%	83	31.8%
仕事が忙しかった	0	0.0%	106	40.6%
(産休後に) 仕事に早く復帰したかった	0	0.0%	2	0.8%
仕事に戻るのが難しそうだった	0	0.0%	9	3.4%
昇給・昇格などが遅れそうだった	0	0.0%	11	4.2%
収入減となり、経済的に苦しくなる	1	2.2%	77	29.5%
保育所などに預けることができた	1	2.2%	2	0.8%
配偶者が育児休業制度を利用した	0	0.0%	74	28.4%
配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった	3	6.5%	67	25.7%
子育てや家事に専念するため退職した	25	54.3%	3	1.1%
職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)	11	23.9%	32	12.3%
有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった	3	6.5%	3	1.1%
育児休業を取得できることを知らなかった	0	0.0%	9	3.4%
産前産後の休暇(産前6週間、産後8週間)を取得できることを知らず、退職した	0	0.0%	0	0.0%
その他	9	19.6%	25	9.6%
無回答	3	6.5%	13	5.0%
回答者数	46	—	261	—
非該当	264	—	49	—



問 32-1 子どもが原則1歳（保育所における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は1歳6月）になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満3歳になるまでの育児休業等（法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置）期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。

育児休業給付が支給される仕組み、健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みの認知度については、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」の割合が45.8%と最も高く、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった（25.5%）」「育児休業給付のみ知っていた（19.7%）」が続いています。

項目	度数	構成比
育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた	142	45.8%
育児休業給付のみ知っていた	61	19.7%
保険料免除のみ知っていた	13	4.2%
育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった	79	25.5%
無回答	15	4.8%
回答者数	310	100.0%



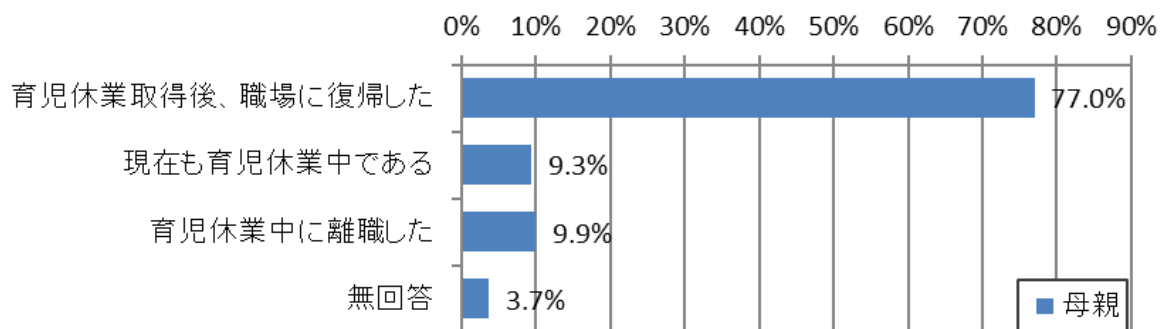
問 32-2 《問 32 で「2.取得した（取得中である）」と回答した方にうかがいます。》

育児休業取得後、職場に復帰しましたか。

育児休業取得後の職場への復帰状況は、母親・父親ともに、「育児休業取得後、職場に復帰した（母親：77.0%、父親：84.6%）」の割合が多くなっています。

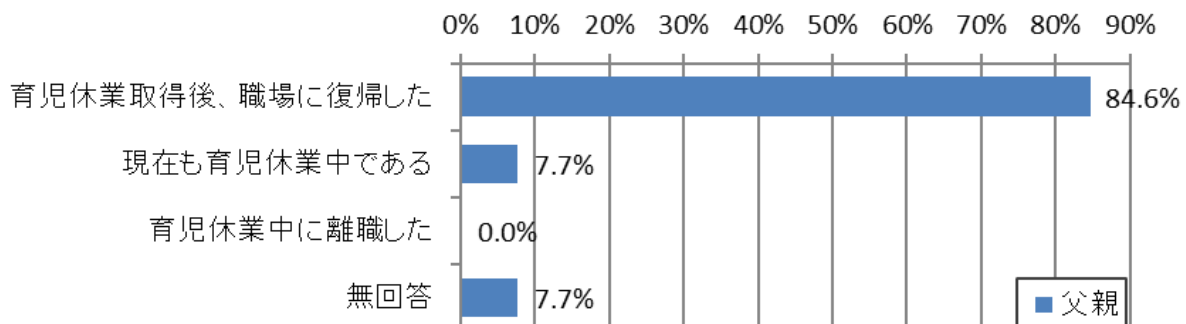
（1）母親

項目	度数	構成比
育児休業取得後、職場に復帰した	124	77.0%
現在も育児休業中である	15	9.3%
育児休業中に離職した	16	9.9%
無回答	6	3.7%
回答者数	161	100.0%
非該当	149	—



（2）父親

項目	度数	構成比
育児休業取得後、職場に復帰した	11	84.6%
現在も育児休業中である	1	7.7%
育児休業中に離職した	0	0.0%
無回答	1	7.7%
回答者数	13	100.0%
非該当	297	—



問 32-3 《問 32 で「1.育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。》

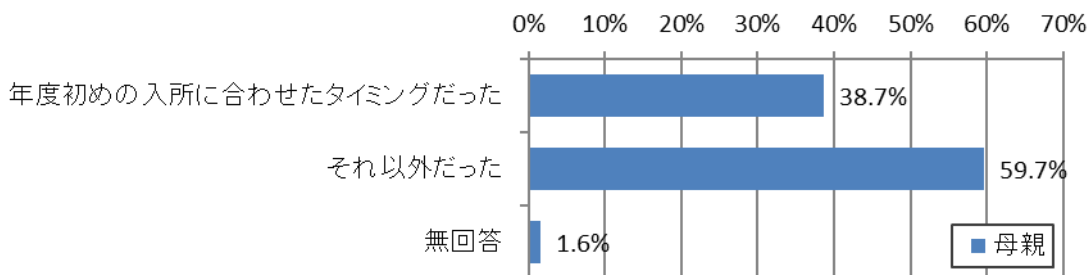
育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。どちらか1つに○をつけてください。

※ 年度初めでの認可保育所 入所を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合なども「1.」に当てはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も「1.」を選択してください。

育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングだったかについては、母親・父親ともに、「それ以外だった（母親：59.7%、父親：72.7%）」の割合が高くなっています。

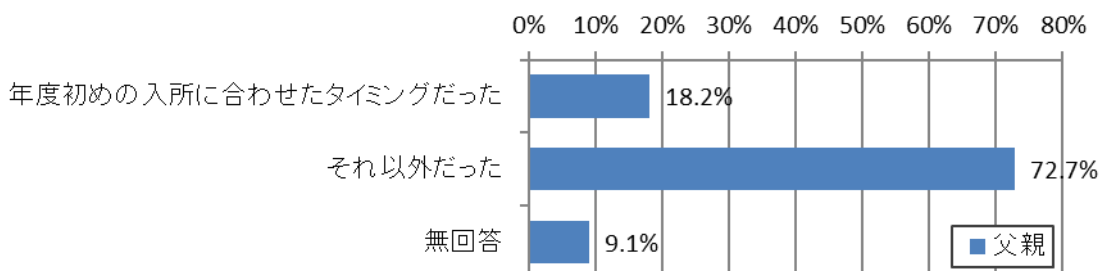
(1) 母親

項目	度数	構成比
年度初めの入所に合わせたタイミングだった	48	38.7%
それ以外だった	74	59.7%
無回答	2	1.6%
回答者数	124	100.0%
非該当	186	－



(2) 父親

項目	度数	構成比
年度初めの入所に合わせたタイミングだった	2	18.2%
それ以外だった	8	72.7%
無回答	1	9.1%
回答者数	11	100.0%
非該当	299	－



問 32-4 《問 32-2 で「1.育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。》

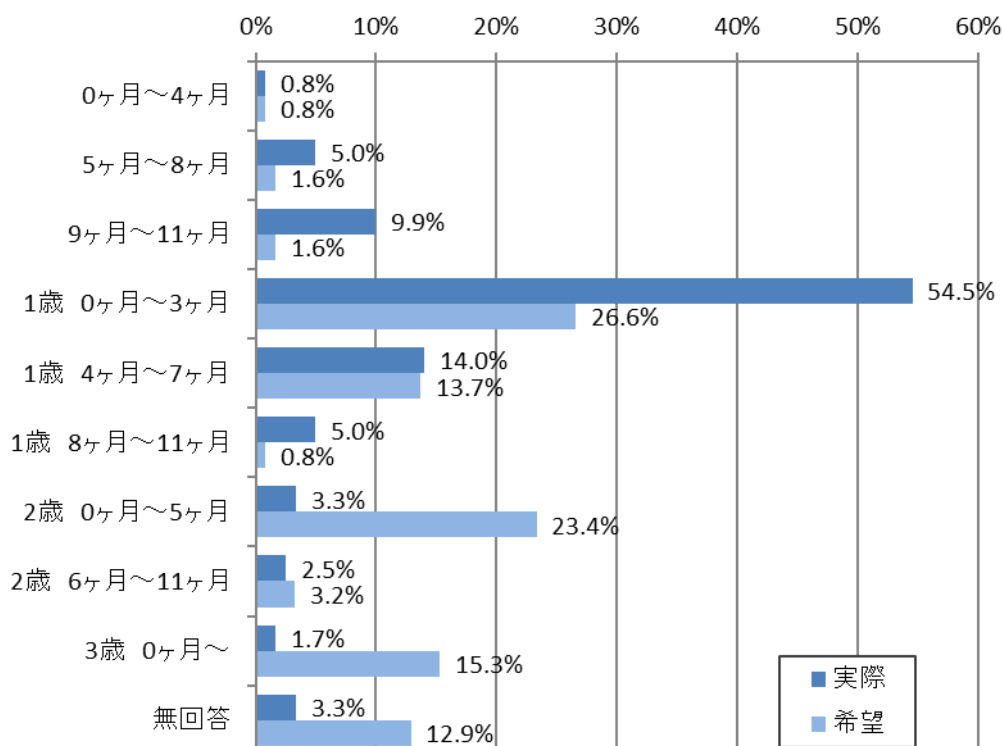
育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。

母親の育児休業からの職場復帰時期（子どもの年齢）は、「1歳0ヶ月～3ヶ月」の割合が「実際」で54.5%、「希望」で26.6%と、それぞれ最も高くなっています。

また、父親の育児休業からの職場復帰時期（子どもの年齢）は、「実際」が「0ヶ月～4ヶ月（7件）」、「希望」が「1歳0ヶ月～3ヶ月（4件）」が高くなっています。

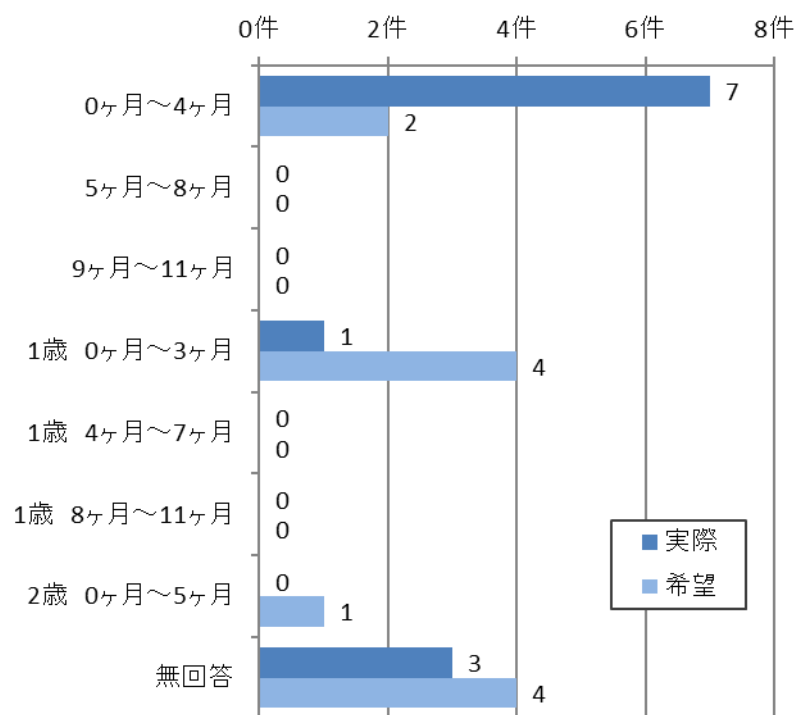
（1）母親

年齢	実際		希望	
	度数	構成比	度数	構成比
0ヶ月～4ヶ月	1	0.8%	1	0.8%
5ヶ月～8ヶ月	6	5.0%	2	1.6%
9ヶ月～11ヶ月	12	9.9%	2	1.6%
1歳 0ヶ月～3ヶ月	66	54.5%	33	26.6%
1歳 4ヶ月～7ヶ月	17	14.0%	17	13.7%
1歳 8ヶ月～11ヶ月	6	5.0%	1	0.8%
2歳 0ヶ月～5ヶ月	4	3.3%	29	23.4%
2歳 6ヶ月～11ヶ月	3	2.5%	4	3.2%
3歳 0ヶ月～	2	1.7%	19	15.3%
無回答	4	3.3%	16	12.9%
回答者数	121	100.0%	124	100.0%
非該当	189	－	186	－



(2) 父親

年齢	実際		希望	
	度数	構成比	度数	構成比
0ヶ月～4ヶ月	7	5.8%	2	1.6%
5ヶ月～8ヶ月	0	0.0%	0	0.0%
9ヶ月～11ヶ月	0	0.0%	0	0.0%
1歳 0ヶ月～3ヶ月	1	0.8%	4	3.2%
1歳 4ヶ月～7ヶ月	0	0.0%	0	0.0%
1歳 8ヶ月～11ヶ月	0	0.0%	0	0.0%
2歳 0ヶ月～5ヶ月	0	0.0%	1	0.8%
無回答	3	27.3%	4	36.4%
回答者数	11	33.9%	11	42.0%
非該当	299	—	299	—

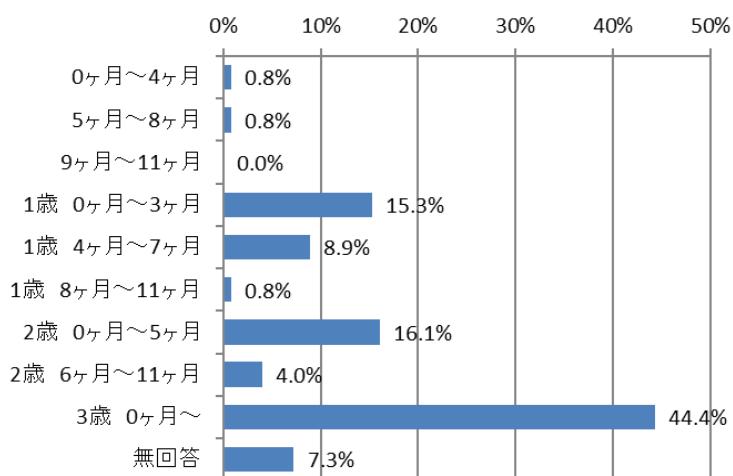


問 32-5 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としては
お子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。

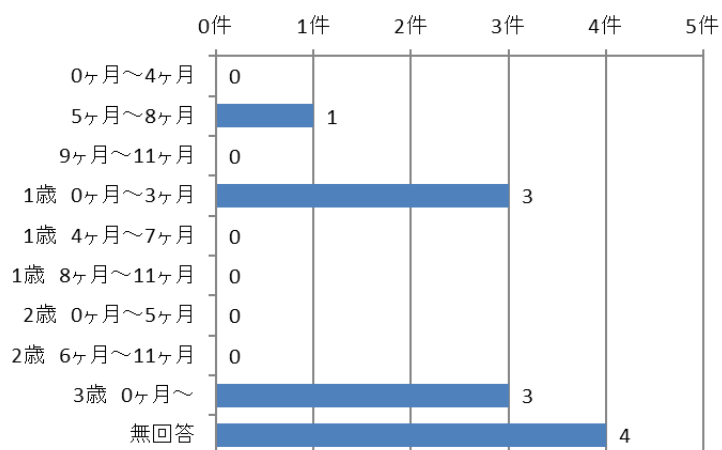
育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合の職場復帰の希望時期（子どもの年齢）
は、母親は「3歳0ヶ月～」の割合が44.4%と最も高くなっています。父親は、「1歳0ヶ月～3ヶ
月」「3歳0ヶ月～」の回答がそれぞれ3件となっています。

母親			父親	
年齢	度数	構成比	度数	構成比
0ヶ月～4ヶ月	1	0.8%	0	0.0%
5ヶ月～8ヶ月	1	0.8%	1	9.1%
9ヶ月～11ヶ月	0	0.0%	0	0.0%
1歳 0ヶ月～3ヶ月	19	15.3%	3	27.3%
1歳 4ヶ月～7ヶ月	11	8.9%	0	0.0%
1歳 8ヶ月～11ヶ月	1	0.8%	0	0.0%
2歳 0ヶ月～5ヶ月	20	16.1%	0	0.0%
2歳 6ヶ月～11ヶ月	5	4.0%	0	0.0%
3歳 0ヶ月～	55	44.4%	3	27.3%
無回答	9	7.3%	4	36.4%
回答者数	124	100.0%	11	100.0%
非該当	186	—	299	—

(1) 母親



(2) 父親



問 32-6 《問 32-4 で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。》

希望の時期に職場復帰しなかった理由は何ですか。

(1) 希望より早く復帰した方

希望より早く復帰した保護者のうち、希望の時期に職場復帰しなかった理由は、母親は、「経済的な理由で早く復帰する必要があった（34.8%）」の割合が最も高くなっています。

父親は、「経済的な理由で早く復帰する必要があった」と「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」がそれぞれ1件となっています。

項目	母親		父親	
	度数	構成比	度数	構成比
希望する保育所に入るため	12	17.4%	0	0.0%
配偶者や家族の希望があったため	2	2.9%	0	0.0%
経済的な理由で早く復帰する必要があった	24	34.8%	1	25.0%
人事異動や業務の節目の時期に合わせるため	12	17.4%	1	25.0%
その他	16	23.2%	2	50.0%
無回答	15	21.7%	1	25.0%
回答者数	69	－	4	－
非該当	241	－	306	－

(2) 希望より遅く復帰した方

希望より遅く復帰した保護者のうち、母親は、「希望する保育所に入れなかったため」が5件となっています。父親は回答なし。

項目	母親		父親	
	度数	構成比	度数	構成比
希望する保育所に入れなかったため	5	41.7%	0	－
自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため	1	8.3%	0	－
配偶者や家族の希望があったため	0	0.0%	0	－
職場の受け入れ態勢が整っていなかったため	0	0.0%	0	－
子どもをみってくれる人がいなかったため	1	8.3%	0	－
その他	1	8.3%	0	－
無回答	5	41.7%	0	－
回答者数	12	－	0	－
非該当	298	－	310	－

問 32-7 《問 32-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。》

育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。

育児休業からの職場復帰時の短時間勤務制度の利用状況は、「母親」では、「利用した」の割合が 19.7%に対し、「利用しなかったが、利用しなかった（利用できなかった）」が 48.6%と、利用しなかった（利用できなかった）の割合がやや上回っています。また、「利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）」の割合は 28.2%となっています。「父親」では、「利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）」で 2 件となっています。

項目	母親		父親	
	度数	構成比	度数	構成比
利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）	37	29.8%	5	45.5%
利用した	48	38.7%	1	9.1%
利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）	35	28.2%	3	27.3%
無回答	4	3.2%	2	18.2%
回答者数	124	100.0%	11	100.0%
非該当	186	－	299	－

問 32-8 《問 32-7 で「3.利用しなかったが、利用しなかった（利用できなかった）」と回答した方にうかがいます。》

短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由は何ですか。

短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由は、母親は「短時間勤務にすると給与が減額される」の割合が 54.3%と最も高く、次いで「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」の割合が 48.6%、「仕事が忙しかった」の割合が 40.0%となっています。

父親は「仕事が忙しかった（3 件）」、「短時間勤務にすると給与が減額される（2 件）」、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった（2 件）」、「職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）（2 件）」となっています。

項目	母親		父親	
	度数	構成比	度数	構成比
職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった	17	48.6%	0	0.0%
仕事が忙しかった	14	40.0%	3	100.0%
短時間勤務にすると給与が減額される	19	54.3%	2	66.7%
配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した	0	0.0%	0	0.0%
配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった	2	5.7%	2	66.7%
子育てや家事に専念するため退職した	0	0.0%	0	0.0%
職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）	6	17.1%	2	66.7%
短時間勤務制度を利用できることを知らなかった	1	2.9%	0	0.0%
その他	1	2.9%	0	0.0%
無回答	1	2.9%	0	0.0%
回答者数	35	－	3	－
非該当	275	－	307	－

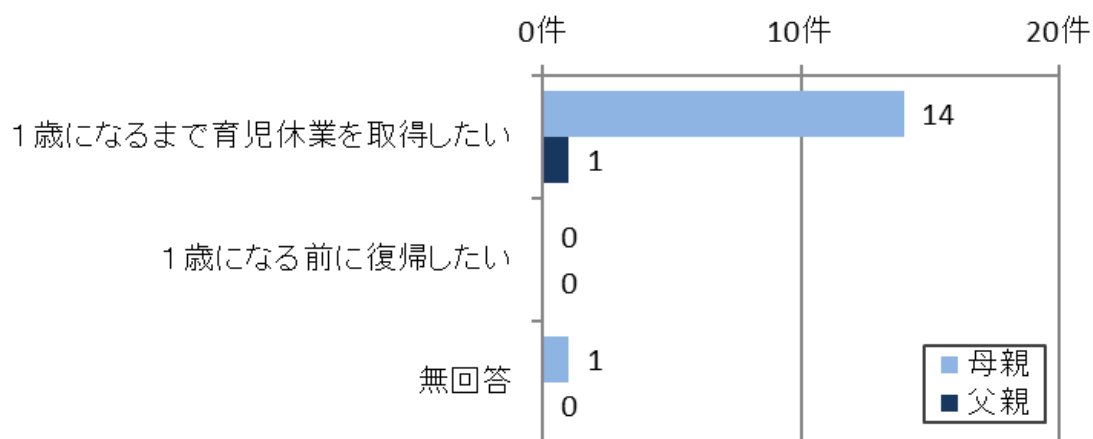
問 32-9 《問 32-2 で「2.現在も育児休業中である」と回答した方にうかがいます。》

宛名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。

子どもが1歳になったとき必ず利用できる事業があるなどの場合の育児休業の取得希望は、母親は「1歳になるまで育児休業を取得したい」の回答が14件と多くなっています。

父親は「1歳になるまで育児休業を取得したい」の回答が1件となっています。

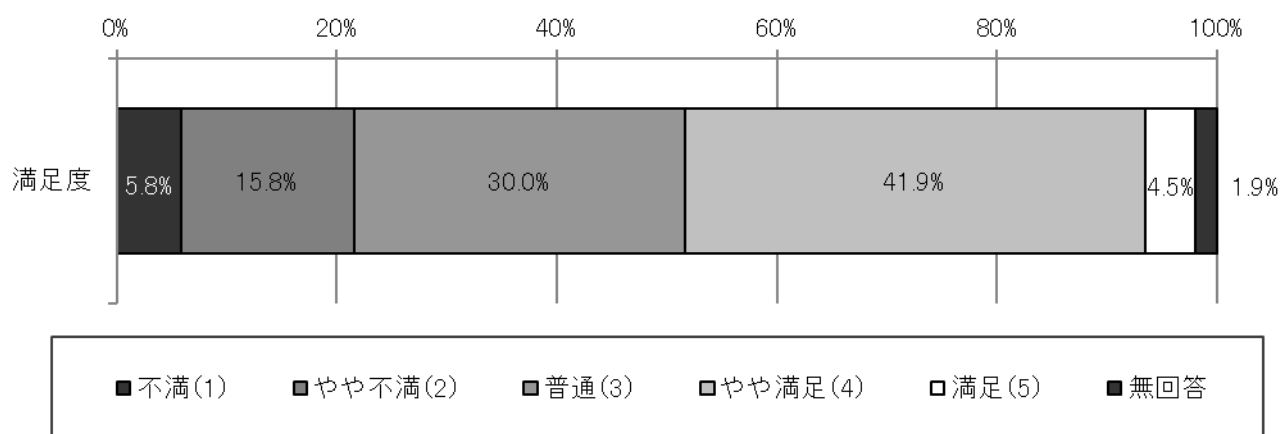
項目	母親		父親	
	度数	構成比	度数	構成比
1歳になるまで育児休業を取得したい	14	93.3%	1	100.0%
1歳になる前に復帰したい	0	0.0%	0	0.0%
無回答	1	6.7%	0	0.0%
回答者数	15	100.0%	1	100.0%
非該当	295	—	309	—



問 33 飯山市における子育ての環境や支援への満足度について当てはまる番号に1つに○をつけてください。

飯山市における子育て環境や支援への満足度は、「満足（「満足度 4（41.9%）」と（満足度 5（4.5%）」の合計）」の割合が 46.4%に対し、「不満（「満足度 1（5.8%）」と「満足度 2（15.8%）」の合計）」が 21.6%と、満足の割合が大きく上回っています。

項目	度数	構成比
満足(5)	14	4.5%
やや満足(4)	130	41.9%
普通(3)	93	30.0%
やや不満(2)	49	15.8%
不満(1)	18	5.8%
無回答	6	1.9%
回答者数	310	100.0%



問 34 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にお書きください。

※ 別冊掲載

第三期飯山市子ども・子育て支援事業計画策定に係るニーズ調査結果報告書
【令和6年（2024年）10月】

発行/編集 飯山市教育部子ども育成課

〒389-2292 長野県飯山市大字飯山 1110-1

TEL (0269)62-3111（直通）

FAX (0269)62-5900
